

岸和田市障害福祉計画・障害児福祉計画  
策定のためのアンケート調査結果報告書

令和5年10月

岸和田市



# 目 次

第1章 調査の概要 .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 実施概要 .....	1
3 調査結果の見方 .....	1
第2章 障害児福祉に関するアンケート調査の結果 .....	2
1 回答者や家族のことについて .....	2
2 障害の状況について .....	5
3 育成・教育などについて .....	12
4 福祉サービスの利用について .....	15
5 介助者の意識について .....	19
6 行政に対する意見や提案について .....	22
第3章 障害福祉に関するアンケート調査の結果 .....	23
1 回答者や家族のことについて .....	23
2 障害の状況について .....	26
3 在宅時の介助について .....	32
4 普段の生活について .....	35
5 将来の暮らしについて .....	41
6 障害福祉サービスの利用について .....	44
7 意思疎通(コミュニケーション)の支援について .....	53
8 行政に対する意見や提案について .....	56
第4章 重度障害者の福祉に関するアンケート調査の結果 .....	57
1 回答者や家族のことについて .....	57
2 障害の状況について .....	60
3 在宅時の介助について .....	71
4 医療について .....	82
5 日中の活動について .....	89
6 障害福祉サービスの利用について .....	91
7 将来の暮らしについて .....	100
8 行政に対する意見や提案 .....	102



# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

岸和田市では、令和5年度に「第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」を策定します。このアンケート調査は、市内の障害者や障害児を対象に、生活状況や福祉サービスの利用状況、生活支援に対するご意見などをお聞きし、計画策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。


## 2 実施概要

調査期間は、令和5年8月14日(月)～8月31日(木)を期限とし、9月8日(金)まで回収しました。調査は、以下の3種類の調査票で郵送により実施し、配布・回収数は表のとおりです。

また、今回の調査では、重度障害者の福祉に関するアンケート調査を新たに実施しました。

調査票の種類	対 象	配布数	回収数	回収率
障害児福祉に関するアンケート調査	18歳未満の身体障害者手帳、療育手帳もしくは精神障害者保健福祉手帳所持の方	200	74	37.0%
障害者福祉に関するアンケート調査	18歳以上の身体障害者手帳、療育手帳もしくは精神障害者保健福祉手帳所持の方	1800	757	42.1%
重度障害者の福祉に関するアンケート調査	身体障害者手帳1・2級かつ療育手帳A判定などの重度重複障害の方や、重症心身障害児・者判定の方	430	207	48.1%

## 3 調査結果の見方

- 集計結果のグラフのn値は、当該設問の回答者数を示しています。
- 集計結果における“無回答”とは、当該設問への回答なしの他、回答規則違反(例えば、1つだけ答える単数回答の設問における複数回答など)の件数を示しています。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定質問」があり、その場合の「合計」は全体より少なくなっています。
- 集計結果のグラフ・表における比率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出・表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。
- 設問には単数回答と複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の比率の合計は100%を超えます。
- 表中の数値の各セルの上段は回答者の実数、下段は比率(%)を示しています。
- 表における  表示は、その種別の第一位の項目(無回答を除く)を示しています。

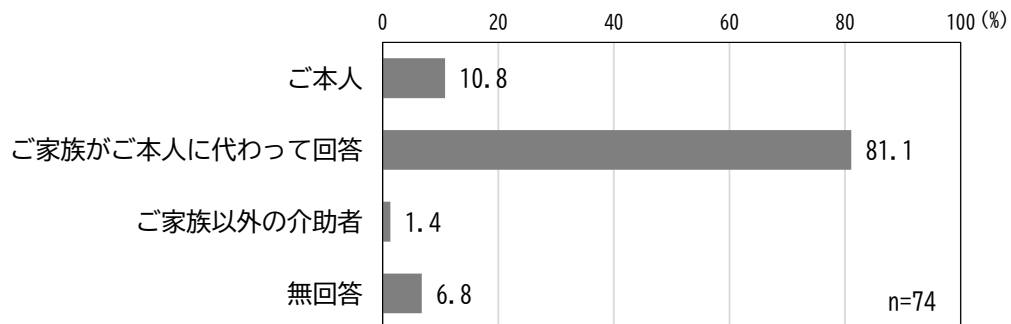
## 第2章 障害児福祉に関するアンケート調査の結果

### 1 回答者や家族のことについて

#### ① 回答者

問1 このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(1つだけ○)

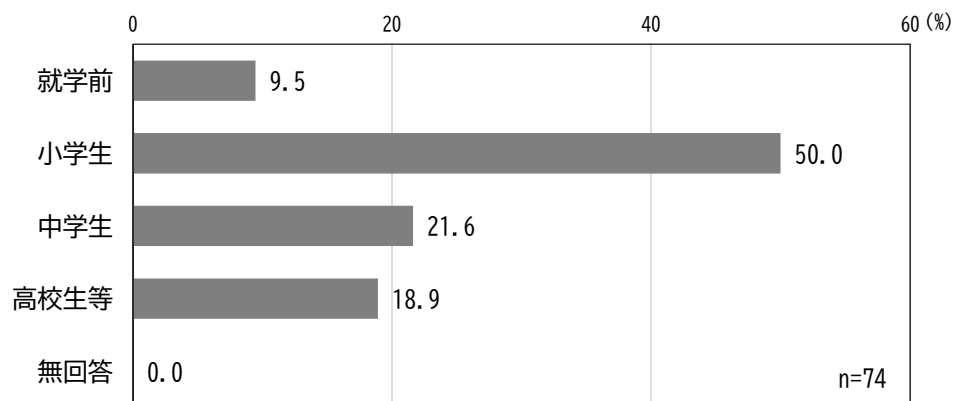
- 「ご家族がご本人に代わって回答」が81.1%、「ご本人」が10.8%となっています。



#### ② 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年8月1日現在)

- 「小学生」が50.0%で最も高くなっています。

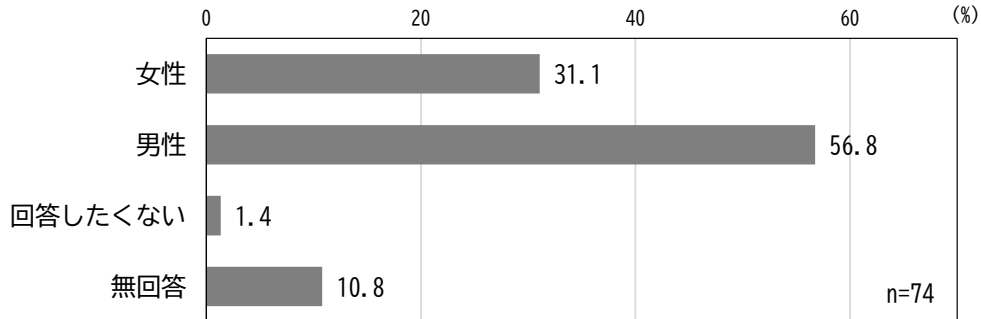


※回答年齢と問17の通学状況から分類しています。

### ③ 性別

問3 性別をお答えください。(1つだけ○)

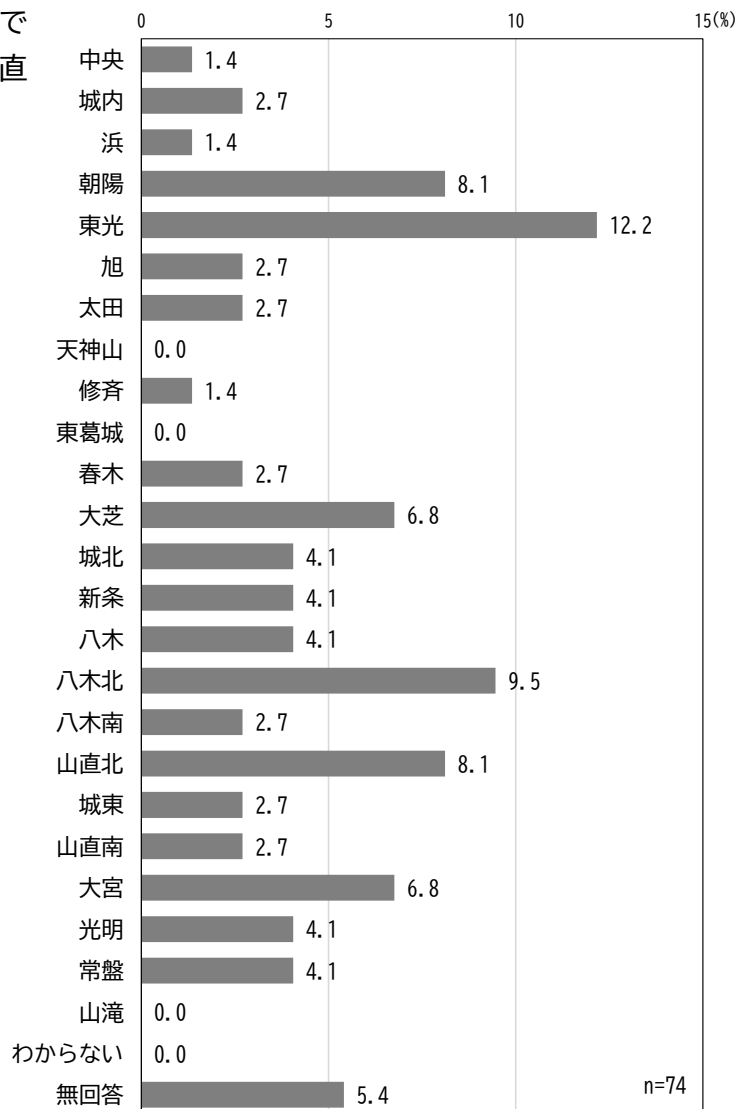
- 「男性」が56.8%、「女性」が31.1%で、「男性」が高くなっています。



### ④ 居住小学校区

問4 お住まいの小学校区はどこですか。(1つだけ○)

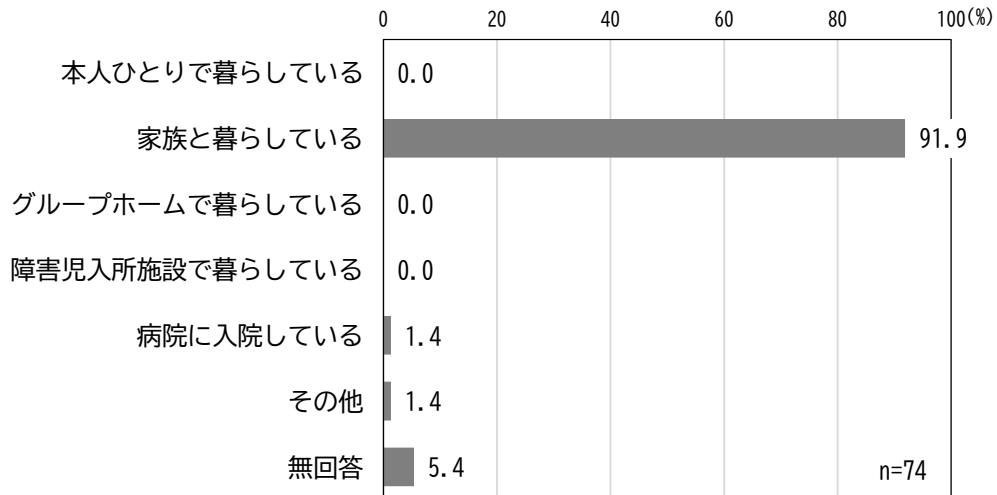
- 「東光」が12.2%で最も高く、次いで「八木北」(9.5%)、「朝陽」及び「山直北」(共に8.1%)と続きます。



## ⑤ 現在の暮らし方

問5 現在、どのように暮らしていますか。(1つだけ○)

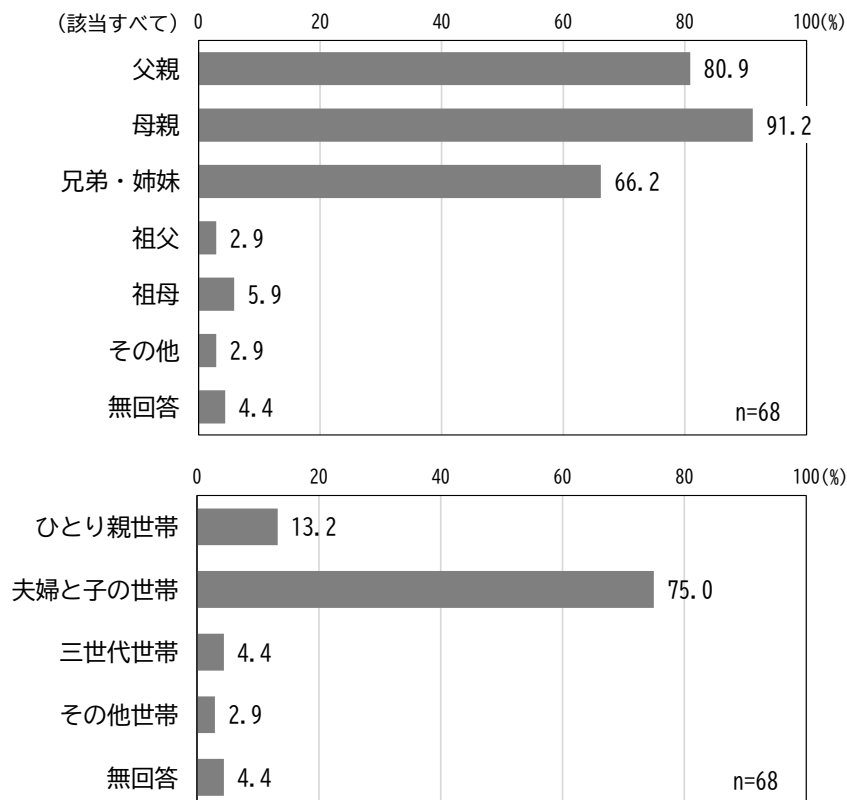
- 「家族と暮らしている」が91.9%となっています。



## ⑥ 同居家族

問5-① 「2. 家族と暮らしている」とお答えの方におたずねします。一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 同居家族から世帯類型に分類してみると、「夫婦と子の世帯」が75.0%、「ひとり親世帯」が13.2%となっています。



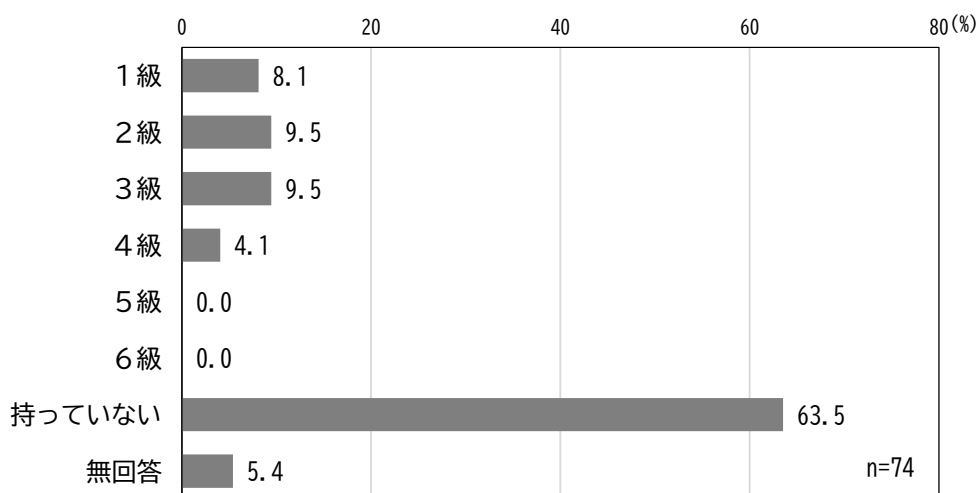


## 2 障害の状況について

### ① 身体障害者手帳の所持状況

問6 身体障害者手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

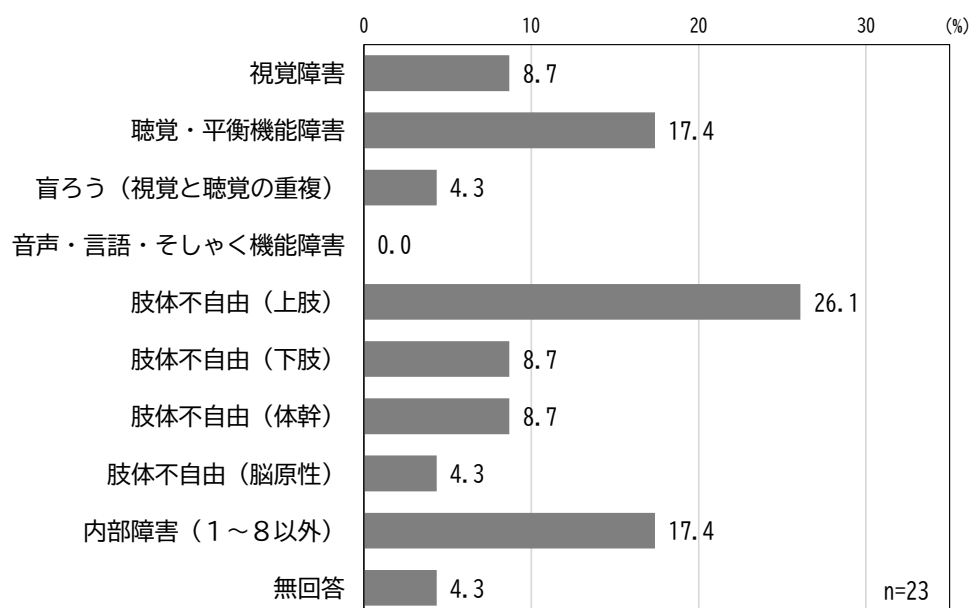
- 身体障害者手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと31.1%となっています。
- 所持者の中では、「2級」及び「3級」が共に9.5%、「1級」が8.1%などで、重度の「1級」及び「2級」は合わせて17.6%となっています。



### ② 主な身体障害

問7 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。主な障害をお答えください。複数の障害認定を受けている場合は、手帳の等級が最も高い(障害の程度が重い)ものに1つだけ○をつけてください

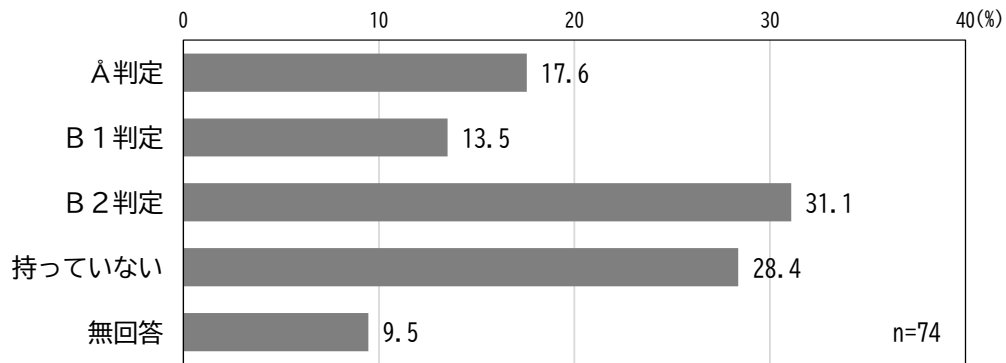
- 「肢体不自由(上肢)」が26.1%で最も高く、その他の肢体不自由と合わせた『肢体不自由』は47.8%となっています。



### ③ 療育手帳の所持状況

問8 療育手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

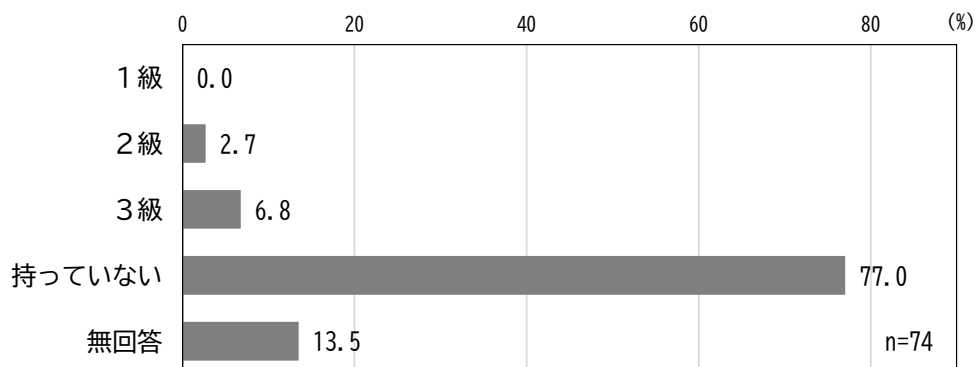
- 療育手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと62.1%となっています。
- 所持者の中では、「B2判定」が31.1%で最も高く、重度の「A判定」が17.6%となっています。



### ④ 精神障害者保健福祉手帳の所持状況

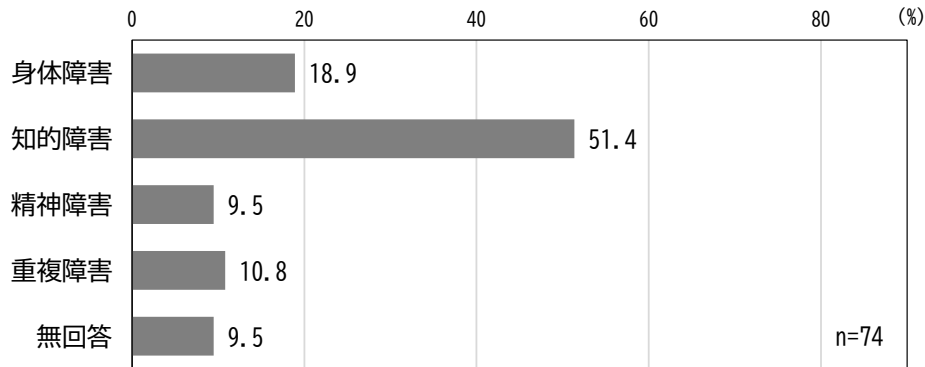
問9 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

- 精神障害者保健福祉手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと9.5%となっています。
- 所持者の中では、「3級」が6.8%で最も高く、重度の「1級」は該当なしとなっています。



## ⑤ 障害の種類

- 各障害者手帳の所持状況から、身体障害者手帳のみの所持者を「身体障害」、療育手帳のみの所持者を「知的障害」、精神障害者保健福祉手帳のみの所持者を「精神障害」、複数の手帳所持者を「重複障害」として集計し直したのが次のグラフです。
- 「知的障害」が51.4%で最も高く、「重複障害」が10.8%となっています。



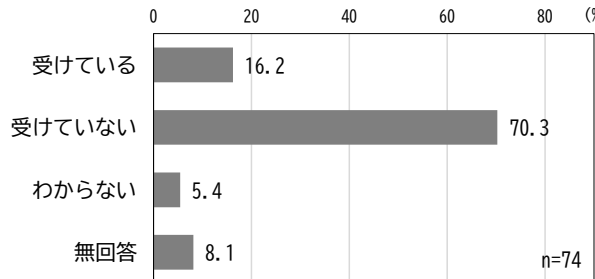
	合計	障害種類					
		身体障害	知的障害	精神障害	重複障害	無回答	
全体	74	14	38	7	8	7	
	100.0	18.9	51.4	9.5	10.8	9.5	
年齢4区分	就学前	7	5	0	1	0	
		100.0	14.3	71.4	0.0	14.3	0.0
	小学生	37	5	20	3	4	5
		100.0	13.5	54.1	8.1	10.8	13.5
中学生	16	4	7	2	2	1	
	100.0	25.0	43.8	12.5	12.5	6.3	
高校生等	14	4	6	2	1	1	
	100.0	28.6	42.9	14.3	7.1	7.1	

※以降に、障害児の障害種類・年齢4区分別のクロス集計表を記載しますが、回答数が少ない区分があるため、参考にとどめます。

## ⑥ 難病の認定状況

問10 難病の認定を受けていますか。(1つだけ○)

- 「受けている」が16.2%となっています。

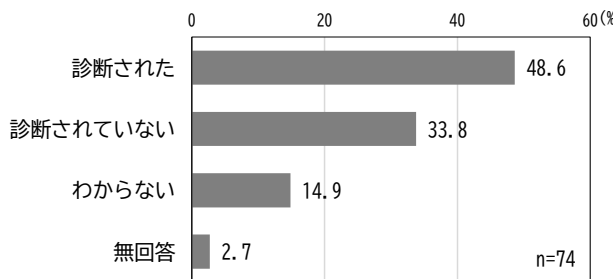


	合計	問10 難病の認定状況				
		受けてい る	受けてい ない	わからな い	無回答	
全体	74 100.0	12 16.2	52 70.3	4 5.4	6 8.1	
障害 種類	身体障害	4 100.0	9 28.6	1 64.3	0 7.1	0 0.0
	知的障害	38 100.0	4 10.5	32 84.2	2 5.3	0 0.0
	精神障害	7 100.0	1 14.3	5 71.4	0 0.0	1 14.3
	重複障害	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0
年齢 区分	就学前	7 100.0	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0
	小学生	37 100.0	8 21.6	24 64.9	2 5.4	3 8.1
	中学生	16 100.0	1 6.3	12 75.0	1 6.3	2 12.5
	高校生等	14 100.0	2 14.3	10 71.4	1 7.1	1 7.1

## ⑦ 発達障害の診断状況

問11 発達障害と診断されていますか。(1つだけ○)

- 「診断された」が48.6%となっています。

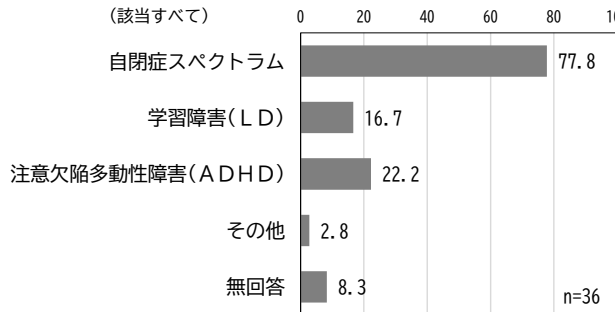


	合計	問11 発達障害の診断状況			無回答	
		診断され た	診断され ていない	わからな い		
全体	74 100.0	36 48.6	25 33.8	11 14.9	2 2.7	
障害 種類	身体障害	14 100.0	1 7.1	12 85.7	1 7.1	0 0.0
	知的障害	38 100.0	20 52.6	10 26.3	6 15.8	2 5.3
	精神障害	7 100.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重複障害	8 100.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0
年齢 区分	就学前	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	0 0.0
	小学生	37 100.0	21 56.8	7 18.9	7 18.9	2 5.4
	中学生	16 100.0	6 37.5	8 50.0	2 12.5	0 0.0
	高校生等	14 100.0	7 50.0	7 50.0	0 0.0	0 0.0

## ⑧ 発達障害の内容

問12 差しつかえなければ、障害の内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 「自閉症スペクトラム」が77.8%で最も高くなっています。

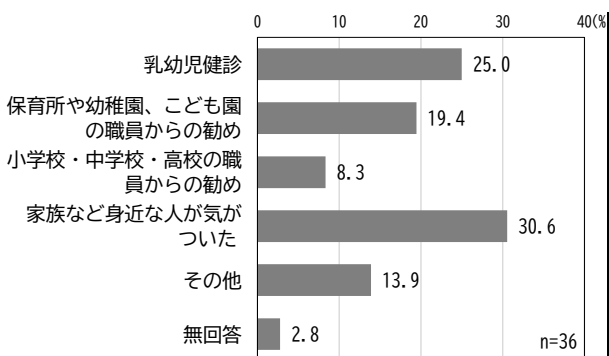


	合計	問12 障害の内容				無回答	
		自閉症スペクトラム	学習障害(LD)	注意欠陥多動性障害(ADHD)	その他		
全体	36 100.0	28 77.8	6 16.7	8 22.2	1 2.8	3 8.3	
障害種類	身体障害	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	20 100.0	18 90.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0
	精神障害	7 100.0	6 85.7	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0
	重複障害	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	就学前	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
年齢区分	小学生	21 100.0	17 81.0	4 19.0	5 23.8	0 0.0	2 9.5
	中学生	6 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	高校生等	7 100.0	5 71.4	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	無回答	0	0	0	0	0	0

## ⑨ 診断を受けたきっかけ

問13 問11で「1」とお答えの方におたずねします。あなたは、何をきっかけに診断を受けようと思いましたか。(1つだけ○)

- 「家族など身近な人が気がついた」が30.6%で最も高く、次いで「乳幼児健診」(25.0%)、「保育所や幼稚園、こども園の職員からの勧め」(19.4%)と続きます。

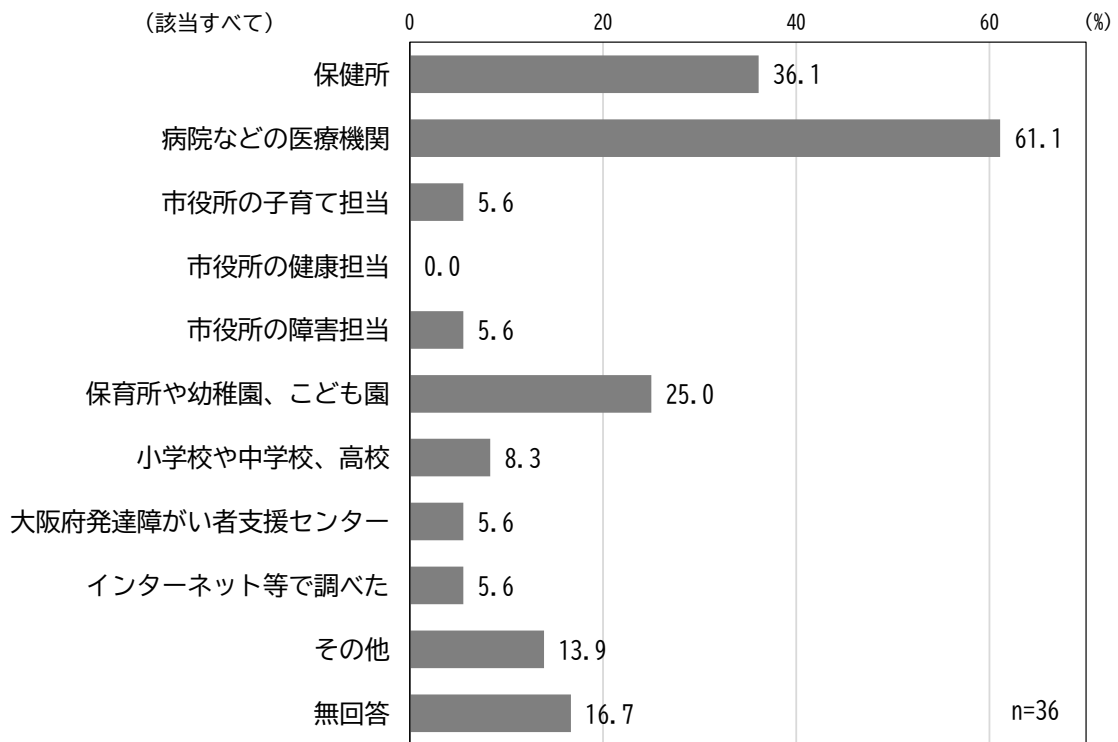


	合計	問13 診断を受けたきっかけ				その他	無回答
		乳幼児健診	保育所や幼稚園、こども園の職員からの勧め	小学校・中学校・高校の職員からの勧め	家族など身近な人が気がついた		
全体	36 100.0	9 25.0	7 19.4	3 8.3	11 30.6	5 13.9	1 2.8
障害種類	身体障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	0 0.0
	知的障害	20 100.0	7 35.0	4 20.0	0 0.0	6 30.0	2 10.0
	精神障害	7 100.0	1 14.3	0 0.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3
	重複障害	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	就学前	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
年齢区分	小学生	21 100.0	5 23.8	5 23.8	1 4.8	8 38.1	1 4.8
	中学生	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	高校生等	7 100.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	3 42.9	2 28.6
	無回答	0	0	0	0	0	0

## ⑩ 診断後の相談先

問14 問11で「1」とお答えの方におたずねします。あなたは、診断を受けた後に、どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 「病院などの医療機関」が61.1%で最も高く、次いで「保健所」(36.1%)、「保育所や幼稚園、こども園」(25.0%)と続きます。

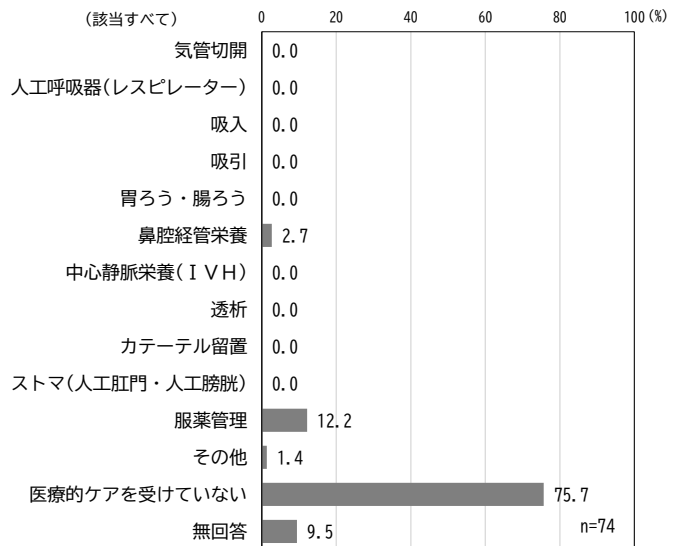


	合計	問14 診断後の相談先										
		保健所	病院などの医療機関	市役所の子育て担当	市役所の健康担当	市役所の障害担当	保育所や幼稚園、こども園	小学校や中学校、高校	大阪府発達障がい者支援センター	インターネット等で調べた	その他	無回答
全体	36 100.0	13 36.1	22 61.1	2 5.6	0 0.0	2 5.6	9 25.0	3 8.3	2 5.6	2 5.6	5 13.9	6 16.7
障害種類	身体障害	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	20 100.0	10 50.0	10 50.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	7 35.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	4 20.0
	精神障害	7 100.0	1 14.3	5 71.4	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重複障害	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢区分	就学前	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	小学生	21 100.0	9 42.9	11 52.4	1 4.8	0 0.0	0 0.0	6 28.6	1 4.8	2 9.5	1 4.8	3 14.3
	中学生	6 100.0	2 33.3	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	高校生等	7 100.0	2 28.6	5 71.4	0 0.0	0 0.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3

### ⑪ 現在受けている医療的ケア

問15 すべての方におたずねします。現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 医療的ケアを受けている率は、「医療的ケアを受けていない」及び無回答を除くと14.8%となっています。
- 受けている中では、「服薬管理」が12.2%、「鼻腔経管栄養」が2.7%、「その他」が1.4%で、これ以外は該当なしとなっています。

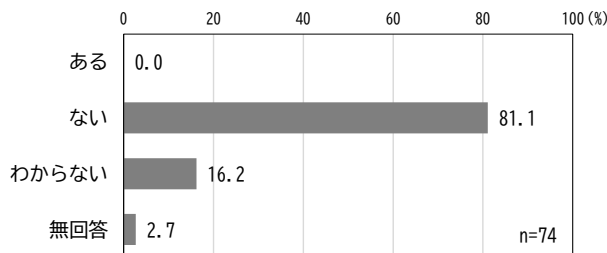


	合計	問15 現在受けている医療的ケア													医療的ケアを受けていない	無回答		
		気管切開	人工呼吸器(レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養(IVH)	透析	カテーテル留置	ストマ(人工肛門・人工膀胱)	服薬管理	その他					
全体	74	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	9	1	56	7
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.2	1.4	75.7	9.5
障害種類	身体障害	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	10	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	7.1	71.4	0.0
	知的障害	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	32	5
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	84.2	13.2
	精神障害	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	71.4	0.0	
重複障害	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	25.0	
年齢4区分	就学前	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	71.4	0.0
	小学生	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	28	6
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1	0.0	75.7	16.2
	中学生	16	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	14	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	87.5	0.0	
高校生等	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	9	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	7.1	64.3	7.1	

### ⑫ 強度行動障害があると専門家に言われたこと

問16 強度行動障害(自傷・他害行為など)があると専門家(医師・臨床心理士など)に言われたことがありますか。(1つだけ○)

- 「ある」は該当なしとなっています。



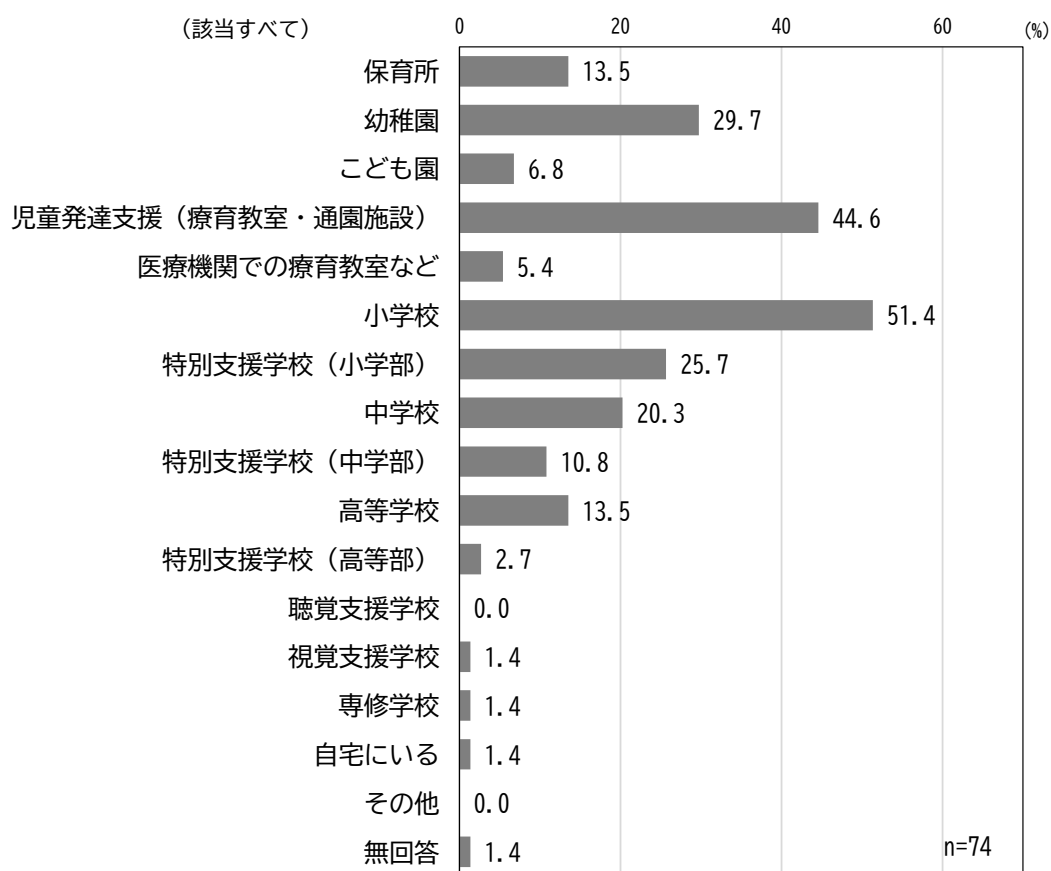
	合計	問16 強度行動障害があると専門家に言われたこと			
		ある	ない	わからない	無回答
全体	74	0	60	12	2
	100.0	0.0	81.1	16.2	2.7
障害種類	身体障害	14	14	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	知的障害	38	0	33	5
		100.0	0.0	86.8	13.2
	精神障害	7	0	4	3
	100.0	0.0	57.1	42.9	
重複障害	8	0	6	2	
	100.0	0.0	75.0	25.0	
年齢4区分	就学前	7	6	1	0
		100.0	0.0	85.7	14.3
	小学生	37	0	30	6
		100.0	0.0	81.1	16.2
	中学生	16	0	12	3
	100.0	0.0	75.0	18.8	
高校生等	14	0	12	2	
	100.0	0.0	85.7	14.3	

### 3 育成・教育などについて

#### ① 現在または過去の通園・通学状況

問17 あなたは、現在どこに通っていますか。または過去に通っていましたか。(乳幼児期から現在まで、あてはまるものすべてに○)

- 次頁の表から年齢4区分別通学先をみると、“就学前”は「児童発達支援(療育教室・通園施設)」(85.7%)が、“小学生”は「小学校」(73.0%)が、“中学生”は「中学校」(56.3%)が、“高校生等”は「高等学校」(71.4%)が、それぞれ最も高くなっています。
- “小学生”の「特別支援学校(小学部)」は35.1%、“中学生”の「特別支援学校(中学部)」は37.5%、“高校生等”の「特別支援学校(高等部)」は14.3%となっています。

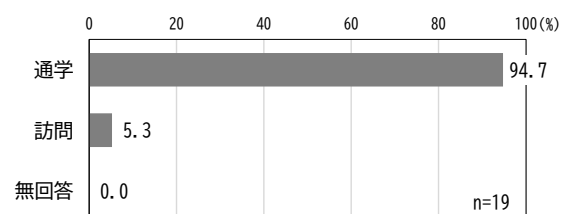
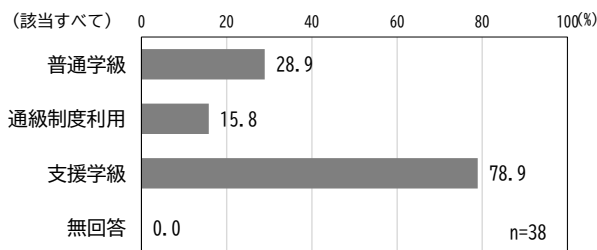




	合計	問17 現在または過去の通園・通学等状況								
		保育所	幼稚園	こども園	児童発達支援（療育教室・通園施設）	医療機関での療育教室など	小学校	特別支援学校（小学部）	中学校	
全体	74 100.0	10 13.5	22 29.7	5 6.8	33 44.6	4 5.4	38 51.4	19 25.7	15 20.3	
障害種類	身体障害	14 100.0	1 7.1	7 50.0	1 7.1	3 21.4	0 0.0	9 64.3	0 0.0	5 35.7
	知的障害	38 100.0	3 7.9	13 34.2	2 5.3	23 60.5	1 2.6	16 42.1	16 42.1	5 13.2
	精神障害	7 100.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	6 85.7	0 0.0	4 57.1
	重複障害	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	3 37.5	2 25.0	0 0.0
年齢区分	就学前	7 100.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	小学生	37 100.0	7 18.9	12 32.4	4 10.8	19 51.4	1 2.7	27 73.0	13 35.1	0 0.0
	中学生	16 100.0	2 12.5	4 25.0	0 0.0	4 25.0	3 18.8	5 31.3	4 25.0	9 56.3
	高校生等	14 100.0	1 7.1	4 28.6	0 0.0	4 28.6	0 0.0	6 42.9	2 14.3	6 42.9

	合計	問17 現在または過去の通園・通学等状況								
		特別支援学校（中学部）	高等学校	特別支援学校（高等部）	聴覚支援学校	視覚支援学校	専修学校	自宅にいる	その他	無回答
全体	8 10.8	10 13.5	2 2.7	0 0.0	1 1.4	1 1.4	1 1.4	1 1.4	0 0.0	1 1.4
障害種類	身体障害	1 7.1	3 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	6 15.8	4 10.5	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0
	精神障害	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重複障害	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
年齢区分	就学前	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	小学生	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.7	0 0.0	0 0.0
	中学生	6 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	高校生等	2 14.3	10 71.4	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1

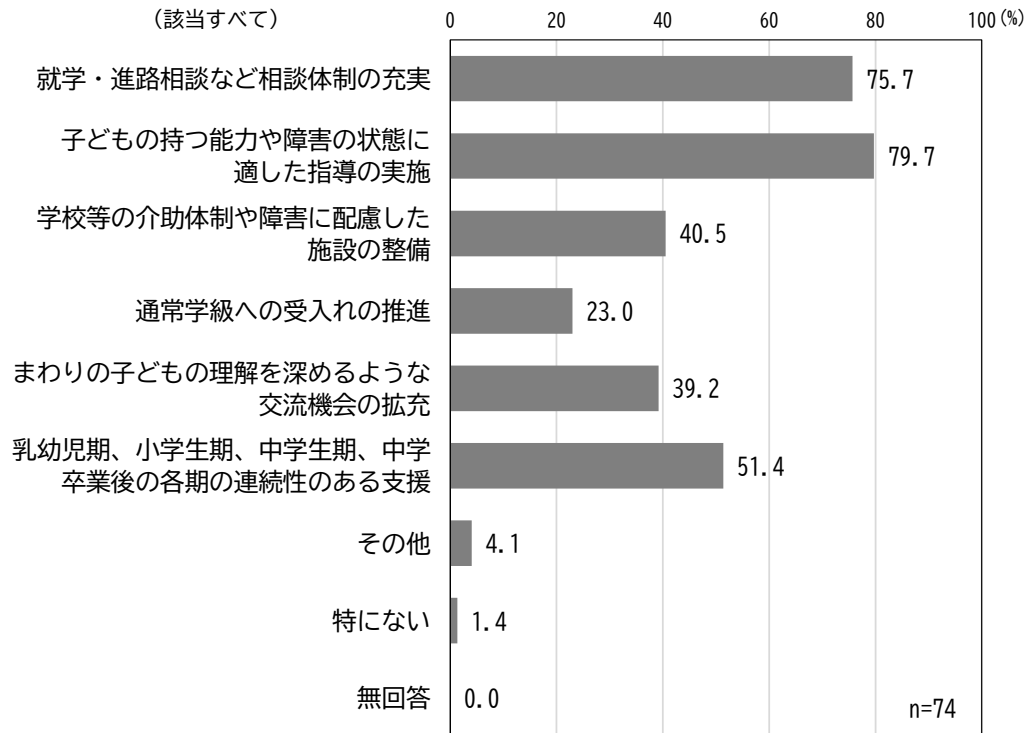
- 「小学校」の中では、「支援学級」が78.9%で最も高く、「普通学級」が28.9%、「通級制度利用」が15.8%となっています。
- 「特別支援学校(小学部)」の中では、「通学」が94.7%、「訪問」が5.3%となっています。



## ② 育成・教育に関して希望する支援

問18 あなたやご家族は、育成・支援に関してどのような支援を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「子どもの持つ能力や障害の状態に適した指導の実施」が79.7%で最も高く、次いで「就学・進路相談など相談体制の充実」(75.7%)、「乳幼児期、小学生期、中学生期、中学卒業後の各期の連続性のある支援」(51.4%)と続きます。



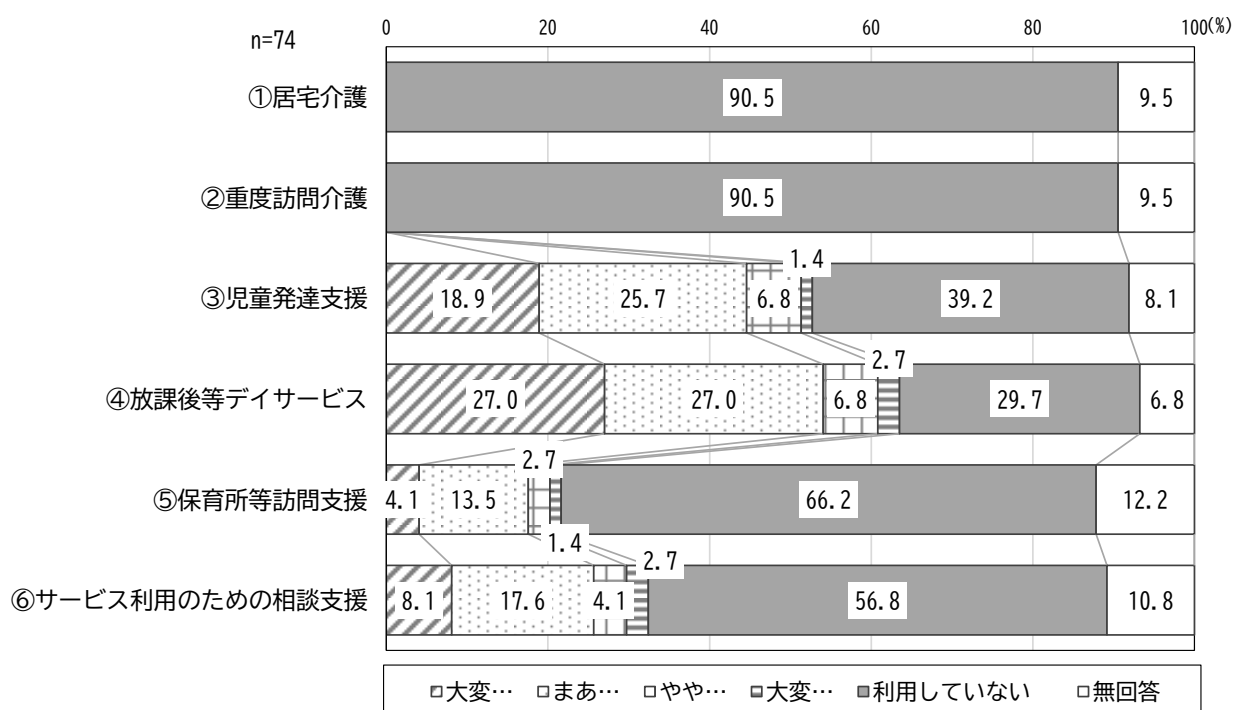
	合計	問18 育成・教育に関して希望する支援								
		就学・進路相談など相談体制の充実	子どもの持つ能力や障害の状態に適した指導の実施	学校等の介助体制や障害に配慮した施設の整備	通常学級への受入れの推進	まわりの子どもの理解を深めるような交流機会の拡充	乳幼児期、小学生期、中学生期、中学卒業後の各期の連続性のある支援	その他	特にない	無回答
全体	74 100.0	56 75.7	59 79.7	30 40.5	17 23.0	29 39.2	38 51.4	3 4.1	1 1.4	0 0.0
障害種類	身体障害	14 100.0	10 71.4	9 64.3	9 64.3	2 14.3	5 35.7	5 35.7	1 7.1	0 0.0
	知的障害	38 100.0	31 81.6	32 84.2	14 36.8	8 21.1	16 42.1	22 57.9	2 5.3	0 0.0
	精神障害	7 100.0	6 85.7	6 85.7	3 42.9	3 42.9	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0
	重複障害	8 100.0	4 50.0	7 87.5	2 25.0	1 12.5	3 37.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5
	就学前	7 100.0	6 85.7	7 100.0	3 42.9	1 14.3	4 57.1	5 71.4	0 0.0	0 0.0
年齢区分	小学生	37 100.0	28 75.7	31 83.8	18 48.6	11 29.7	17 45.9	17 45.9	3 8.1	0 0.0
	中学生	16 100.0	11 68.8	12 75.0	6 37.5	5 31.3	4 25.0	10 62.5	0 0.0	0 0.0
	高校生等	14 100.0	11 78.6	9 64.3	3 21.4	0 0.0	4 28.6	6 42.9	0 0.0	1 7.1
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 4 福祉サービスの利用について

### ① 福祉サービスの利用状況、利用した際の満足度

問19 次の福祉サービスを利用したことがありますか。利用した際は、サービスに満足できましたか。①～⑥のそれぞれについてお答えください。

- 「利用していない」及び無回答を除いた利用率は、【④放課後等デイサービス】が63.5%で最も高く、【③児童発達支援】(52.7%)、【⑥サービス利用のための相談支援】(32.4%)、【⑤保育所等訪問支援】(21.6%)の順で、【①居宅介護】及び【②重度訪問介護】の利用は該当なしとなっています。
- 4つの利用サービスは、すべて『満足』(「大変満足」+「まあ満足」)が『不満』(「やや不満」+「大変不満」)を上回り、特に【④放課後等デイサービス】は『満足』が54.1%となっています。



サービス名	利用状況・満足度						統合		
	大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用していない	無回答	利用率	満足	不満
①居宅介護	0.0	0.0	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	0.0	0.0
②重度訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	90.5	9.5	0.0	0.0	0.0
③児童発達支援	18.9	25.7	6.8	1.4	39.2	8.1	52.7	44.6	8.1
④放課後等デイサービス	27.0	27.0	6.8	2.7	29.7	6.8	63.5	54.1	9.5
⑤保育所等訪問支援	4.1	13.5	2.7	1.4	66.2	12.2	21.6	12.6	4.1
⑥サービス利用のための相談支援	8.1	17.6	4.1	2.7	56.8	10.8	32.4	25.7	6.8

※統合の比率は、各選択肢の回答者数を足してから算出しているため、比率の合計とは必ずしも一致しません。

	合計	問19-③児童発達支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	74 100.0	14 18.9	19 25.7	5 6.8	1 1.4	29 39.2	6 8.1	52.7	44.6	8.1	
障害 種類	身体障害	14 100.0	7 28.6	4 28.9	0 0.0	0 0.0	9 64.3	0 0.0	35.7	35.7	0.0
	知的障害	38 100.0	10 26.3	11 28.9	4 10.5	1 2.6	9 23.7	3 7.9	68.4	55.3	13.2
	精神障害	7 100.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7	0 0.0	14.3	14.3	0.0
	重複障害	8 100.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5	0 0.0	62.5	50.0	12.5
	就学前	7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	100.0	85.7	14.3
年齢 4区分	小学生	37 100.0	9 24.3	10 27.0	2 5.4	1 2.7	12 32.4	3 8.1	59.5	51.4	8.1
	中学生	16 100.0	0 0.0	5 31.3	1 6.3	0 0.0	10 62.5	0 0.0	37.5	31.3	6.3
	高校生等	14 100.0	3 21.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0	7 50.0	3 21.4	28.6	21.4	7.1

	合計	問19-④放課後等デイサービスの利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	74 100.0	20 27.0	20 27.0	5 6.8	2 2.7	22 29.7	5 6.8	63.5	54.1	9.5	
障害 種類	身体障害	14 100.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	1 7.1	8 57.1	0 0.0	42.9	35.7	7.1
	知的障害	38 100.0	14 36.8	9 23.7	2 5.3	1 2.6	10 26.3	2 5.3	68.4	60.5	7.9
	精神障害	7 100.0	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	71.4	71.4	0.0
	重複障害	8 100.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	75.0	62.5	12.5
	就学前	7 100.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	5 71.4	0 0.0	28.6	28.6	0.0
年齢 4区分	小学生	37 100.0	13 35.1	11 29.7	4 10.8	2 5.4	5 13.5	2 5.4	81.1	64.9	16.2
	中学生	16 100.0	5 31.3	6 37.5	1 6.3	0 0.0	4 25.0	0 0.0	75.0	68.8	6.3
	高校生等	14 100.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	8 57.1	3 21.4	21.4	21.4	0.0

	合計	問19-⑤保育所等訪問支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	74 100.0	3 4.1	10 13.5	2 2.7	1 1.4	49 66.2	9 12.2	21.6	17.6	4.1	
障害 種類	身体障害	14 100.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0	0 0.0	10 71.4	1 7.1	21.4	21.4	0.0
	知的障害	38 100.0	1 2.6	4 10.5	1 2.6	1 2.6	26 68.4	5 13.2	18.4	13.2	5.3
	精神障害	7 100.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	5 71.4	0 0.0	28.6	14.3	14.3
	重複障害	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 87.5	0 0.0	12.5	12.5	0.0
	就学前	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 100.0	0 0.0	0.0	0.0	0.0
年齢 4区分	小学生	37 100.0	3 8.1	7 18.9	1 2.7	1 2.7	21 56.8	4 10.8	32.4	27.0	5.4
	中学生	16 100.0	0 0.0	3 18.8	0 0.0	0 0.0	12 75.0	1 6.3	18.8	18.8	0.0
	高校生等	14 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	9 64.3	4 28.6	7.1	0.0	7.1

	合計	問19-⑥サービス利用のための相談支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	74 100.0	6 8.1	13 17.6	3 4.1	2 2.7	42 56.8	8 10.8	32.4	25.7	6.8	
障害 種類	身体障害	14 100.0	0 0.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	11 78.6	0 0.0	21.4	14.3	7.1
	知的障害	38 100.0	4 10.5	7 18.4	2 5.3	1 2.6	19 50.0	5 13.2	36.8	28.9	7.9
	精神障害	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	4 57.1	0 0.0	42.9	28.6	14.3
	重複障害	8 100.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	25.0	25.0	0.0
	就学前	7 100.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	5 71.4	0 0.0	28.6	14.3	14.3
年齢 4区分	小学生	37 100.0	4 10.8	8 21.6	1 2.7	1 2.7	19 51.4	4 10.8	37.8	32.4	5.4
	中学生	16 100.0	1 6.3	4 25.0	1 6.3	1 6.3	9 56.3	0 0.0	43.8	31.3	12.5
	高校生等	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	9 64.3	4 28.6	7.1	7.1	0.0

## ② 福祉サービスを利用して不満に思うこと

問20 問19のサービスを利用して不満に思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 問19で「大変満足」及び「まあ満足」の回答者にもこの問の回答が少なからずあったことから、問19で『利用している』(「大変満足」、「まあ満足」、「やや不満」、「大変不満」の合計回答者)を母数にして率を算出しています。
- どのサービスも「特にない」が最も高くなっていますが、不満の中でどのサービスにも共通して選択されているのは、「職員の知識や経験が不足している」や「地域に事業所が少なく利用しづらい」となっています。

サービス名 不満に思うこと	③児童発達支援	④放課後等デイサービス	⑤保育所等訪問支援	⑥サービス利用のための相談支援
	回答者数 n=39	n=47	n=16	n=24
特にない	46.2	53.2	56.3	58.3
本人や家族の意向を尊重してもらえない	10.3	6.4	6.3	0.0
利用回数や時間などに制限がある	12.8	10.6	0.0	0.0
急な変更に応じてもらえない	5.1	6.4	0.0	0.0
職員の対応がよくない	2.6	6.4	0.0	0.0
職員の知識や経験が不足している	12.8	12.8	12.5	8.3
プライバシーの配慮に欠ける	2.6	2.1	0.0	0.0
地域に事業所が少なく利用しづらい	12.8	4.3	6.3	8.3
引き受けてくれる事業所が見つからない	5.1	2.1	0.0	4.2
その他	5.1	12.8	12.5	12.5

※「①居宅介護」及び「②重度訪問介護」は利用なしのため省略しています。

	合計	問20-③児童発達支援の不満な点										無回答		
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他			
全体	39 100.0	18 46.2	10.3	12.8	5.1	2.6	12.8	2.6	12.8	5.1	5.1	2 5.1	2 5.1	5 12.8
障害種類	身体障害	5 100.0	3 60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 20.0	0.0	0.0	0.0	1 20.0
	知的障害	26 100.0	12 46.2	4 15.4	4 15.4	1 3.8	1 3.8	3 11.5	1 3.8	4 15.4	2 7.7	2 7.7	2 7.7	2 7.7
	精神障害	1 100.0	1 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重複障害	5 100.0	1 20.0	0.0	1 20.0	1 20.0	0.0	2 40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢区分	就学前	7 100.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	0.0	0.0	1 14.3	0.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0.0
	小学生	22 100.0	12 54.5	2 9.1	3 13.6	1 4.5	1 4.5	2 9.1	1 4.5	2 9.1	1 4.5	1 4.5	1 4.5	2 9.1
	中学生	6 100.0	1 16.7	0.0	0.0	1 16.7	0.0	2 33.3	0.0	1 16.7	0.0	0.0	0.0	2 33.3
	高校生等	4 100.0	3 75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1 25.0

	合計	問20-④放課後等デイサービスの不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	47 100.0	25 53.2	3 6.4	5 10.6	3 6.4	3 6.4	6 12.8	1 2.1	2 4.3	1 2.1	6 12.8	4 8.5
障害種類	身体障害	6 100.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7
	知的障害	26 100.0	17 65.4	1 3.8	2 7.7	1 3.8	2 7.7	3 11.5	0 0.0	1 3.8	1 3.8	2 7.7
	精神障害	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
	重複障害	6 100.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	就学前	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢4区分	小学生	30 100.0	17 56.7	3 10.0	3 10.0	1 3.3	3 10.0	3 10.0	1 3.3	2 6.7	1 3.3	5 16.7
	中学生	12 100.0	5 41.7	0 0.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	1 8.3	3 25.0
	高校生等	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	合計	問20-⑤保育所等訪問支援の不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	16 100.0	9 56.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	2 12.5	3 18.8
障害種類	身体障害	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
	知的障害	7 100.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3
	精神障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	重複障害	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢4区分	就学前	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	小学生	12 100.0	8 66.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3
	中学生	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
	高校生等	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

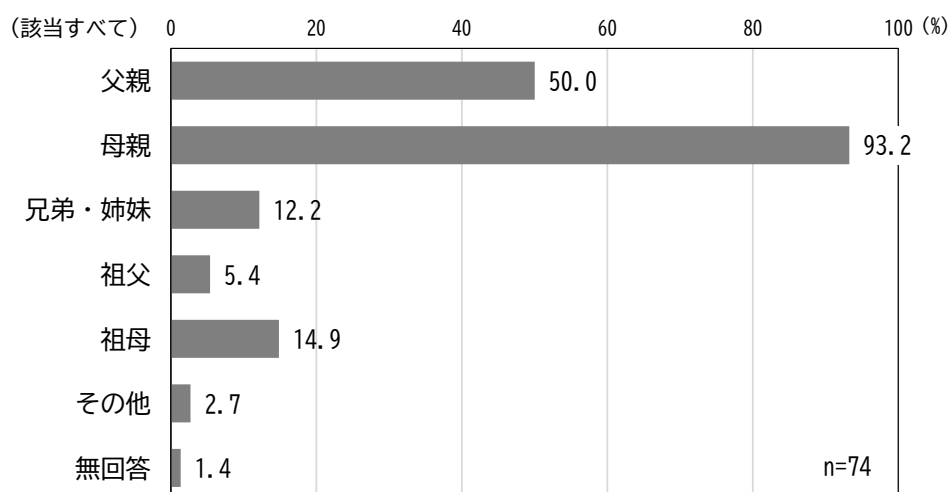
	合計	問20-⑥サービス利用のための相談支援の不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	24 100.0	14 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3	0 0.0	2 8.3	1 4.2	3 12.5	5 20.8
障害種類	身体障害	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
	知的障害	14 100.0	9 64.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	2 14.3
	精神障害	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	重複障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	就学前	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
年齢4区分	小学生	14 100.0	9 64.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	2 14.3
	中学生	7 100.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9
	高校生等	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 5 介助者の意識について

### ① 主な介助者

問21 主な介助者はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「母親」が93.2%で最も高く、「父親」(50.0%)、「祖母」(14.9%)、「兄弟・姉妹」(12.2%)と続きます。

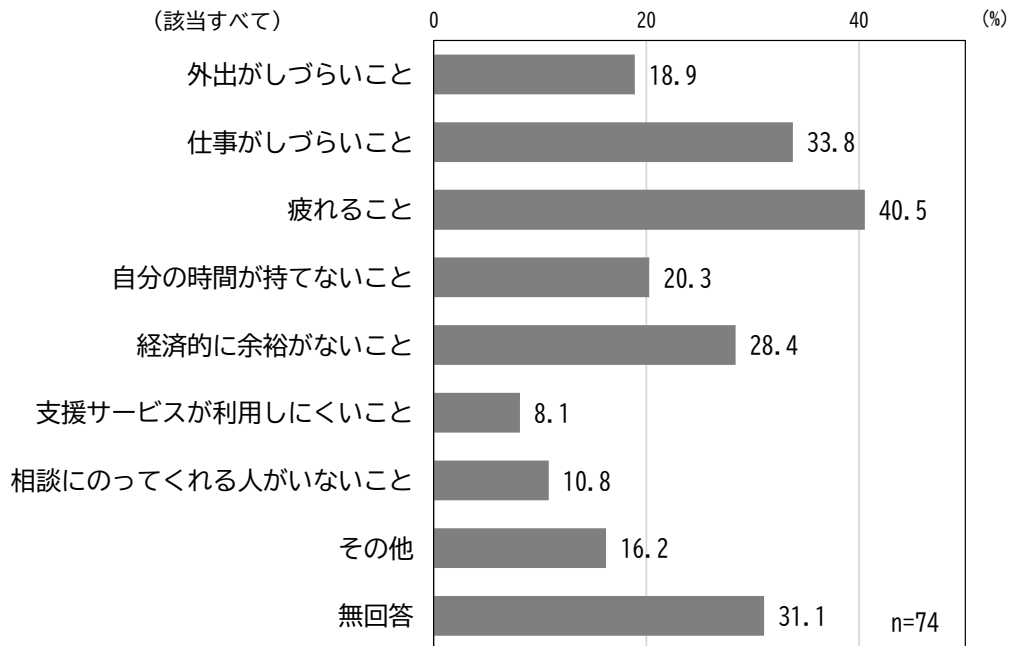


	合計	問21 主な介助者							
		父親	母親	兄弟・姉妹	祖父	祖母	その他	無回答	
全体	74 100.0	37 50.0	69 93.2	9 12.2	4 5.4	11 14.9	2 2.7	1 1.4	
障害種類	身体障害	14 100.0	9 64.3	13 92.9	3 21.4	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	知的障害	38 100.0	20 52.6	35 92.1	5 13.2	3 7.9	6 15.8	1 2.6	0 0.0
	精神障害	7 100.0	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3
	重複障害	8 100.0	4 50.0	8 100.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
年齢区分	就学前	7 100.0	6 85.7	7 100.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	小学生	37 100.0	15 40.5	36 97.3	3 8.1	0 0.0	3 8.1	1 2.7	0 0.0
	中学生	16 100.0	7 43.8	13 81.3	1 6.3	1 6.3	4 25.0	1 6.3	1 6.3
	高校生等	14 100.0	9 64.3	13 92.9	5 35.7	3 21.4	3 21.4	0 0.0	0 0.0

## ② 介助者が、困っていること

問22 介助者が、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 無回答を除くと68.9%が困っていることを選択しています。その中では、「疲れること」が40.5%で最も高く、次いで「仕事がしづらいこと」(33.8%)、「経済的に余裕がないこと」(28.4%)と続きます。



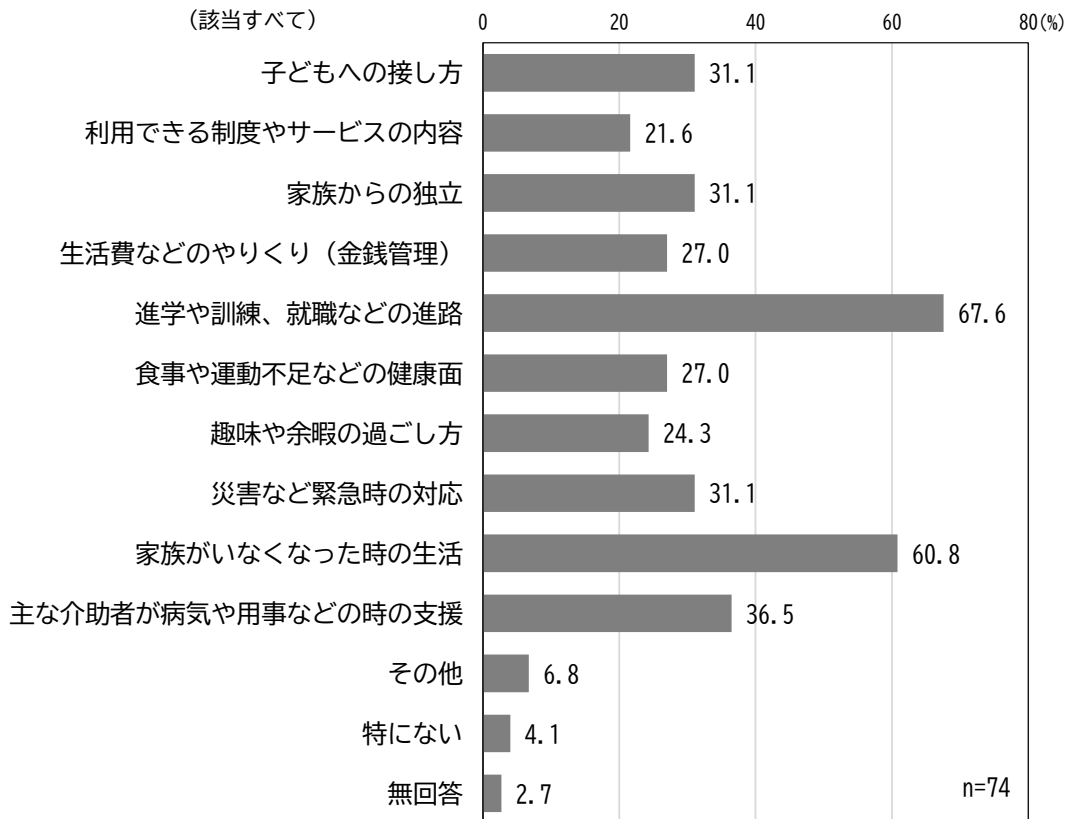
	合計	問22 介助者が困っていること									
		外出がしづ らいこと	仕事がし づらいこ と	疲れるこ と	自分の時 間を持て ないこと	経済的に 余裕がな いこと	支援サー ビスが利 用しにく いこと	相談に のってく れる人が いないこ と	その他	無回答	
全体	74 100.0	14 18.9	25 33.8	30 40.5	15 20.3	21 28.4	6 8.1	8 10.8	12 16.2	23 31.1	
障害 種類	身体障害	14 100.0	1 7.1	4 28.6	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	1 7.1	4 28.6	6 42.9
	知的障害	38 100.0	10 26.3	11 28.9	16 42.1	11 28.9	13 34.2	5 13.2	5 13.2	3 7.9	11 28.9
	精神障害	7 100.0	1 14.3	4 57.1	5 71.4	0 0.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3
	重複障害	8 100.0	1 12.5	3 37.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5
年齢 区分	就学前	7 100.0	3 42.9	4 57.1	4 57.1	5 71.4	4 57.1	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3
	小学生	37 100.0	9 24.3	14 37.8	19 51.4	8 21.6	8 21.6	3 8.1	4 10.8	7 18.9	10 27.0
	中学生	16 100.0	0 0.0	2 12.5	5 31.3	2 12.5	4 25.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	8 50.0
	高校生等	14 100.0	2 14.3	5 35.7	2 14.3	0 0.0	5 35.7	2 14.3	3 21.4	3 21.4	4 28.6



### ③ 現在、お子さんについて困っていることや心配なこと

問23 現在、お子さんについて困っていることや心配に思っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「進学や訓練、就職などの進路」の67.6%、「家族がいなくなった時の生活」の60.8%が高く、次いで「主な介助者が病気や用事などの時の支援」(36.5%)、「子どもへの接し方」や「家族からの独立」、「災害など緊急時の対応」(共に31.1%)と続きます。



	合計	問23 お子さんについて困っていること												
		子どもへの接し方	利用できる制度やサービスの内容	家族からの独立	生活費などのやりくり (金銭管理)	進学や訓練、就職などの進路	食事や運動不足などの健康面	趣味や余暇の過ごし方	災害など緊急時の対応	家族がいなくなった時の生活	主な介助者が病気や用事などの時の支援	その他	特にない	無回答
全体	74	23	16	23	20	50	20	18	23	45	27	5	3	2
	100.0	31.1	21.6	31.1	27.0	67.6	27.0	24.3	31.1	60.8	36.5	6.8	4.1	2.7
障害種類	身体障害	14	2	2	2	11	1	2	4	8	5	0	1	1
		100.0	14.3	14.3	14.3	7.1	78.6	7.1	14.3	28.6	57.1	35.7	0.0	7.1
	知的障害	38	9	11	15	15	25	12	11	14	30	16	1	1
		100.0	23.7	28.9	39.5	39.5	65.8	31.6	28.9	36.8	78.9	42.1	2.6	2.6
	精神障害	7	3	1	1	1	5	1	1	0	2	1	1	1
	100.0	42.9	14.3	14.3	14.3	71.4	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	
重複障害	8	4	2	3	1	5	2	1	3	2	2	1	0	
	100.0	50.0	25.0	37.5	12.5	62.5	25.0	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5	0.0	
年齢区分	就学前	7	4	4	4	1	5	3	0	3	7	4	0	0
		100.0	57.1	57.1	57.1	14.3	71.4	42.9	0.0	42.9	100.0	57.1	0.0	0.0
	小学生	37	14	6	11	10	26	12	13	11	22	15	3	2
		100.0	37.8	16.2	29.7	27.0	70.3	32.4	35.1	29.7	59.5	40.5	8.1	5.4
中学生	16	4	1	4	4	9	3	4	4	7	3	1	0	
	100.0	25.0	6.3	25.0	25.0	56.3	18.8	25.0	25.0	43.8	18.8	6.3	0.0	
高校生等	14	1	5	4	5	10	2	1	5	9	5	1	1	
	100.0	7.1	35.7	28.6	35.7	71.4	14.3	7.1	35.7	64.3	35.7	7.1	7.1	

## 6 行政に対する意見や提案について

- 30人から33件の記述がありました。分野別件数は次表の通りですが、「制度・サービス等生活支援に関すること」や「療育・教育に関すること」がそれぞれ12件で最も多くなっています。

分 野	件数(件)
制度・サービス等生活支援に関すること	12
療育・教育に関すること	12
相談・情報提供に関すること	5
その他	4
計	33

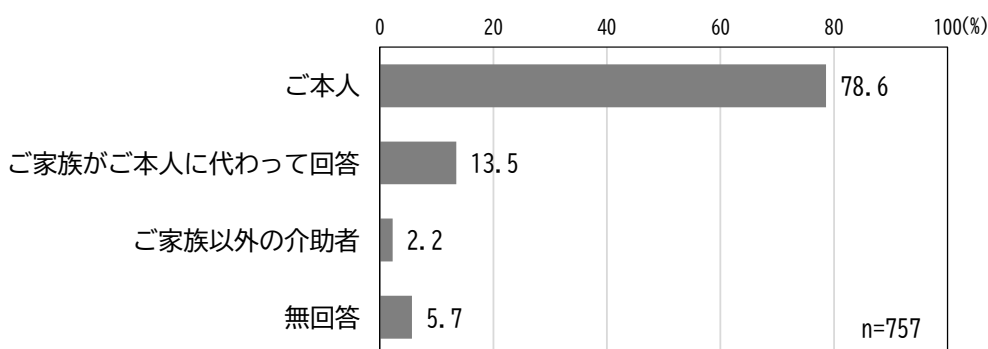
# 第3章 障害福祉に関するアンケート調査の結果

## 1 回答者や家族のことについて

### ① 回答者

問1 このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(1つだけ○)

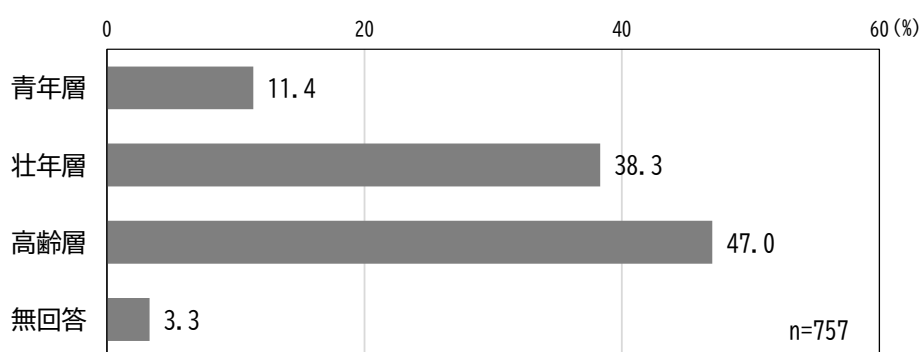
- 「ご本人」が78.6%、「ご家族がご本人に代わって回答」が13.5%、「ご家族以外の介助者」が2.2%となっています。



### ② 年齢

問2 アンケートの宛名のあなたの年齢をお答えください。(令和5年8月1日現在)

- 65歳以上の「高齢層」が47.0%とおおよそ半数を占め、40～64歳の「壮年層」が38.3%、18～39歳の「青年層」が11.4%となっています。

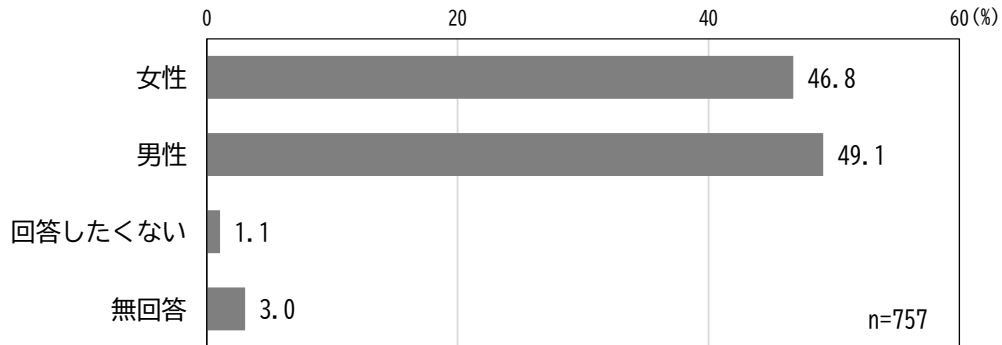


※回答年齢を区分しています。

### ③ 性別

問3 性別をお答えください。(1つだけ○)

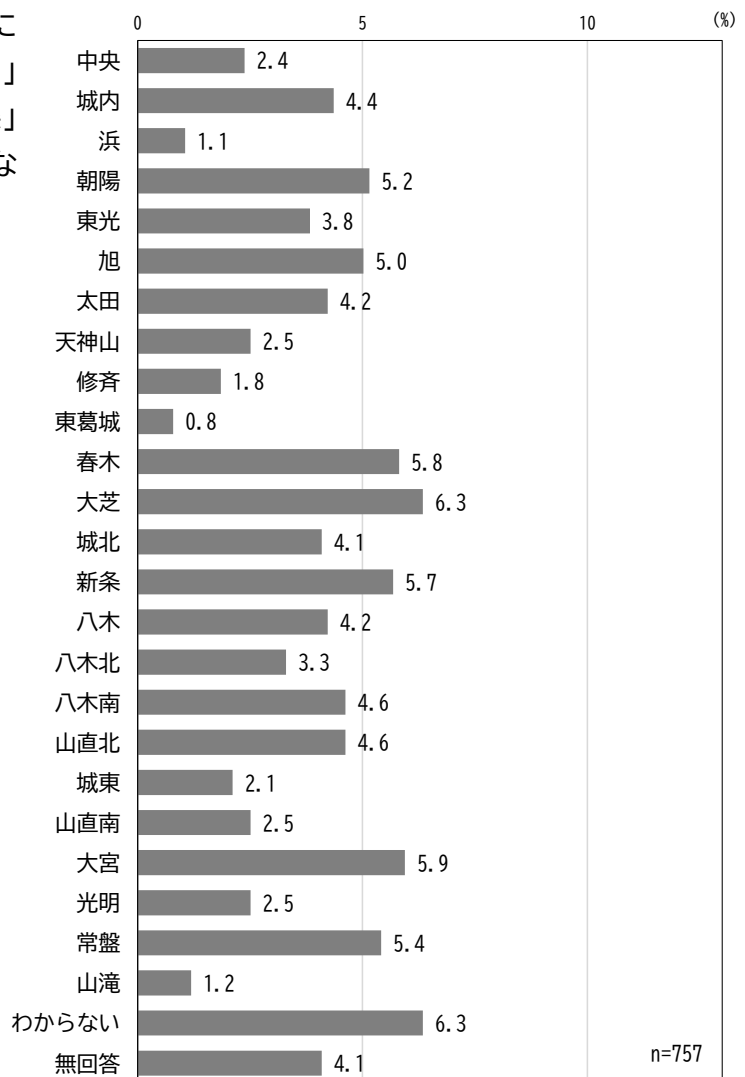
- 「男性」が49.1%、「女性」が46.8%となっています。



### ④ 居住小学校区

問4 お住まいの小学校区はどこですか。(1つだけ○)

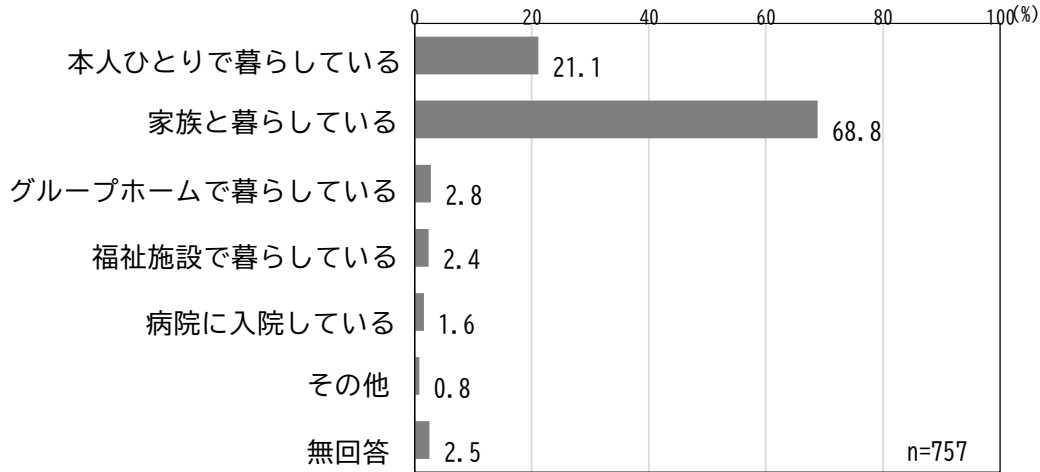
- 「大芝」及び「わからない」が共に6.3%で最も高く、次いで「大宮」(5.9%)、「春木」(5.8%)、「新条」(5.7%)、「常盤」(5.4%)と大差なく続きます。



## ⑤ 現在の暮らし方

問5 現在、どのように暮らしていますか。(1つだけ○)

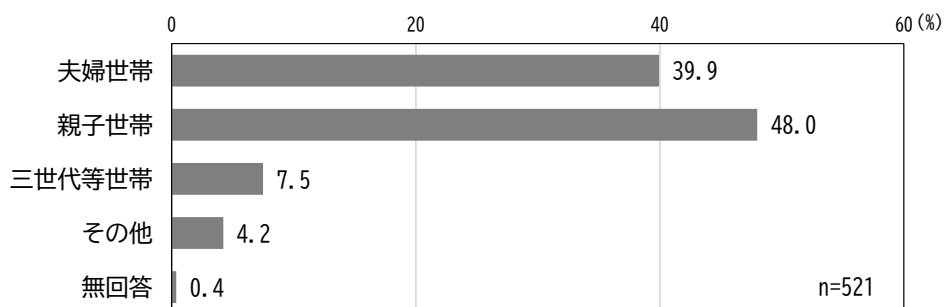
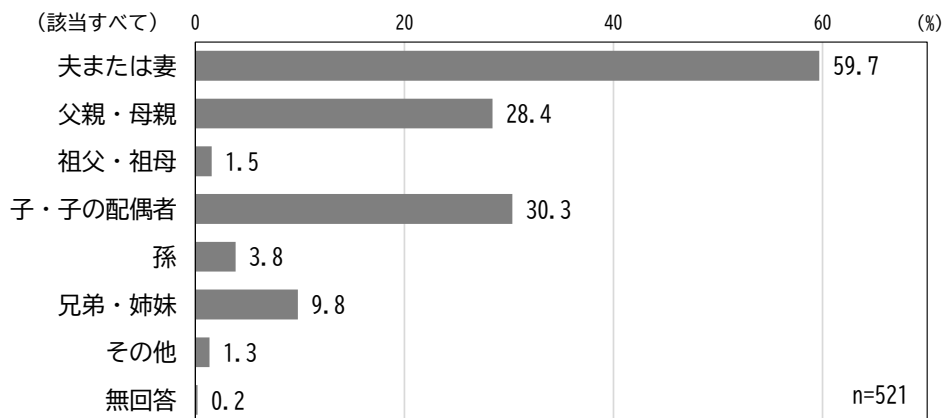
- 「家族と暮らしている」が68.8%、「本人ひとりで暮らしている」が21.1%となっています。



## ⑥ 同居家族

問5-① 「2. 家族と暮らしている」とお答えの方におたずねします。一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 同居家族から世帯類型に分類してみると、「親子世帯」が48.0%、「夫婦世帯」が39.9%、「三世帯等世帯」が7.5%となっています。

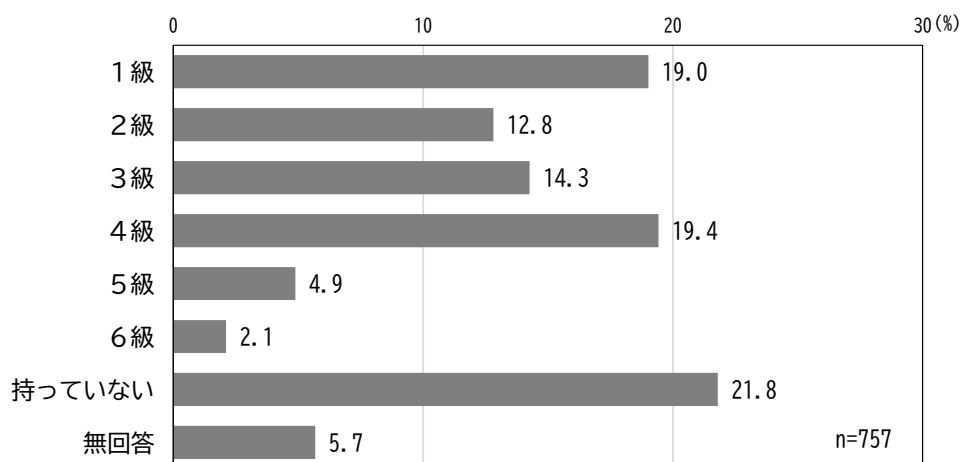


## 2 障害の状況について

### ① 身体障害者手帳の所持状況

問6 身体障害者手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

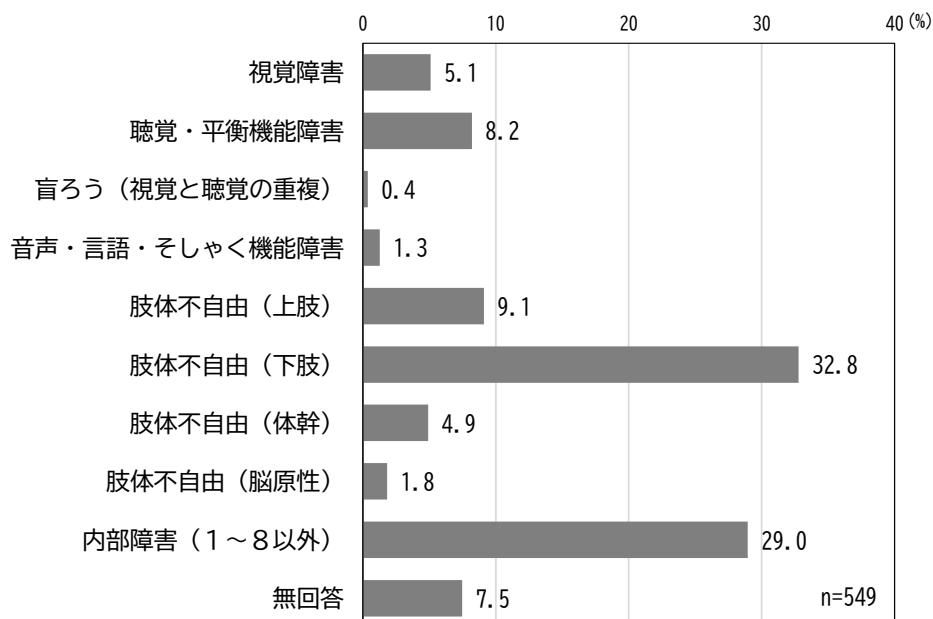
- 身体障害者手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと72.5%となっています。
- 所持者の中では、「4級」が19.4%、「1級」が19.0%、「3級」が14.3%などで、重度の「1級」及び「2級」は合わせて31.8%となっています。



### ② 主な身体障害

問7 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。主な障害をお答えください。複数の障害認定を受けている場合は、手帳の等級が最も高い(障害の程度が重い)ものに1つだけ○をつけてください

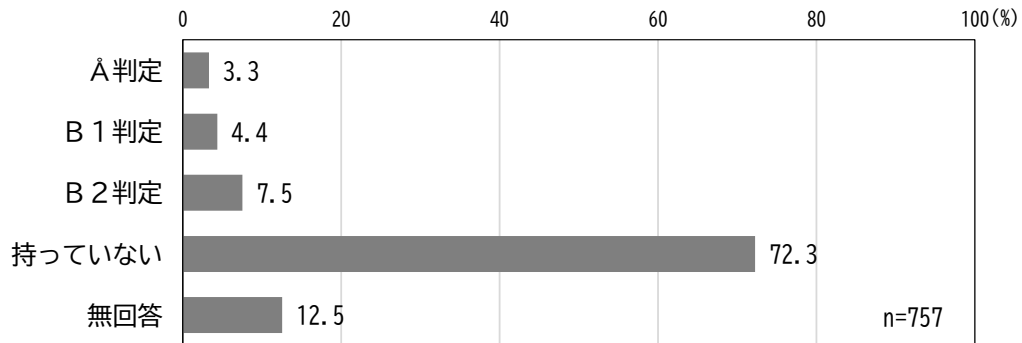
- 「肢体不自由(下肢)」が32.8%で最も高く、その他の肢体不自由と合わせた『肢体不自由』は48.6%となっています。また、「内部障害」が29.0%となっています。



### ③ 療育手帳の所持状況

問8 療育手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

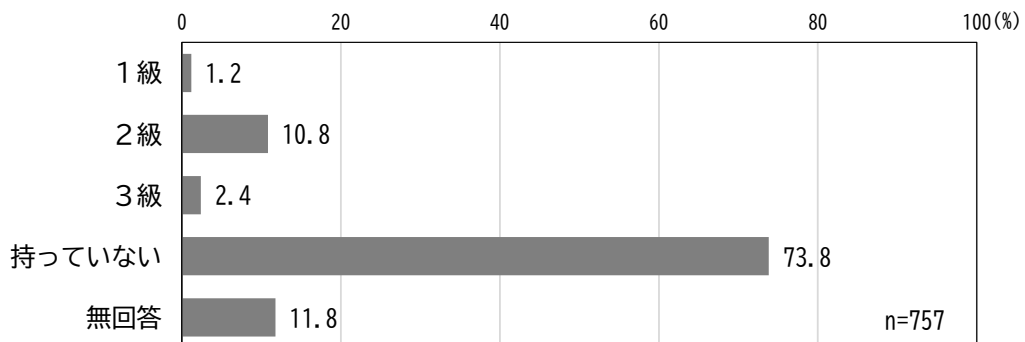
- 療育手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと15.2%となっています。
- 所持者の中では、「B2判定」が7.5%で最も高く、重度の「A判定」が3.3%となっています。



### ④ 精神障害者保健福祉手帳の所持状況

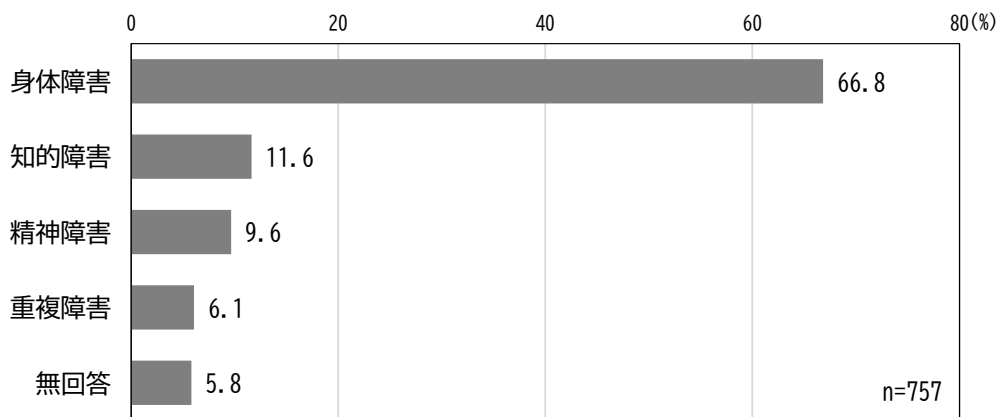
問9 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

- 精神障害者保健福祉手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと14.4%となっています。
- 所持者の中では、「2級」が10.8%で最も高く、重度の「1級」が1.2%となっています。



## ⑤ 障害の種類

- 各障害者手帳の所持状況から、身体障害者手帳のみの所持者を「身体障害」、療育手帳のみの所持者を「知的障害」、精神障害者保健福祉手帳のみの所持者を「精神障害」、複数の手帳所持者を「重複障害」として集計し直したのが次のグラフです。
- 「身体障害」が66.8%で最も高く、「知的障害」が11.6%、「精神障害」が9.6%、「重複障害」が6.1%となっています。
- 年齢3区分別では、“青年層”は「知的障害」(53.5%)が、“壮年層”及び“高齢層”は「身体障害」(各57.6%、86.2%)が、それぞれ最も高くなっています。



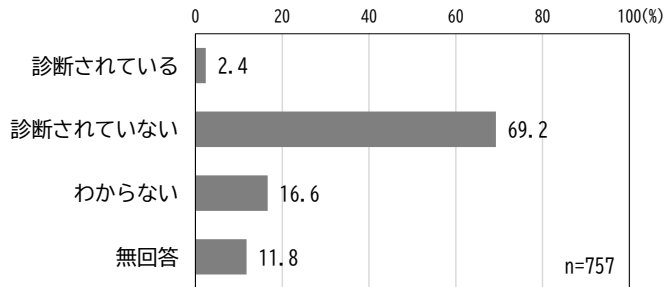
		合計	障害種類				
			身体障害	知的障害	精神障害	重複障害	無回答
全体		757 100.0	506 66.8	88 11.6	73 9.6	46 6.1	44 5.8
年齢3区分	青年層	86 100.0	17 19.8	46 53.5	11 12.8	8 9.3	4 4.7
	壮年層	290 100.0	167 57.6	35 12.1	46 15.9	21 7.2	21 7.2
	高齢層	356 100.0	307 86.2	5 1.4	13 3.7	16 4.5	15 4.2



## ⑥ 高次脳機能障害の診断状況

問10 高次脳機能障害と診断されていますか。(1つだけ○)

- 「診断されている」が2.4%となっています。
- 「診断されている」は、障害種類別では“重複障害”(10.9%)が、年齢3区分別では“壮年層”(3.8%)が、それぞれ最も高くなっています。

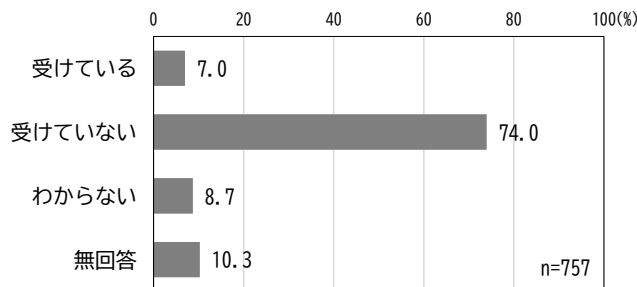


	合計	問10 高次脳機能障害の診断状況				
		診断されている	診断されていない	わからない	無回答	
全体	757	18	524	126	89	
	100.0	2.4	69.2	16.6	11.8	
障害種類	身体障害	506	8	373	72	53
		100.0	1.6	73.7	14.2	10.5
	知的障害	88	1	59	17	11
		100.0	1.1	67.0	19.3	12.5
	精神障害	73	3	50	17	3
	100.0	4.1	68.5	23.3	4.1	
重複障害	46	5	23	15	3	
	100.0	10.9	50.0	32.6	6.5	
年齢3区分	青年層	86	1	62	11	12
		100.0	1.2	72.1	12.8	14.0
	壮年層	290	11	209	45	25
		100.0	3.8	72.1	15.5	8.6
高齢層	356	6	240	64	46	
	100.0	1.7	67.4	18.0	12.9	

## ⑦ 難病の認定状況

問11 難病の認定を受けていますか。(1つだけ○)

- 「受けている」が7.0%となっています。
- 「受けている」は、障害種類別では“身体障害”(9.3%)や“重複障害”(8.7%)が高く、年齢3区分別では“青年層”(8.1%)と“高齢層”(8.1%)が高くなっています。

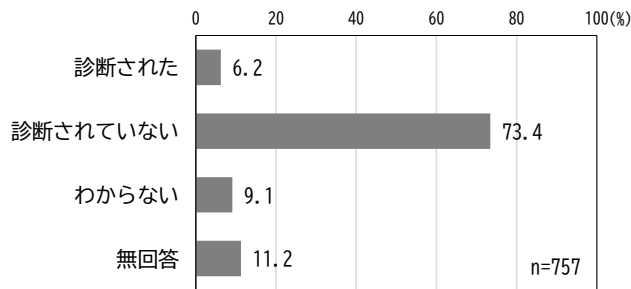


	合計	問11 難病の認定状況				
		受けている	受けていない	わからない	無回答	
全体	757	53	560	66	78	
	100.0	7.0	74.0	8.7	10.3	
障害種類	身体障害	506	47	379	36	44
		100.0	9.3	74.9	7.1	8.7
	知的障害	88	1	71	7	9
		100.0	1.1	80.7	8.0	10.2
	精神障害	73	1	58	11	3
	100.0	1.4	79.5	15.1	4.1	
重複障害	46	4	30	10	2	
	100.0	8.7	65.2	21.7	4.3	
年齢3区分	青年層	86	7	64	6	9
		100.0	8.1	74.4	7.0	10.5
	壮年層	290	16	229	23	22
		100.0	5.5	79.0	7.9	7.6
高齢層	356	29	249	37	41	
	100.0	8.1	69.9	10.4	11.5	

## ⑧ 発達障害の診断状況

問12 発達障害と診断されていますか。(1つだけ○)

- 「診断された」が6.2%となっています。
- 「診断された」は、障害種類別では“知的障害”(35.2%)が、年齢3区分別では“青年層”(32.6%)が、それぞれ最も高くなっています。

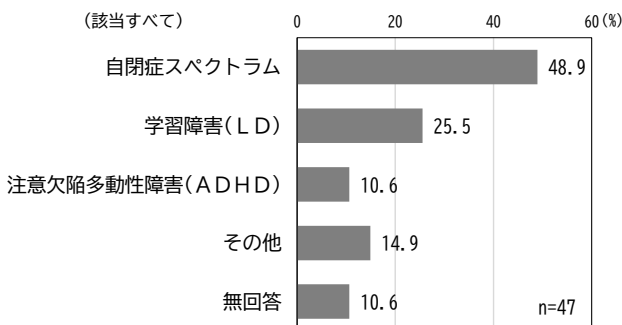


		問12 発達障害の診断状況				
		合計	診断された	診断されていない	わからない	無回答
全体		757 100.0	47 6.2	556 73.4	69 9.1	85 11.2
障害種類	身体障害	506 100.0	2 0.4	430 85.0	22 4.3	52 10.3
	知的障害	88 100.0	31 35.2	32 36.4	17 19.3	8 9.1
	精神障害	73 100.0	6 8.2	48 65.8	15 20.5	4 5.5
	重複障害	46 100.0	7 15.2	23 50.0	13 28.3	3 6.5
	年齢3区分	青年層	86 100.0	28 32.6	36 41.9	14 16.3
	壮年層	290 100.0	15 5.2	226 77.9	25 8.6	24 8.3
	高齢層	356 100.0	2 0.6	278 78.1	29 8.1	47 13.2

## ⑨ 発達障害の内容

問12-① 差しつかえなければ、障害の内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 「自閉症スペクトラム」が48.9%で最も高くなっています。
- 障害種類別にみても、年齢3区分別にみても、おおむね「自閉症スペクトラム」が最も高くなっていますが、“知的障害”は「自閉症スペクトラム」と「学習障害」が同率で最も高くなっています。

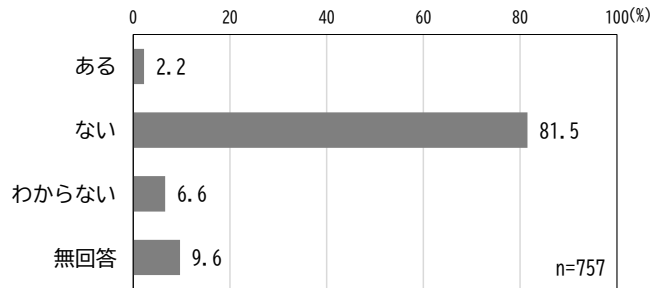


		1. 診断された場合の障害の内容					
		合計	自閉症スペクトラム	学習障害(LD)	注意欠陥多動性障害(ADHD)	その他	不明
全体		47 100.0	23 48.9	12 25.5	5 10.6	7 14.9	5 10.6
障害種類	身体障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	31 100.0	11 35.5	11 35.5	4 12.9	6 19.4	4 12.9
	精神障害	6 100.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重複障害	7 100.0	4 57.1	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3
	年齢3区分	青年層	28 100.0	12 42.9	7 25.0	2 7.1	4 14.3
	壮年層	15 100.0	7 46.7	4 26.7	2 13.3	3 20.0	0 0.0
	高齢層	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## ⑩ 強度行動障害があると専門家に言われたこと

問13 強度行動障害(自傷・他害行為など)があると専門家(医師・臨床心理士など)に言われたことがありますか。(1つだけ○)

- 「ある」が2.2%となっています。
- 「ある」は、障害種類別では“重複障害”(13.0%)が最も高く、年齢3区分別では“青年層”(3.5%)と“壮年層”(3.4%)が、“高齢層”(0.8%)に比べ高くなっています。



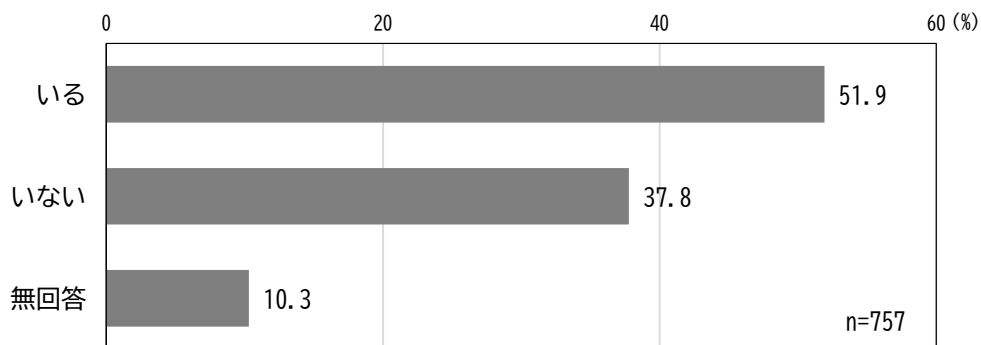
	合計	問13 強度行動障害があると専門家に言われたこと				
		ある	ない	わからない	無回答	
全体	757 100.0	17 2.2	617 81.5	50 6.6	73 9.6	
障害種類	身体障害	506 100.0	4 0.8	439 86.8	19 3.8	44 8.7
	知的障害	88 100.0	3 3.4	70 79.5	7 8.0	8 9.1
	精神障害	73 100.0	3 4.1	55 75.3	11 15.1	4 5.5
	重複障害	46 100.0	6 13.0	28 60.9	11 23.9	1 2.2
年齢3区分	青年層	86 100.0	3 3.5	67 77.9	7 8.1	9 10.5
	壮年層	290 100.0	10 3.4	244 84.1	17 5.9	19 6.6
	高齢層	356 100.0	3 0.8	287 80.6	26 7.3	40 11.2

### 3 在宅時の介助について

#### ① 介助者の有無

問14 在宅生活を支援してくれる介助者がいますか。(1つだけ○)

- 「いる」が51.9%、「いない」が37.8%となっています。
- 「いない」は、障害種別では“精神障害”(46.6%)が、年齢3区分別では“壮年層”(46.2%)が、それぞれ最も高くなっています。
- 現在の暮らし方別では、「いない」は“病院に入院している”(75.0%)や“本人ひとりで暮らしている”(65.6%)が高くなっています。

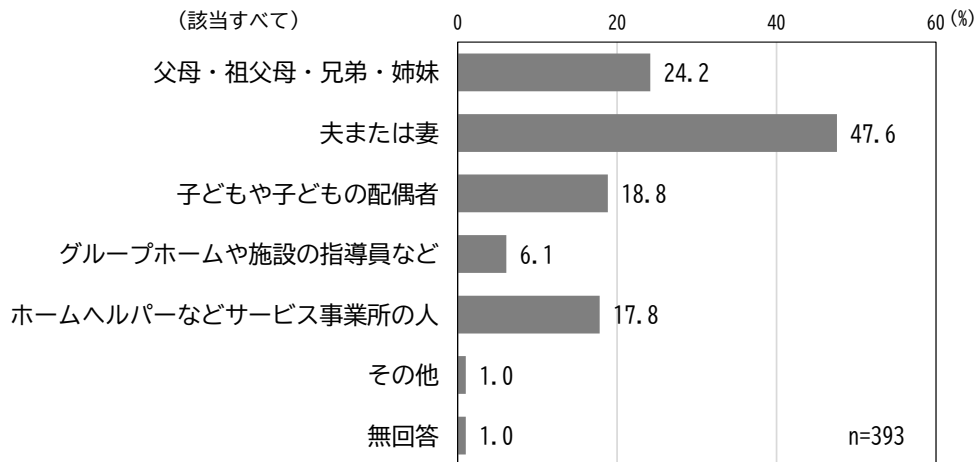


		合計	問14 介助者の有無		
			いる	いない	無回答
全体		757 100.0	393 51.9	286 37.8	78 10.3
障害 種類	身体障害	506 100.0	269 53.2	188 37.2	49 9.7
	知的障害	88 100.0	44 50.0	35 39.8	9 10.2
	精神障害	73 100.0	37 50.7	34 46.6	2 2.7
	重複障害	46 100.0	29 63.0	14 30.4	3 6.5
年齢 3区 分	青年層	86 100.0	49 57.0	27 31.4	10 11.6
	壮年層	290 100.0	132 45.5	134 46.2	24 8.3
	高齢層	356 100.0	202 56.7	115 32.3	39 11.0
現在 の暮 らし 方	本人ひとりで暮らしている	160 100.0	45 28.1	105 65.6	10 6.3
	家族と暮らしている	521 100.0	314 60.3	154 29.6	53 10.2
	グループホームで暮らしている	21 100.0	15 71.4	4 19.0	2 9.5
	福祉施設で暮らしている	18 100.0	10 55.6	5 27.8	3 16.7
	病院に入院している	12 100.0	1 8.3	9 75.0	2 16.7
	その他	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7

## ② 主な介助者

問15 問14で「1」とお答えの方におたずねします。主な介助者はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「夫または妻」が47.6%で最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」(24.2%)と続きます。
- 「夫または妻」は、障害種類別では“身体障害”が、年齢3区分別では“壮年層”及び“高齢層”が、それぞれ最も高くなっています。また、「父母・祖父母・兄弟・姉妹」は、“知的障害”や“精神障害”、“重複障害”が、年齢3区分別では“青年層”が、それぞれ最も高くなっています。
- 現在の暮らし方別で“本人ひとりで暮らしている”は、「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」が73.3%となっています。

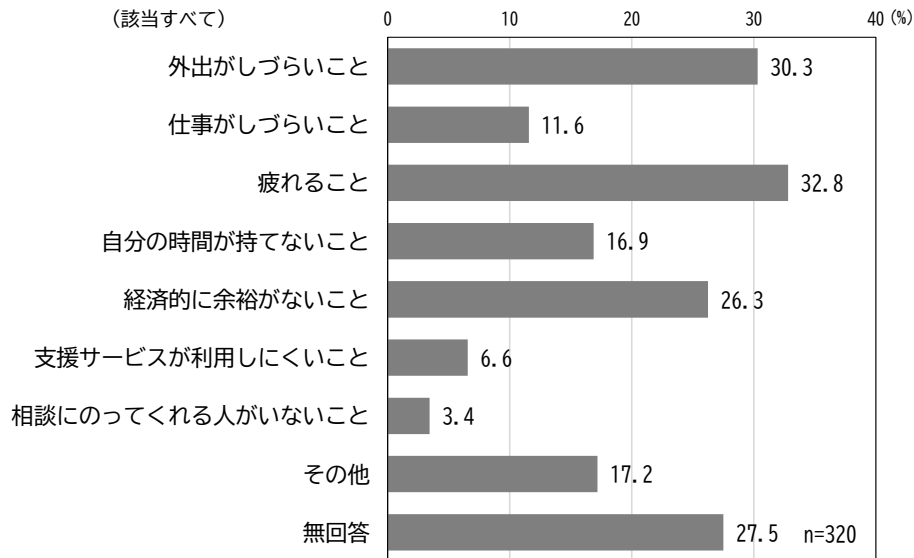


	合計	問15 主な介助者							
		父母・祖父母・兄弟・姉妹	夫または妻	子どもや子どもの配偶者	グループホームや施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	その他	無回答	
全体	393	95	187	74	24	70	4	4	
	100.0	24.2	47.6	18.8	6.1	17.8	1.0	1.0	
障害種類	身体障害	269	33	167	68	7	38	3	2
		100.0	12.3	62.1	25.3	2.6	14.1	1.1	0.7
	知的障害	44	30	1	0	8	7	1	0
		100.0	68.2	2.3	0.0	18.2	15.9	2.3	0.0
精神障害	37	16	8	1	5	11	0	1	
	100.0	43.2	21.6	2.7	13.5	29.7	0.0	2.7	
重複障害	29	10	6	3	3	9	0	1	
	100.0	34.5	20.7	10.3	10.3	31.0	0.0	3.4	
年齢3区分	青年層	49	38	4	1	1	8	1	0
		100.0	77.6	8.2	2.0	2.0	16.3	2.0	0.0
	壮年層	132	44	53	28	12	26	0	2
	100.0	33.3	40.2	21.2	9.1	19.7	0.0	1.5	
高齢層	202	9	126	44	11	34	3	2	
	100.0	4.5	62.4	21.8	5.4	16.8	1.5	1.0	
現在の暮らし方	本人ひとりで暮らしている	45	5	1	7	2	33	3	1
		100.0	11.1	2.2	15.6	4.4	73.3	6.7	2.2
	家族と暮らしている	314	86	181	66	3	26	0	3
		100.0	27.4	57.6	21.0	1.0	8.3	0.0	1.0
	グループホームで暮らしている	15	1	0	0	13	3	0	0
		100.0	6.7	0.0	0.0	86.7	20.0	0.0	0.0
	福祉施設で暮らしている	10	1	1	0	5	6	0	0
	100.0	10.0	10.0	0.0	50.0	60.0	0.0	0.0	
病院に入院している	1	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	3	0	1	0	1	1	1	0	
	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	

### ③ 介助者が困っていること

問16 介助者が、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「疲れること」が32.8%で最も高く、次いで「外出がしづらいこと」(30.3%)、「経済的に余裕がないこと」(26.3%)と続きます。
- どの障害種類も、また、年齢3区分別の“青年層”及び“壮年層”は「疲れること」がそれぞれ最も高く、“高齢層”は「外出がしづらいこと」が最も高くなっています。



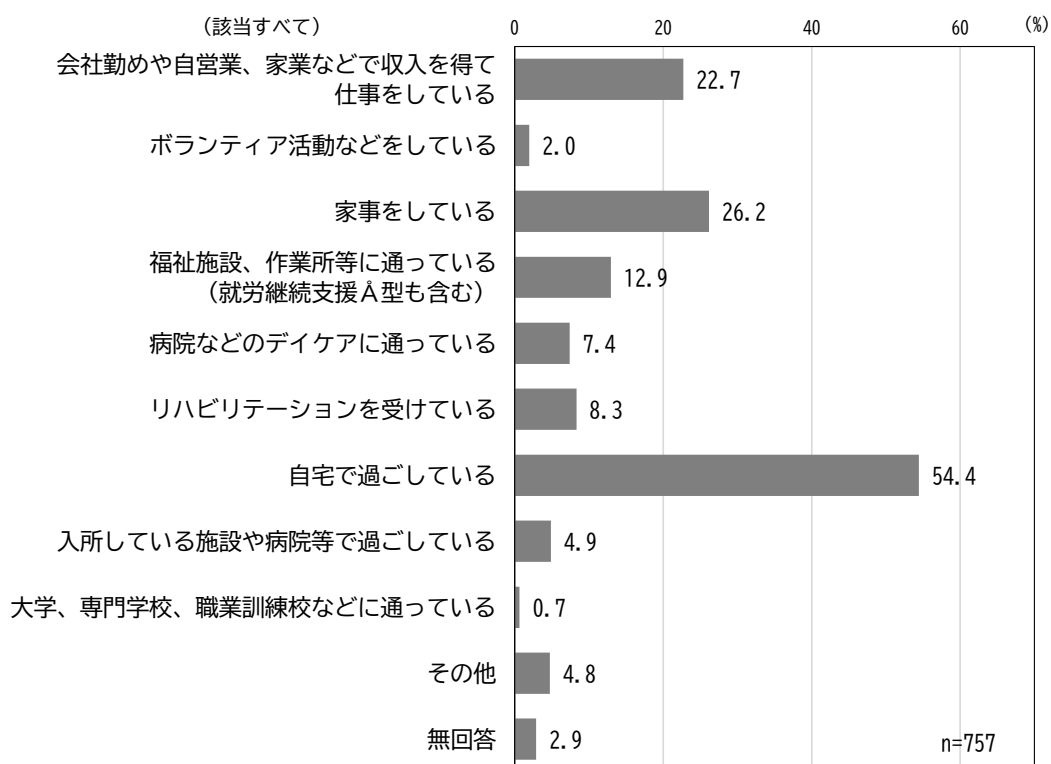
	合計	問16 介助者が困っていること									
		外出がしづらいこと	仕事がしづらいこと	疲れること	自分の時間が持てないこと	経済的に余裕がないこと	支援サービスが利用しにくいこと	相談にのってくれる人がいないこと	その他	無回答	
全体	320 100.0	97 30.3	37 11.6	105 32.8	54 16.9	84 26.3	21 6.6	11 3.4	55 17.2	88 27.5	
障害種類	身体障害	236 100.0	70 29.7	22 9.3	72 30.5	38 16.1	58 24.6	11 4.7	7 3.0	37 15.7	70 29.7
	知的障害	31 100.0	8 25.8	7 22.6	13 41.9	7 22.6	8 25.8	5 16.1	2 6.5	9 29.0	4 12.9
	精神障害	23 100.0	8 34.8	5 21.7	11 47.8	4 17.4	10 43.5	1 4.3	1 4.3	4 17.4	5 21.7
	重複障害	18 100.0	7 38.9	2 11.1	8 44.4	4 22.2	4 22.2	3 16.7	1 5.6	1 5.6	6 33.3
	年齢3区分	青年層	41 100.0	7 17.1	10 24.4	17 41.5	8 19.5	11 26.8	7 17.1	2 4.9	10 24.4
	壮年層	108 100.0	29 26.9	14 13.0	37 34.3	17 15.7	34 31.5	6 5.6	6 5.6	14 13.0	37 34.3
	高齢層	163 100.0	57 35.0	13 8.0	48 29.4	27 16.6	38 23.3	7 4.3	3 1.8	30 18.4	41 25.2
現在の暮らし方	本人ひとりで暮らしている	13 100.0	2 15.4	1 7.7	3 23.1	3 23.1	2 15.4	0 0.0	1 7.7	2 15.4	8 61.5
	家族と暮らしている	298 100.0	91 30.5	34 11.4	99 33.2	49 16.4	80 26.8	20 6.7	9 3.0	51 17.1	79 26.5
	グループホームで暮らしている	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	福祉施設で暮らしている	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	病院に入院している	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## 4 普段の生活について

### ① 平日の日中の過ごし方

問17 あなたは、平日の日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「自宅で過ごしている」が54.4%で最も高く、次いで「家事をしている」(26.2%)、「会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」(22.7%)と続きます。
- 「自宅で過ごしている」は、障害種類別では“身体障害”、“精神障害”、“重複障害”が、年齢3区分別では“壮年層”及び“高齢層”が、それぞれ最も高くなっています。また、“知的障害”、“青年層”は「福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)」が、それぞれ最も高くなっています。

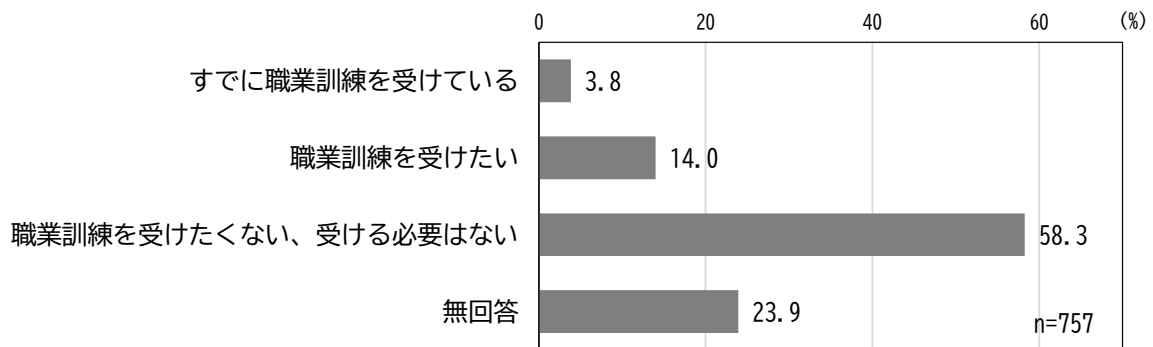


	合計	問17 平日の日中の過ごし方											
		会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	ボランティア活動などをしている	家事をしている	福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)	病院などのデイケアに通っている	リハビリテーションを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	その他	無回答	
全体	757	172	15	198	98	56	63	412	37	5	36	22	
	100.0	22.7	2.0	26.2	12.9	7.4	8.3	54.4	4.9	0.7	4.8	2.9	
障害種類	身体障害	506	127	10	153	23	30	50	299	18	3	22	14
		100.0	25.1	2.0	30.2	4.5	5.9	9.9	59.1	3.6	0.6	4.3	2.8
	知的障害	88	25	0	9	44	2	2	24	4	2	2	0
		100.0	28.4	0.0	10.2	50.0	2.3	2.3	27.3	4.5	2.3	2.3	0.0
精神障害	73	11	2	17	16	13	3	42	6	0	4	1	
	100.0	15.1	2.7	23.3	21.9	17.8	4.1	57.5	8.2	0.0	5.5	1.4	
重複障害	46	4	3	10	9	9	8	26	3	0	4	1	
	100.0	8.7	6.5	21.7	19.6	19.6	17.4	56.5	6.5	0.0	8.7	2.2	
年齢3区分別	青年層	86	33	1	11	35	2	4	30	1	3	5	1
		100.0	38.4	1.2	12.8	40.7	2.3	4.7	34.9	1.2	3.5	5.8	1.2
	壮年層	290	104	4	64	52	17	12	112	17	0	10	3
	100.0	35.9	1.4	22.1	17.9	5.9	4.1	38.6	5.9	0.0	3.4	1.0	
高齢層	356	30	8	118	9	36	43	257	18	2	21	13	
	100.0	8.4	2.2	33.1	2.5	10.1	12.1	72.2	5.1	0.6	5.9	3.7	

## ② 職業訓練の受講希望

問18 仕事をするために、またはスキルアップをするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(1つだけ○)

- 「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が58.3%、「職業訓練を受けたい」が14.0%、「すでに職業訓練を受けている」が3.8%となっています。
- どの障害種類も年齢3区分も「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が、それぞれ最も高くなっています。また、「職業訓練を受けたい」は、障害種類別では“精神障害”(32.9%)が、年齢3区分別では“青年層”(29.1%)が、それぞれ最も高くなっています。



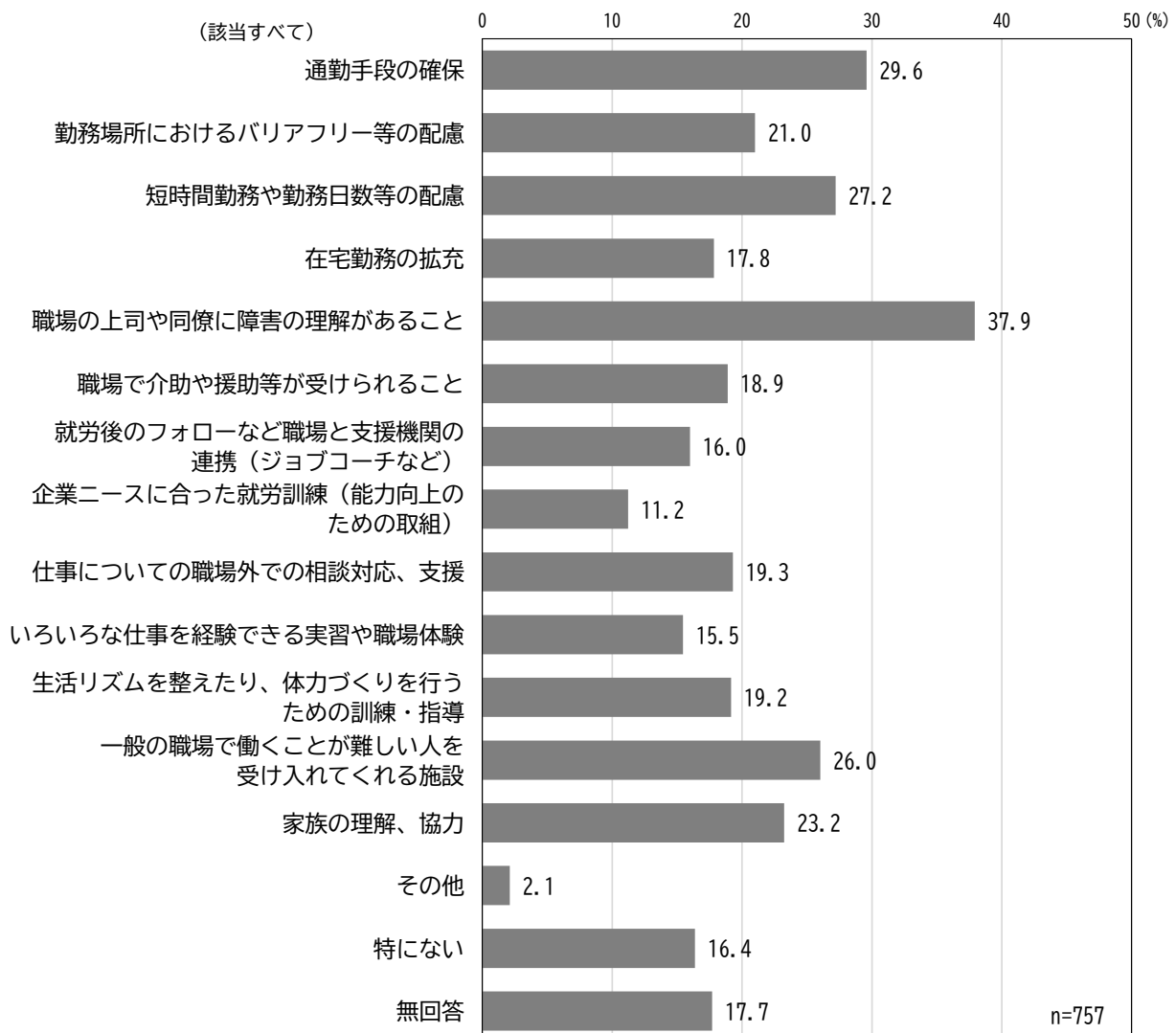
	合計	問18 職業訓練を受けたいかどうか				
		すでに職業訓練を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	無回答	
全体	757 100.0	29 3.8	106 14.0	441 58.3	181 23.9	
障害種類	身体障害	506 100.0	12 2.4	52 10.3	316 62.5	126 24.9
	知的障害	88 100.0	9 10.2	17 19.3	48 54.5	14 15.9
	精神障害	73 100.0	4 5.5	24 32.9	33 45.2	12 16.4
	重複障害	46 100.0	3 6.5	5 10.9	22 47.8	16 34.8
年齢3区分	青年層	86 100.0	11 12.8	25 29.1	36 41.9	14 16.3
	壮年層	290 100.0	17 5.9	57 19.7	172 59.3	44 15.2
	高齢層	356 100.0	1 0.3	19 5.3	222 62.4	114 32.0



### ③ 障害者の就労支援に必要なこと

問19 障害のある人の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が37.9%で最も高く、次いで「通勤手段の確保」(29.6%)、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」(27.2%)、「一般の職場で働くことが難しい人を受け入れてくれる施設」(26.0%)、「家族の理解、協力」(23.2%)、「勤務場所におけるバリアフリー等の配慮」(21.0%)と続きます。
- どの障害種類も年齢3区分も「職場の上司や同僚に障害の理解があること」が、それぞれ最も高くなっています。次いで高いのは、“身体障害”は「通勤手段の確保」、「知的障害”は「一般の職場で働くことが難しい人を受け入れてくれる施設」、「精神障害”は、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」、「重複障害”は「生活リズムを整えたり、体力づくりを行うための訓練・指導」となっています。
- 年齢3区分別で次いで高いのは、“青年層”は「一般の職場で働くことが難しい人を受け入れてくれる施設」、「壮年層”及び“高齢層”は「通勤手段の確保」となっています。



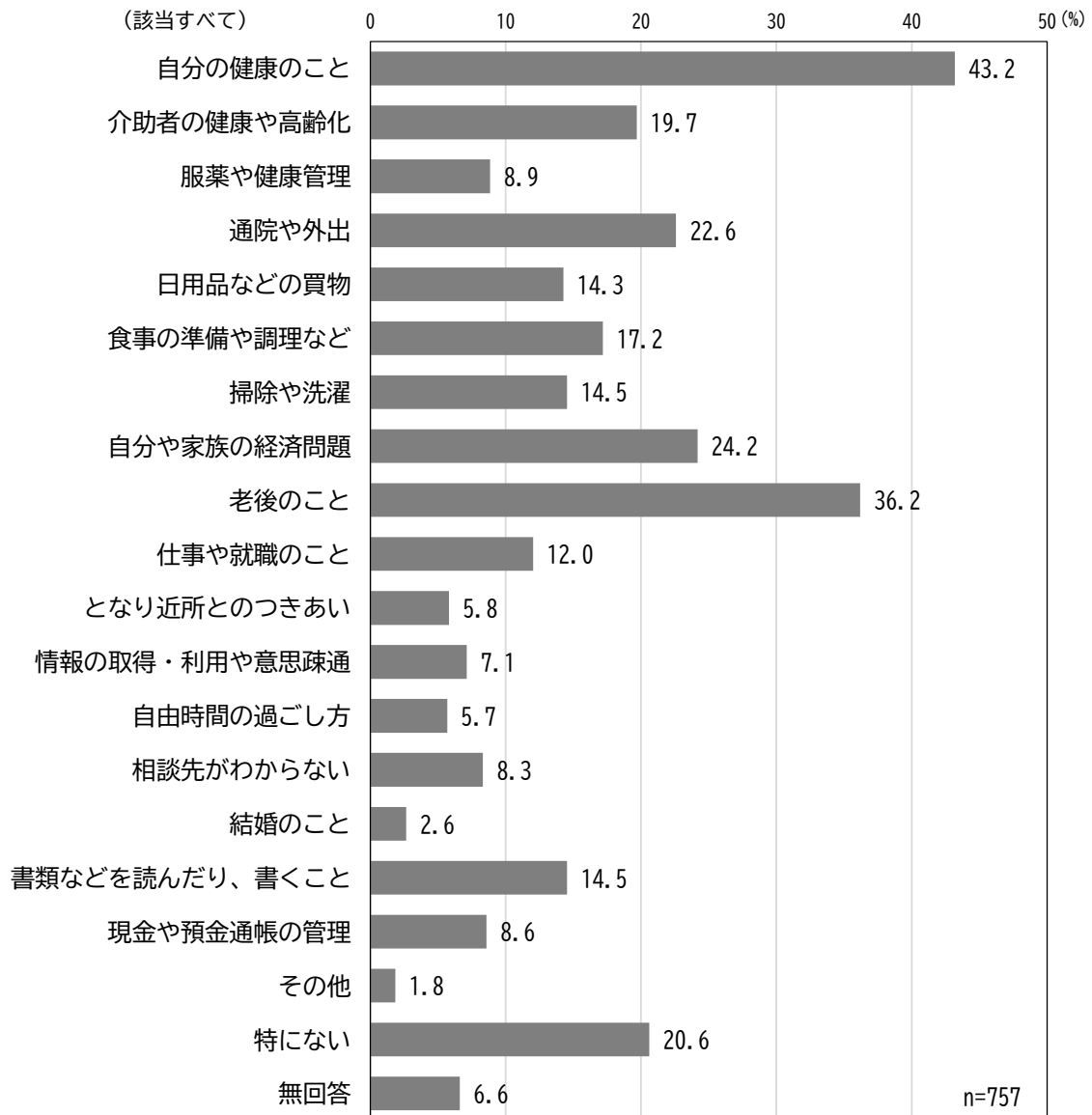
		合計	問19 障害者の就労支援として必要なこと							
			通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	職場の上司や同僚に障害の理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携（ジョブコーチなど）	企業ニーズに合った就労訓練（能力向上のための取組）
全体		757 100.0	224 29.6	159 21.0	206 27.2	135 17.8	287 37.9	143 18.9	121 16.0	85 11.2
障害種類	身体障害	506 100.0	162 32.0	129 25.5	141 27.9	103 20.4	184 36.4	91 18.0	67 13.2	61 12.1
	知的障害	88 100.0	23 26.1	10 11.4	21 23.9	1 1.1	45 51.1	24 27.3	26 29.5	14 15.9
	精神障害	73 100.0	20 27.4	7 9.6	25 34.2	21 28.8	33 45.2	8 11.0	14 19.2	7 9.6
	重複障害	46 100.0	6 13.0	6 13.0	8 17.4	5 10.9	12 26.1	8 17.4	8 17.4	1 2.2
年齢区分	青年層	86 100.0	28 32.6	14 16.3	27 31.4	14 16.3	54 62.8	27 31.4	30 34.9	19 22.1
	壮年層	290 100.0	111 38.3	75 25.9	102 35.2	66 22.8	144 49.7	65 22.4	55 19.0	36 12.4
	高齢層	356 100.0	76 21.3	64 18.0	72 20.2	47 13.2	79 22.2	43 12.1	32 9.0	27 7.6

		問19 障害者の就労支援として必要なこと							
		仕事についての職 場外での相談対 応、支援	いろいろな仕事を 経験できる実習や 職場体験	生活リズムを整え たり、体力づくり を行うための訓 練・指導	一般の職場で働く ことが難しい人 を受け入れてくれる 施設	家族の理解、協力	その他	特にない	無回答
全体		146 19.3	117 15.5	145 19.2	197 26.0	176 23.2	16 2.1	124 16.4	134 17.7
障害種類	身体障害	79 15.6	68 13.4	86 17.0	123 24.3	118 23.3	7 1.4	88 17.4	98 19.4
	知的障害	27 30.7	24 27.3	23 26.1	29 33.0	22 25.0	3 3.4	7 8.0	10 11.4
	精神障害	20 27.4	16 21.9	18 24.7	24 32.9	21 28.8	3 4.1	10 13.7	10 13.7
	重複障害	9 19.6	5 10.9	11 23.9	10 21.7	4 8.7	3 6.5	9 19.6	6 13.0
年齢区分	青年層	30 34.9	25 29.1	27 31.4	33 38.4	24 27.9	3 3.5	3 3.5	4 4.7
	壮年層	73 25.2	56 19.3	56 19.3	91 31.4	78 26.9	7 2.4	43 14.8	24 8.3
	高齢層	35 9.8	29 8.1	56 15.7	65 18.3	67 18.8	6 1.7	75 21.1	99 27.8

#### ④ 日常生活で困っていること

問20 あなたは、日常生活で何か困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「特にない」及び無回答を除くと72.8%が困っていることを選択しています。その中では、「自分の健康のこと」が43.2%で最も高く、次いで「老後のこと」(36.2%)、「自分や家族の経済問題」(24.2%)、「通院や外出」(22.6%)、「介助者の健康や高齢化」(19.7%)と続きます。
- 障害種別では、“身体障害”及び“精神障害”は「自分の健康のこと」が、“知的障害”及び“重複障害”は「老後のこと」が、それぞれ最も高くなっています。
- 年齢3区分別では、“青年層”及び“壮年層”は「老後のこと」が、“高齢層”は「自分の健康のこと」が、それぞれ最も高くなっています。



	合計	問20 日常生活で困っていること										
		自分の健康のこと	介助者の健康や高齢化	服薬や健康管理	通院や外出	日用品などの買物	食事の準備や調理など	掃除や洗濯	自分や家族の経済問題	老後のこと	仕事や就職のこと	
全体	757 100.0	327 43.2	149 19.7	67 8.9	171 22.6	108 14.3	130 17.2	110 14.5	183 24.2	274 36.2	91 12.0	
障害種類	身体障害	506 100.0	216 42.7	97 19.2	37 7.3	110 21.7	68 13.4	75 14.8	63 12.5	116 22.9	171 33.8	41 8.1
	知的障害	88 100.0	28 31.8	21 23.9	11 12.5	23 26.1	17 19.3	21 23.9	16 18.2	18 20.5	29 33.0	19 21.6
	精神障害	73 100.0	38 52.1	15 20.5	12 16.4	19 26.0	10 13.7	20 27.4	17 23.3	31 42.5	37 50.7	20 27.4
	重複障害	46 100.0	27 58.7	10 21.7	4 8.7	10 21.7	10 21.7	8 17.4	10 21.7	12 26.1	28 60.9	7 15.2
年齢3区分	青年層	86 100.0	28 32.6	16 18.6	10 11.6	23 26.7	18 20.9	21 24.4	17 19.8	22 25.6	33 38.4	29 33.7
	壮年層	290 100.0	130 44.8	51 17.6	28 9.7	60 20.7	35 12.1	53 18.3	40 13.8	91 31.4	133 45.9	52 17.9
	高齢層	356 100.0	158 44.4	76 21.3	28 7.9	80 22.5	51 14.3	51 14.3	50 14.0	61 17.1	99 27.8	6 1.7

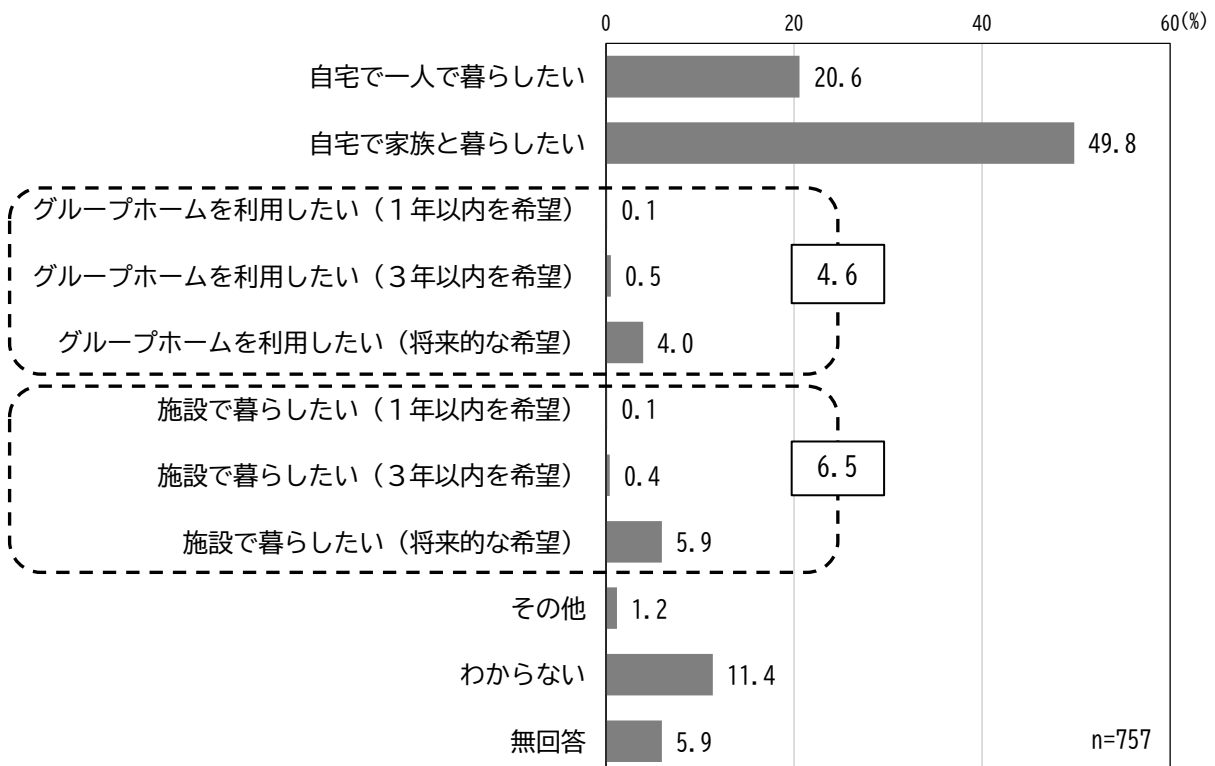
	合計	問20 日常生活で困っていること									
		となり近所とのつきあい	情報の取得・利用や意思疎通	自由時間の過ごし方	相談先がわからない	結婚のこと	書類などを読んだり、書くこと	現金や預金通帳の管理	その他	特にない	無回答
全体	44 5.8	54 7.1	43 5.7	63 8.3	20 2.6	110 14.5	65 8.6	14 1.8	156 20.6	50 6.6	
障害種類	身体障害	17 3.4	26 5.1	15 3.0	30 5.9	10 2.0	50 9.9	13 2.6	8 1.6	122 24.1	34 6.7
	知的障害	9 10.2	9 10.2	14 15.9	11 12.5	7 8.0	28 31.8	24 27.3	3 3.4	11 12.5	6 6.8
	精神障害	10 13.7	10 13.7	6 8.2	12 16.4	2 2.7	21 28.8	14 19.2	2 2.7	8 11.0	2 2.7
	重複障害	6 13.0	6 13.0	6 13.0	8 17.4	1 2.2	7 15.2	11 23.9	1 2.2	4 8.7	2 4.3
年齢3区分	青年層	11 12.8	11 12.8	9 10.5	19 22.1	13 15.1	28 32.6	25 29.1	3 3.5	13 15.1	2 2.3
	壮年層	21 7.2	31 10.7	20 6.9	26 9.0	7 2.4	45 15.5	35 12.1	7 2.4	53 18.3	12 4.1
	高齢層	12 3.4	12 3.4	13 3.7	17 4.8	0 0.0	35 9.8	4 1.1	3 0.8	89 25.0	31 8.7

## 5 将来の暮らしについて

### ① 将来の暮らし方の希望

問21 あなたは、将来どのように暮らしたいと思いますか。(1つだけ○)

- 「自宅で家族と暮らしたい」が49.8%で最も高く、次いで「自宅で一人で暮らしたい」(20.6%)、「わからない」(11.4%)と続きます。また、将来的な希望を含め、『グループホームを利用したい』が合わせて4.6%、『施設で暮らしたい』が6.5%となっています。
- 障害種別では、“身体障害”及び“知的障害”は「自宅で家族と暮らしたい」が、“精神障害”及び“重複障害”は「自宅で一人で暮らしたい」が、それぞれ最も高くなっています。また、『グループホームを利用したい』は“知的障害”が、『施設で暮らしたい』は“重複障害”が、それぞれ他の障害に比べ高くなっています。
- 年齢3区分別では、どの年齢層も「自宅で家族と暮らしたい」が最も高くなっています。また、『グループホームを利用したい』は“青年層”が高く、「施設で暮らしたい」は、“壮年層”及び“高齢層”が高くなっています。
- 現在の暮らし方別では、現在の暮らし方を将来も希望する率が最も高いのは、“本人がひとりで暮らしている”や“家族と暮らしている”、“福祉施設でくらしている”で、“グループホームで暮らしている”や“病院に入院している”、“その他”は「わからない」が最も高くなっています。



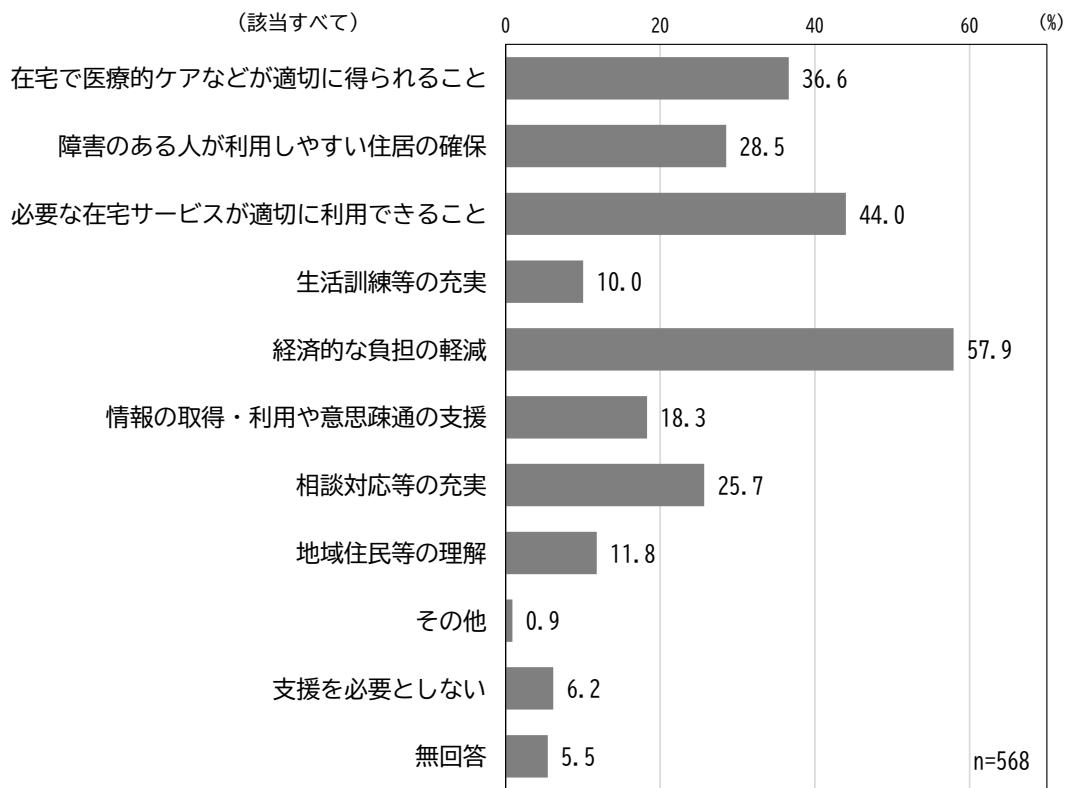
	合計	問21 将来の暮らし方の希望								
		自宅で一人暮らししたい	自宅で家族と暮らしたい	グループホームを利用したい(1年以内を希望)	グループホームを利用したい(3年以内を希望)	グループホームを利用したい(将来的な希望)	施設で暮らしたい(1年以内を希望)	施設で暮らしたい(3年以内を希望)	施設で暮らしたい(将来的な希望)	
全体	757 100.0	156 20.6	377 49.8	1 0.1	4 0.5	30 4.0	1 0.1	3 0.4	45 5.9	
障害種類	身体障害	506 100.0	89 17.6	294 58.1	0 0.0	2 0.4	12 2.4	1 0.2	2 0.4	28 5.5
	知的障害	88 100.0	17 19.3	30 34.1	1 1.1	2 2.3	14 15.9	0 0.0	0 0.0	3 3.4
	精神障害	73 100.0	26 35.6	24 32.9	0 0.0	0 0.0	3 4.1	0 0.0	1 1.4	6 8.2
	重複障害	46 100.0	17 37.0	12 26.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 13.0
年齢3区分	青年層	86 100.0	21 24.4	36 41.9	1 1.2	1 1.2	9 10.5	0 0.0	0 0.0	1 1.2
	壮年層	290 100.0	69 23.8	136 46.9	0 0.0	2 0.7	12 4.1	0 0.0	2 0.7	19 6.6
	高齢層	356 100.0	61 17.1	195 54.8	0 0.0	1 0.3	9 2.5	1 0.3	1 0.3	24 6.7
現在の暮らし方	本人ひとりで暮らしている	160 100.0	104 65.0	9 5.6	0 0.0	2 1.3	5 3.1	0 0.0	1 0.6	11 6.9
	家族と暮らしている	521 100.0	44 8.4	351 67.4	1 0.2	2 0.4	20 3.8	1 0.2	0 0.0	26 5.0
	グループホームで暮らしている	21 100.0	5 23.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	4 19.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8
	福祉施設で暮らしている	18 100.0	0 0.0	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 33.3
	病院に入院している	12 100.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0
	その他	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	問21 将来の暮らし方の希望			統合	
	その他	わからない	無回答	グループホームを利用したい	施設で暮らしたい
全体	9 1.2	86 11.4	45 5.9	4.6	6.5
障害種類	身体障害	3 0.6	50 9.9	25 4.9	2.8 6.1
	知的障害	2 2.3	13 14.8	6 6.8	19.3 3.4
	精神障害	2 2.7	9 12.3	2 2.7	4.1 9.6
	重複障害	2 4.3	7 15.2	2 4.3	0.0 13.0
年齢3区分	青年層	0 0.0	13 15.1	4 4.7	12.8 1.2
	壮年層	9 3.1	29 10.0	12 4.1	4.8 7.2
	高齢層	0 0.0	40 11.2	24 6.7	2.8 7.3
現在の暮らし方	本人ひとりで暮らしている	1 0.6	25 15.6	2 1.3	4.4 7.5
	家族と暮らしている	5 1.0	43 8.3	28 5.4	4.4 5.2
	グループホームで暮らしている	2 9.5	8 38.1	0 0.0	19.0 4.8
	福祉施設で暮らしている	1 5.6	1 5.6	6 33.3	0.0 33.3
	病院に入院している	0 0.0	4 33.3	3 25.0	0.0 16.7
	その他	0 0.0	2 33.3	1 16.7	16.7 0.0

## ② 在宅で暮らす場合に必要な支援

問22 問21で「1」から「5」までにお答えの方におたずねします。在宅で暮らす場合、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 自宅やグループホームを希望する場合に必要な支援としては、「経済的な負担の軽減」が57.9%で最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」(44.0%)、「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」(36.6%)、「障害のある人が利用しやすい住居の確保」(28.5%)、「相談対応等の充実」(25.7%)と続きます。
- おおむねどの障害種類も年齢層も「経済的な負担の軽減」が最も高くなっていますが、“重複障害”は「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」や「必要な在宅サービスが適切に利用できること」、「相談対応等の充実」が同率で最も高くなっています。



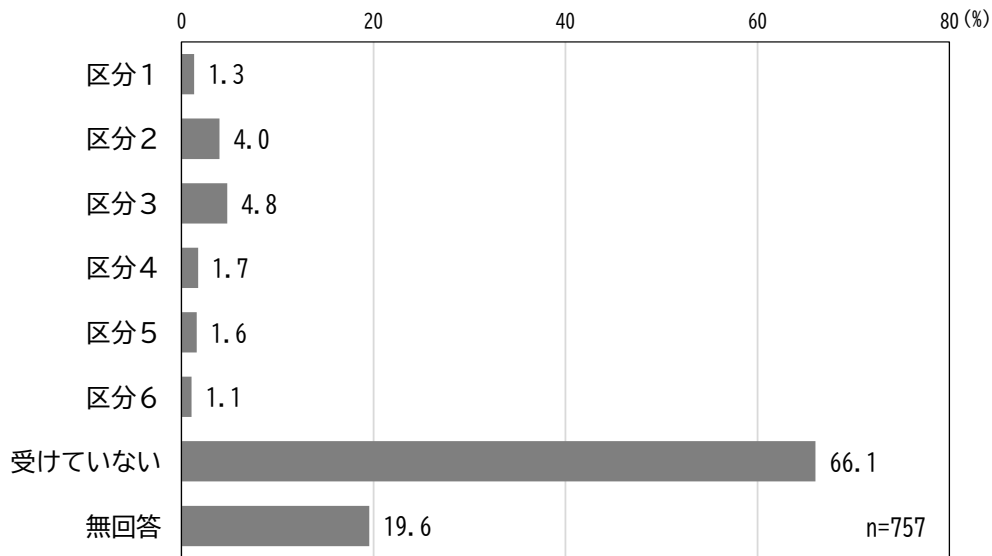
	合計	問22 在宅で暮らす場合に必要な支援											
		在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	障害のある人が利用しやすい住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	情報の取得・利用や意思疎通の支援	相談対応等の充実	地域住民等の理解	その他	支援を必要としない	無回答	
全体	568	208	162	250	57	329	104	146	67	5	35	31	
	100.0	36.6	28.5	44.0	10.0	57.9	18.3	25.7	11.8	0.9	6.2	5.5	
障害種類	身体障害	397	161	107	186	30	225	58	85	32	3	30	17
		100.0	40.6	27.0	46.9	7.6	56.7	14.6	21.4	8.1	0.8	7.6	4.3
	知的障害	64	13	24	27	13	40	22	29	11	0	2	2
		100.0	20.3	37.5	42.2	20.3	62.5	34.4	45.3	17.2	0.0	3.1	3.1
	精神障害	53	13	14	13	6	36	13	14	14	1	0	4
	100.0	24.5	26.4	24.5	11.3	67.9	24.5	26.4	26.4	1.9	0.0	7.5	
重複障害	29	12	9	12	4	11	8	12	8	1	1	6	
	100.0	41.4	31.0	41.4	13.8	37.9	27.6	41.4	27.6	3.4	3.4	20.7	
年齢3区分	青年層	68	13	26	29	14	48	22	27	16	1	1	4
		100.0	19.1	38.2	42.6	20.6	70.6	32.4	39.7	23.5	1.5	1.5	5.9
	壮年層	219	76	84	90	26	145	49	73	33	2	12	9
	100.0	34.7	38.4	41.1	11.9	66.2	22.4	33.3	15.1	0.9	5.5	4.1	
高齢層	266	115	48	123	13	129	29	44	14	2	22	17	
	100.0	43.2	18.0	46.2	4.9	48.5	10.9	16.5	5.3	0.8	8.3	6.4	

## 6 障害福祉サービスの利用について

### ① 障害支援区分の認定状況

問23 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(1つだけ○)

- 認定を受けている率は14.4%で、「区分3」が4.8%で最も高くなっています。また、支援の必要度が最も高い「区分6」が1.1%となっています。
- 認定を受けている率は、障害種類別では“知的障害”が46.6%で最も高く、年齢3区分別では“青年層”が36.0%で最も高くなっています。また、「区分6」は、障害種類別では“重複障害”が8.7%で最も高くなっています。



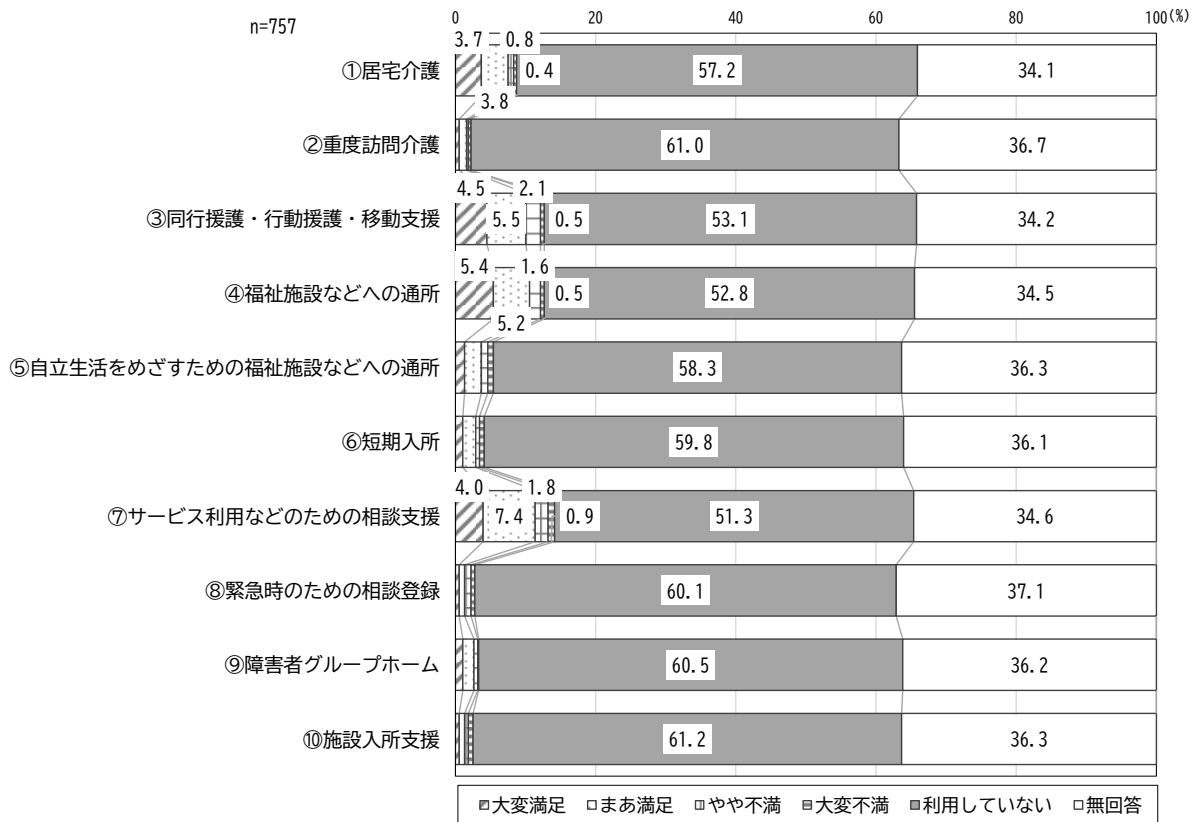
	合計	問23 障害支援区分の認定状況								統合 認定率	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けてい ない	無回答		
全体	757 100.0	10 1.3	30 4.0	36 4.8	13 1.7	12 1.6	8 1.1	500 66.1	148 19.6	14.4	
障害 種類	身体障害	506 100.0	4 0.8	5 1.0	7 1.4	5 1.0	4 0.8	3 0.6	387 76.5	91 18.0	5.5
	知的障害	88 100.0	3 3.4	13 14.8	15 17.0	4 4.5	5 5.7	1 1.1	38 43.2	9 10.2	46.6
	精神障害	73 100.0	2 2.7	5 6.8	7 9.6	2 2.7	1 1.4	0 0.0	35 47.9	21 28.8	23.3
	重複障害	46 100.0	1 2.2	6 13.0	4 8.7	1 2.2	2 4.3	4 8.7	18 39.1	10 21.7	39.1
年齢3 区分	青年層	86 100.0	4 4.7	8 9.3	9 10.5	3 3.5	5 5.8	2 2.3	44 51.2	11 12.8	36.0
	壮年層	290 100.0	3 1.0	14 4.8	22 7.6	7 2.4	5 1.7	6 2.1	191 65.9	42 14.5	19.7
	高齢層	356 100.0	2 0.6	8 2.2	4 1.1	2 0.6	1 0.3	0 0.0	254 71.3	85 23.9	4.8



## ② 福祉サービスの利用状況、利用した際の満足度

問24 次の障害福祉サービスを利用したことがありますか。利用した際は、サービスに満足できましたか。①～⑩のそれぞれについてお答えください。

- 「利用していない」及び無回答を除いた利用率は、【⑦サービス利用などのための相談支援】が14.1%で最も高く、次いで【③同行援護・行動援護・移動支援】及び【④福祉施設などへの通所】(共に12.7%)、【①居宅介護】(8.7%)と続きます。
- おおむね、どのサービスも『満足』(「大変満足」+「まあ満足」)が、『不満』(「やや不満」+「大変不満」)に比べ高くなっていますが、【⑧緊急時のための相談登録】は『不満』がわずかに高くなっています。また、すべてのサービスの利用率が15%以下の中で、『満足』が10%以上は、【⑦サービス利用などのための相談支援】(11.4%)、【④福祉施設などへの通所】(10.6%)、【③同行援護・行動援護・移動支援】(10.0%)の3サービスとなっています。



サービス名	利用状況・満足度						統合		
	大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用していない	無回答	利用率	満足	不満
①居宅介護	3.7	3.8	0.8	0.4	57.2	34.1	8.7	7.5	1.2
②重度訪問介護	0.5	1.1	0.3	0.4	61.0	36.7	2.2	1.6	0.7
③同行援護・行動援護・移動支援	4.5	5.5	2.1	0.5	53.1	34.2	12.7	10.0	2.6
④福祉施設などへの通所	5.4	5.2	1.6	0.5	52.8	34.5	12.7	10.6	2.1
⑤自立生活をめざすための福祉施設などへの通所	1.3	2.4	0.9	0.8	58.3	36.3	5.4	3.7	1.7
⑥短期入所	1.1	1.8	0.5	0.7	59.8	36.1	4.1	2.9	1.2
⑦サービス利用などのための相談支援	4.0	7.4	1.8	0.9	51.3	34.6	14.1	11.4	2.8
⑧緊急時のための相談登録	0.5	0.8	0.9	0.5	60.1	37.1	2.8	1.3	1.5
⑨障害者グループホーム	1.1	1.6	0.5	0.1	60.5	36.2	3.3	2.6	0.7
⑩施設入所支援	0.5	0.8	0.5	0.7	61.2	36.3	2.5	1.3	1.2

- 障害種類別の最も利用率が高いサービスは、“身体障害”が【③同行援護・行動援護・移動支援】(7.7%)、“知的障害”が【④福祉施設などへの通所の利用】及び【⑦サービス利用などのための相談支援】(共に37.5%)、“精神障害”が【④福祉施設などへの通所の利用】(26.0%)、“重複障害”が【③同行援護・行動援護・移動支援】(32.6%)となっています。
- 年齢3区分別の最も利用率が高いサービスは、“青年層”が【⑦サービス利用などのための相談支援】(36.0%)、“壮年層”が【④福祉施設などへの通所の利用】(17.2%)、“高齢層”が【①居宅介護】(9.0%)となっています。また、“青年層”は“壮年層”や“高齢層”に比べ利用率の高いサービスが多くなっています。
- 障害種類別の満足度では、どの障害種類もおおむね『満足』が『不満』に比べ高くなっていますが、『不満』が『満足』に比べ3ポイント以上高いのは、“重複障害”の【②重度訪問介護】や【⑥短期入所】、【⑧緊急時のための相談登録】となっています。
- 年齢3区分別の満足度では、『不満』が『満足』に比べ3ポイント以上高いサービスは、“青年層”の【⑩施設入所支援】となっています。

	合計	問24-①居宅介護の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	28 3.7	29 3.8	6 0.8	3 0.4	433 57.2	258 34.1	8.7	7.5	1.2	
障害 種類	身体障害	506 100.0	15 3.0	21 4.2	1 0.2	1 0.2	292 57.7	176 34.8	7.5	7.1	0.4
	知的障害	88 100.0	6 6.8	2 2.3	1 1.1	0 0.0	57 64.8	22 25.0	10.2	9.1	1.1
	精神障害	73 100.0	5 6.8	2 2.7	0 0.0	1 1.4	38 52.1	27 37.0	11.0	9.6	1.4
	重複障害	46 100.0	1 2.2	3 6.5	3 6.5	1 2.2	21 45.7	17 37.0	17.4	8.7	8.7
年齢 3区 分	青年層	86 100.0	7 8.1	1 1.2	1 1.2	1 1.2	55 64.0	21 24.4	11.6	9.3	2.3
	壮年層	290 100.0	10 3.4	10 3.4	2 0.7	2 0.7	190 65.5	76 26.2	8.3	6.9	1.4
	高齢層	356 100.0	11 3.1	18 5.1	3 0.8	0 0.0	175 49.2	149 41.9	9.0	8.1	0.8

	合計	問24-②重度訪問介護の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	4 0.5	8 1.1	2 0.3	3 0.4	462 61.0	278 36.7	2.2	1.6	0.7	
障害 種類	身体障害	506 100.0	4 0.8	5 1.0	0 0.0	1 0.2	303 59.9	193 38.1	2.0	1.8	0.2
	知的障害	88 100.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 1.1	62 70.5	24 27.3	2.3	1.1	1.1
	精神障害	73 100.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	44 60.3	28 38.4	1.4	1.4	0.0
	重複障害	46 100.0	0 0.0	1 2.2	2 4.3	1 2.2	25 54.3	17 37.0	8.7	2.2	6.5
年齢 3区 分	青年層	86 100.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2	61 70.9	23 26.7	2.3	1.2	1.2
	壮年層	290 100.0	0 0.0	5 1.7	0 0.0	2 0.7	202 69.7	81 27.9	2.4	1.7	0.7
	高齢層	356 100.0	3 0.8	3 0.8	2 0.6	0 0.0	186 52.2	162 45.5	2.2	1.7	0.6

	合計	問24-③同行援護・行動援護・移動支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	34 4.5	42 5.5	16 2.1	4 0.5	402 53.1	259 34.2	12.7	10.0	2.6	
障害種類	身体障害	506 100.0	15 3.0	17 3.4	5 1.0	2 0.4	285 56.3	182 36.0	7.7	6.3	1.4
	知的障害	88 100.0	10 11.4	8 9.1	5 5.7	1 1.1	43 48.9	21 23.9	27.3	20.5	6.8
	精神障害	73 100.0	5 6.8	7 9.6	0 0.0	1 1.4	33 45.2	27 37.0	17.8	16.4	1.4
	重複障害	46 100.0	4 8.7	6 13.0	5 10.9	0 0.0	18 39.1	13 28.3	32.6	21.7	10.9
年齢3区分	青年層	86 100.0	10 11.6	6 7.0	5 5.8	1 1.2	44 51.2	20 23.3	25.6	18.6	7.0
	壮年層	290 100.0	16 5.5	19 6.6	5 1.7	2 0.7	175 60.3	73 25.2	14.5	12.1	2.4
	高齢層	356 100.0	7 2.0	16 4.5	5 1.4	1 0.3	172 48.3	155 43.5	8.1	6.5	1.7

	合計	問24-④福祉施設などへの通所の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	41 5.4	39 5.2	12 1.6	4 0.5	400 52.8	261 34.5	12.7	10.6	2.1	
障害種類	身体障害	506 100.0	10 2.0	12 2.4	4 0.8	3 0.6	289 57.1	188 37.2	5.7	4.3	1.4
	知的障害	88 100.0	19 21.6	13 14.8	1 1.1	0 0.0	37 42.0	18 20.5	37.5	36.4	1.1
	精神障害	73 100.0	8 11.0	8 11.0	3 4.1	0 0.0	31 42.5	23 31.5	26.0	21.9	4.1
	重複障害	46 100.0	3 6.5	4 8.7	2 4.3	0 0.0	20 43.5	17 37.0	19.6	15.2	4.3
年齢3区分	青年層	86 100.0	12 14.0	11 12.8	2 2.3	1 1.2	42 48.8	18 20.9	30.2	26.7	3.5
	壮年層	290 100.0	21 7.2	18 6.2	8 2.8	3 1.0	170 58.6	70 24.1	17.2	13.4	3.8
	高齢層	356 100.0	7 2.0	9 2.5	2 0.6	0 0.0	176 49.4	162 45.5	5.1	4.5	0.6

	合計	問24-⑤自立生活をめざすための福祉施設などへの通所の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	10 1.3	18 2.4	7 0.9	6 0.8	441 58.3	275 36.3	5.4	3.7	1.7	
障害種類	身体障害	506 100.0	1 0.2	4 0.8	3 0.6	3 0.6	304 60.1	191 37.7	2.2	1.0	1.2
	知的障害	88 100.0	7 8.0	6 6.8	1 1.1	0 0.0	53 60.2	21 23.9	15.9	14.8	1.1
	精神障害	73 100.0	2 2.7	4 5.5	1 1.4	3 4.1	35 47.9	28 38.4	13.7	8.2	5.5
	重複障害	46 100.0	0 0.0	3 6.5	2 4.3	0 0.0	22 47.8	19 41.3	10.9	6.5	4.3
年齢3区分	青年層	86 100.0	5 5.8	7 8.1	1 1.2	1 1.2	53 61.6	19 22.1	16.3	14.0	2.3
	壮年層	290 100.0	5 1.7	9 3.1	3 1.0	4 1.4	188 64.8	81 27.9	7.2	4.8	2.4
	高齢層	356 100.0	0 0.0	2 0.6	3 0.8	0 0.0	188 52.8	163 45.8	1.4	0.6	0.8

	合計	問24-⑥短期入所の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	8 1.1	14 1.8	4 0.5	5 0.7	453 59.8	273 36.1	4.1	2.9	1.2	
障害種類	身体障害	506 100.0	3 0.6	6 1.2	2 0.4	2 0.4	302 59.7	191 37.7	2.6	1.8	0.8
	知的障害	88 100.0	3 3.4	5 5.7	0 0.0	1 1.1	57 64.8	22 25.0	10.2	9.1	1.1
	精神障害	73 100.0	2 2.7	3 4.1	0 0.0	0 0.0	41 56.2	27 37.0	6.8	6.8	0.0
	重複障害	46 100.0	0 0.0	0 0.0	2 4.3	2 4.3	25 54.3	17 37.0	8.7	0.0	8.7
年齢3区分	青年層	86 100.0	4 4.7	3 3.5	0 0.0	2 2.3	56 65.1	21 24.4	10.5	8.1	2.3
	壮年層	290 100.0	2 0.7	4 1.4	1 0.3	2 0.7	200 69.0	81 27.9	3.1	2.1	1.0
	高齢層	356 100.0	2 0.6	6 1.7	3 0.8	1 0.3	184 51.7	160 44.9	3.4	2.2	1.1

	合計	問24-⑦サービス利用などのための相談支援の利用・満足						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	30 4.0	56 7.4	14 1.8	7 0.9	388 51.3	262 34.6	14.1	11.4	2.8	
障害種類	身体障害	506 100.0	11 2.2	19 3.8	5 1.0	3 0.6	280 55.3	188 37.2	7.5	5.9	1.6
	知的障害	88 100.0	10 11.4	16 18.2	6 6.8	1 1.1	38 43.2	17 19.3	37.5	29.5	8.0
	精神障害	73 100.0	4 5.5	11 15.1	1 1.4	1 1.4	30 41.1	26 35.6	23.3	20.5	2.7
	重複障害	46 100.0	2 4.3	5 10.9	2 4.3	2 4.3	19 41.3	16 34.8	23.9	15.2	8.7
年齢3区分	青年層	86 100.0	11 12.8	12 14.0	5 5.8	3 3.5	37 43.0	18 20.9	36.0	26.7	9.3
	壮年層	290 100.0	12 4.1	22 7.6	3 1.0	4 1.4	171 59.0	78 26.9	14.1	11.7	2.4
	高齢層	356 100.0	7 2.0	19 5.3	5 1.4	0 0.0	167 46.9	158 44.4	8.7	7.3	1.4

	合計	問24-⑧緊急時のための相談登録の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	4 0.5	6 0.8	7 0.9	4 0.5	455 60.1	281 37.1	2.8	1.3	1.5	
障害種類	身体障害	506 100.0	3 0.6	0 0.0	4 0.8	1 0.2	301 59.5	197 38.9	1.6	0.6	1.0
	知的障害	88 100.0	0 0.0	4 4.5	0 0.0	0 0.0	60 68.2	24 27.3	4.5	4.5	0.0
	精神障害	73 100.0	0 0.0	2 2.7	0 0.0	1 1.4	44 60.3	26 35.6	4.1	2.7	1.4
	重複障害	46 100.0	1 2.2	0 0.0	3 6.5	2 4.3	22 47.8	18 39.1	13.0	2.2	10.9
年齢3区分	青年層	86 100.0	1 1.2	3 3.5	2 2.3	2 2.3	56 65.1	22 25.6	9.3	4.7	4.7
	壮年層	290 100.0	1 0.3	3 1.0	1 0.3	2 0.7	199 68.6	84 29.0	2.4	1.4	1.0
	高齢層	356 100.0	2 0.6	0 0.0	4 1.1	0 0.0	186 52.2	164 46.1	1.7	0.6	1.1

	合計	問24-⑨障害者グループホームの利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	8 1.1	12 1.6	4 0.5	1 0.1	458 60.5	274 36.2	3.3	2.6	0.7	
障害種類	身体障害	506 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.2	310 61.3	195 38.5	0.2	0.0	0.2
	知的障害	88 100.0	6 6.8	6 6.8	1 1.1	0 0.0	55 62.5	20 22.7	14.8	13.6	1.1
	精神障害	73 100.0	2 2.7	4 5.5	1 1.4	0 0.0	40 54.8	26 35.6	9.6	8.2	1.4
	重複障害	46 100.0	0 0.0	2 4.3	2 4.3	0 0.0	25 54.3	17 37.0	8.7	4.3	4.3
年齢3区分	青年層	86 100.0	1 1.2	1 1.2	0 0.0	1 1.2	61 70.9	22 25.6	3.5	2.3	1.2
	壮年層	290 100.0	4 1.4	9 3.1	2 0.7	0 0.0	197 67.9	78 26.9	5.2	4.5	0.7
	高齢層	356 100.0	2 0.6	1 0.3	2 0.6	0 0.0	187 52.5	164 46.1	1.4	0.8	0.6

	合計	問24-⑩施設入所支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	757 100.0	4 0.5	6 0.8	4 0.5	5 0.7	463 61.2	275 36.3	2.5	1.3	1.2	
障害種類	身体障害	506 100.0	2 0.4	1 0.2	1 0.2	1 0.2	308 60.9	193 38.1	1.0	0.6	0.4
	知的障害	88 100.0	1 1.1	2 2.3	0 0.0	2 2.3	59 67.0	24 27.3	5.7	3.4	2.3
	精神障害	73 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	1 1.4	44 60.3	27 37.0	2.7	0.0	2.7
	重複障害	46 100.0	1 2.2	2 4.3	2 4.3	1 2.2	24 52.2	16 34.8	13.0	6.5	6.5
年齢3区分	青年層	86 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.5	60 69.8	23 26.7	3.5	0.0	3.5
	壮年層	290 100.0	2 0.7	4 1.4	1 0.3	2 0.7	201 69.3	80 27.6	3.1	2.1	1.0
	高齢層	356 100.0	2 0.6	1 0.3	3 0.8	0 0.0	189 53.1	161 45.2	1.7	0.8	0.8

### ③ 障害福祉サービスを利用して不満に思うこと

問25 問24のサービスを利用して不満に思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 障害児と同様に、問24で「大変満足」、「まあ満足」、「やや不満」、「大変不満」の合計回答者（利用者）を母数にして率を算出しています。
- どのサービスも「特にない」が最も高くなっていますが、これ以外で最も高い不満な点をみると、「利用回数や時間などに制限がある」は【①居宅介護】や【③同行援護・行動援護・移動支援】、【④福祉施設などへの通所】、【⑥短期入所】の4サービスで最も高くなっています。
- また、「職員の対応がよくない」は【⑦サービス利用などのための相談支援】や【⑨障害者グループホーム】が、「職員の知識や経験が不足している」は【⑤自立生活をめざすための福祉施設などへの通所】や【⑩施設入所支援】が、「地域に事業所が少なく利用しづらい」は【⑧緊急時のための相談登録】が、「その他」は【②重度訪問介護】が、それぞれ最も高くなっています。

サービス名	①居宅介護	②重度訪問介護	③同行援護・行動援護・移動支援	④福祉施設などへの通所	⑤自立生活をめざすための福祉施設などへの通所
不満に思うこと					
回答者数	n=66	n=17	n=96	n=96	n=41
特にない	62.1	58.8	60.4	66.7	41.5
本人や家族の意向を尊重してもらえない	3.0	0.0	2.1	2.1	2.4
利用回数や時間などに制限がある	18.2	5.9	19.8	9.4	7.3
急な変更に応じてもらえない	3.0	5.9	7.3	2.1	2.4
職員の対応がよくない	3.0	5.9	2.1	4.2	4.9
職員の知識や経験が不足している	1.5	0.0	1.0	6.3	9.8
プライバシーの配慮に欠ける	0.0	0.0	1.0	4.2	7.3
地域に事業所が少なく利用しづらい	1.5	5.9	8.3	3.1	0.0
引き受けてくれる事業所が見つからない	4.5	5.9	2.1	0.0	0.0
その他	0.0	11.8	3.1	3.1	2.4

サービス名	⑥短期入所	⑦サービス利用などのための相談支援	⑧緊急時のための相談登録	⑨障害者グループホーム	⑩施設入所支援
不満に思うこと					
回答者数	n=31	n=107	n=21	n=25	n=19
特にない	48.4	68.2	47.6	64.0	36.8
本人や家族の意向を尊重してもらえない	3.2	2.8	4.8	0.0	0.0
利用回数や時間などに制限がある	16.1	1.9	0.0	4.0	0.0
急な変更に応じてもらえない	3.2	0.9	4.8	8.0	0.0
職員の対応がよくない	6.5	7.5	0.0	12.0	5.3
職員の知識や経験が不足している	3.2	1.9	4.8	0.0	15.8
プライバシーの配慮に欠ける	3.2	0.9	0.0	0.0	0.0
地域に事業所が少なく利用しづらい	9.7	0.0	9.5	0.0	0.0
引き受けてくれる事業所が見つからない	6.5	0.9	0.0	0.0	0.0
その他	3.2	2.8	0.0	4.0	5.3

- 障害種別、年齢3区別は利用者数が少ないサービスがあり、一概には言えないこともあり、参考にとどめます。

	合計	問25-① 居宅介護の不満な点										
		特にな ない	本人や家 族の意向 を尊重し てもらえ ない	利用回数 や時間な どに制限 がある	急な変更 に応じて もらえな い	職員の対 応がよく ない	職員の知 識や経験 が不足し ている	プライバ シーの配 慮に欠け る	地域に事 業所が少 なく利用 しづらい	引き受け てくれる 事業所が 見つから ない	その他	無回答
全体	66 100.0	41 62.1	2 3.0	12 18.2	2 3.0	2 3.0	1 1.5	0 0.0	1 1.5	3 4.5	0 0.0	9 13.6
障害 種類	身体障害	38 100.0	26 68.4	0 0.0	4 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	2 5.3	7 18.4
	知的障害	9 100.0	8 88.9	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障害	8 100.0	4 50.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	重複障害	8 100.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5
年齢 3区 分	青年層	10 100.0	7 70.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0
	壮年層	24 100.0	13 54.2	1 4.2	8 33.3	1 4.2	0 0.0	1 4.2	0 0.0	1 4.2	1 4.2	2 8.3
	高齢層	32 100.0	21 65.6	1 3.1	3 9.4	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	5 15.6

	合計	問25-② 重度訪問介護の不満な点										
		特にな ない	本人や家 族の意向 を尊重し てもらえ ない	利用回数 や時間な どに制限 がある	急な変更 に応じて もらえな い	職員の対 応がよく ない	職員の知 識や経験 が不足し ている	プライバ シーの配 慮に欠け る	地域に事 業所が少 なく利用 しづらい	引き受け てくれる 事業所が 見つから ない	その他	無回答
全体	17 100.0	10 58.8	0 0.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9	2 11.8	2 11.8
障害 種類	身体障害	10 100.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0
	知的障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	精神障害	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重複障害	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
年齢 3区 分	青年層	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	壮年層	7 100.0	4 57.1	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	高齢層	8 100.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5

	合計	問25-③ 同行援護・行動援護・移動支援の不満な点										
		特にな ない	本人や家 族の意向 を尊重し てもらえ ない	利用回数 や時間な どに制限 がある	急な変更 に応じて もらえな い	職員の対 応がよく ない	職員の知 識や経験 が不足し ている	プライバ シーの配 慮に欠け る	地域に事 業所が少 なく利用 しづらい	引き受け てくれる 事業所が 見つから ない	その他	無回答
全体	96 100.0	58 60.4	2 2.1	19 19.8	7 7.3	2 2.1	1 1.0	1 1.0	8 8.3	2 2.1	3 3.1	8 8.3
障害 種類	身体障害	39 100.0	26 66.7	0 0.0	4 10.3	2 5.1	0 0.0	1 2.6	0 0.0	2 5.1	1 2.6	5 12.8
	知的障害	24 100.0	13 54.2	0 0.0	5 20.8	1 4.2	1 4.2	0 0.0	1 4.2	4 16.7	1 4.2	2 8.3
	精神障害	13 100.0	10 76.9	1 7.7	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7
	重複障害	15 100.0	7 46.7	1 6.7	5 33.3	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	2 0.0
年齢 3区 分	青年層	22 100.0	11 50.0	0 0.0	7 31.8	3 13.6	0 0.0	0 0.0	1 4.5	5 22.7	0 0.0	2 9.1
	壮年層	42 100.0	25 59.5	1 2.4	10 23.8	3 7.1	1 2.4	1 2.4	0 0.0	3 7.1	2 4.8	2 4.8
	高齢層	29 100.0	21 72.4	0 0.0	1 3.4	1 3.4	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.9	3 10.3

		問25-④福祉施設などへの通所の不満な点										
合計		特にな ない	本人や家 族の意向 を尊重し てもらえ ない	利用回数 や時間な どに制限 がある	急な変更 に応じて もらえな い	職員の対 応がよく ない	職員の知 識や経験 が不足し ている	プライバ シーの配 慮に欠け る	地域に事 業所が少 なく利用 しづらい	引き受け てくれる 事業所が 見つから ない	その他	無回答
全体	96 100.0	64 66.7	2 2.1	9 9.4	2 2.1	4 4.2	6 6.3	4 4.2	3 3.1	0 0.0	3 3.1	14 14.6
障害 種類	身体障害	29 100.0	14 48.3	2 6.9	2 6.9	0 0.0	2 6.9	2 6.9	2 6.9	0 0.0	2 6.9	9 31.0
	知的障害	33 100.0	29 87.9	0 0.0	2 6.1	0 0.0	0 0.0	1 3.0	1 3.0	0 0.0	0 0.0	2 6.1
	精神障害	19 100.0	11 57.9	0 0.0	3 15.8	1 5.3	1 5.3	2 10.5	1 5.3	0 0.0	0 0.0	2 10.5
	重複障害	9 100.0	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 11.1	1 11.1
年齢 区分	青年層	26 100.0	19 73.1	0 0.0	2 7.7	0 0.0	0 0.0	1 3.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	5 19.2
	壮年層	50 100.0	32 64.0	2 4.0	6 12.0	2 4.0	4 8.0	4 8.0	3 6.0	3 6.0	1 2.0	6 12.0
	高齢層	18 100.0	12 66.7	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.1	3 16.7

		問25-⑤自立生活をめざすための福祉施設などへの通所の不満な点										
合計		特にな ない	本人や家 族の意向 を尊重し てもらえ ない	利用回数 や時間な どに制限 がある	急な変更 に応じて もらえな い	職員の対 応がよく ない	職員の知 識や経験 が不足し ている	プライバ シーの配 慮に欠け る	地域に事 業所が少 なく利用 しづらい	引き受け てくれる 事業所が 見つから ない	その他	無回答
全体	41 100.0	17 41.5	1 2.4	3 7.3	1 2.4	2 4.9	4 9.8	3 7.3	0 0.0	0 0.0	1 2.4	17 41.5
障害 種類	身体障害	11 100.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 72.7
	知的障害	14 100.0	10 71.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4
	精神障害	10 100.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	6 60.0
	重複障害	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
年齢 区分	青年層	14 100.0	9 64.3	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	4 28.6
	壮年層	21 100.0	7 33.3	1 4.8	2 9.5	1 4.8	2 9.5	3 14.3	2 9.5	0 0.0	0 0.0	9 42.9
	高齢層	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0

		問25-⑥短期入所の不満な点										
合計		特にな ない	本人や家 族の意向 を尊重し てもらえ ない	利用回数 や時間な どに制限 がある	急な変更 に応じて もらえな い	職員の対 応がよく ない	職員の知 識や経験 が不足し ている	プライバ シーの配 慮に欠け る	地域に事 業所が少 なく利用 しづらい	引き受け てくれる 事業所が 見つから ない	その他	無回答
全体	31 100.0	15 48.4	1 3.2	5 16.1	1 3.2	2 6.5	1 3.2	1 3.2	3 9.7	2 6.5	1 3.2	5 16.1
障害 種類	身体障害	13 100.0	5 38.5	1 7.7	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	2 15.4	0 0.0	3 23.1
	知的障害	9 100.0	6 66.7	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1
	精神障害	5 100.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	重複障害	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
年齢 区分	青年層	9 100.0	5 55.6	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1
	壮年層	9 100.0	4 44.4	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2
	高齢層	12 100.0	6 50.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	2 16.7

	合計	問25-⑦サービスの利用などのための相談支援の不満点										無回答
		特にな ない	本人や家 族の意 向を尊 重し て もら え な い	利用回 数や 時間 な どに 制 限 が あ る	急な 変更 に 応 じ て もら え な い	職員 の 対 応 が よ く な い	職員 の 知 識 や 経 験 が 不 足 し て い る	プ ラ イ バ シ ー の 配 慮 に 欠 け る	地 域 に 事 業 所 が 少 な く 利 用 し づ ら い	引 き 受 け て く れ る 事 業 所 が 見 つ か ら な い	そ の 他	
全体	107 100.0	73 68.2	3 2.8	2 1.9	1 0.9	8 7.5	2 1.9	1 0.9	0 0.0	1 0.9	3 2.8	22 20.6
障害 種類	身体障害	38 100.0	26 68.4	2 5.3	0 0.0	0 0.0	2 5.3	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	10 26.3
	知的障害	33 100.0	22 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.1	1 3.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	7 21.2
	精神障害	17 100.0	10 58.8	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 23.5
	重複障害	11 100.0	9 81.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	青年層	31 100.0	20 64.5	1 3.2	0 0.0	0 0.0	5 16.1	1 3.2	0 0.0	0 0.0	1 3.2	5 16.1
年齢 区分	壮年層	41 100.0	29 70.7	2 4.9	2 4.9	1 2.4	3 7.3	1 2.4	1 2.4	0 0.0	2 4.9	6 14.6
	高齢層	31 100.0	20 64.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 35.5

	合計	問25-⑧緊急時のための相談登録の不満点										無回答
		特にな ない	本人や家 族の意 向を尊 重し て もら え な い	利用回 数や 時間 な どに 制 限 が あ る	急な 変更 に 応 じ て もら え な い	職員 の 対 応 が よ く な い	職員 の 知 識 や 経 験 が 不 足 し て い る	プ ラ イ バ シ ー の 配 慮 に 欠 け る	地 域 に 事 業 所 が 少 な く 利 用 し づ ら い	引 き 受 け て く れ る 事 業 所 が 見 つ か ら な い	そ の 他	
全体	21 100.0	10 47.6	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0	2 9.5	0 0.0	0 0.0	6 28.6
障害 種類	身体障害	8 100.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0
	知的障害	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	精神障害	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	重複障害	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	青年層	8 100.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5
年齢 区分	壮年層	7 100.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6
	高齢層	6 100.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7

	合計	問25-⑨障害者グループホームの不満点										無回答
		特にな ない	本人や家 族の意 向を尊 重し て もら え な い	利用回 数や 時間 な どに 制 限 が あ る	急な 変更 に 応 じ て もら え な い	職員 の 対 応 が よ く な い	職員 の 知 識 や 経 験 が 不 足 し て い る	プ ラ イ バ シ ー の 配 慮 に 欠 け る	地 域 に 事 業 所 が 少 な く 利 用 し づ ら い	引 き 受 け て く れ る 事 業 所 が 見 つ か ら な い	そ の 他	
全体	25 100.0	16 64.0	0 0.0	1 4.0	2 8.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	4 16.0
障害 種類	身体障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	知的障害	13 100.0	11 84.6	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7
	精神障害	7 100.0	4 57.1	0 0.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3
	重複障害	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
	青年層	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
年齢 区分	壮年層	15 100.0	9 60.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3
	高齢層	5 100.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

	合計	問25-⑩施設入所支援の不満点										無回答
		特にな ない	本人や家 族の意 向を尊 重し て もら え な い	利用回 数や 時間 な どに 制 限 が あ る	急な 変更 に 応 じ て もら え な い	職員 の 対 応 が よ く な い	職員 の 知 識 や 経 験 が 不 足 し て い る	プ ラ イ バ シ ー の 配 慮 に 欠 け る	地 域 に 事 業 所 が 少 な く 利 用 し づ ら い	引 き 受 け て く れ る 事 業 所 が 見 つ か ら な い	そ の 他	
全体	19 100.0	7 36.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	3 15.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	7 36.8
障害 種類	身体障害	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 40.0	2 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
	知的障害	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
	精神障害	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 50.0	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	重複障害	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3
	青年層	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
年齢 区分	壮年層	9 100.0	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 44.4
	高齢層	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 33.3	2 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7

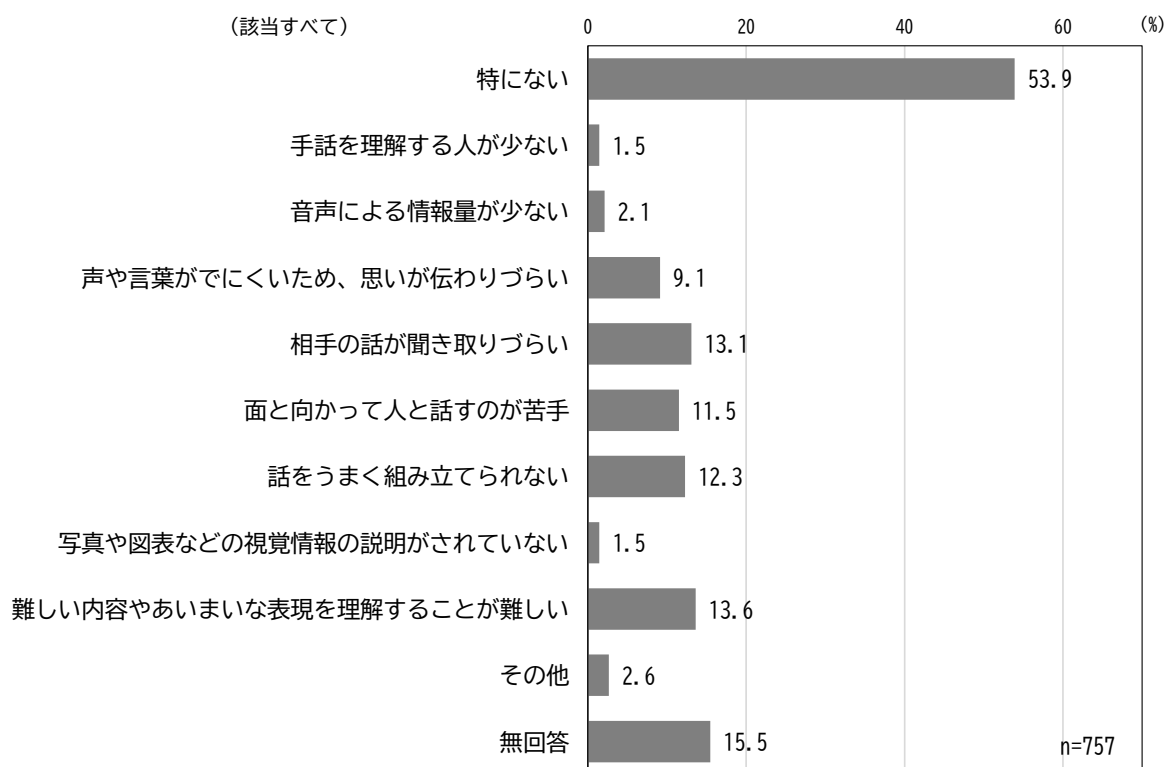


## 7 意思疎通(コミュニケーション)の支援について

### ① 普段、意思疎通で困っていること

問26 あなたは、普段、意思疎通(コミュニケーション)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「特にない」が53.9%で最も高く、無回答と合わせて除くと30.6%が困っていることを選択しています。その中では、「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」が13.6%、「相手の話が聞き取りづらい」が13.1%、「話をうまく組み立てられない」が12.3%と続きます。
- 障害種類別では、“知的障害”は「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」(43.2%)や「話をうまく組み立てられない」(42.0%)が高く、他の障害は「特にない」が最も高くなっています。また、「面と向かって人と話すのが苦手」は“精神障害”(32.9%)や“知的障害”(31.8%)ではおよそ3割となっています。
- 年齢3区分別では、“青年層”は「話をうまく組み立てられない」(41.9%)が最も高く、次いで「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」(40.7%)となっています。“壮年層”及び“高齢層”は「特にない」がそれぞれ最も高くなっています。

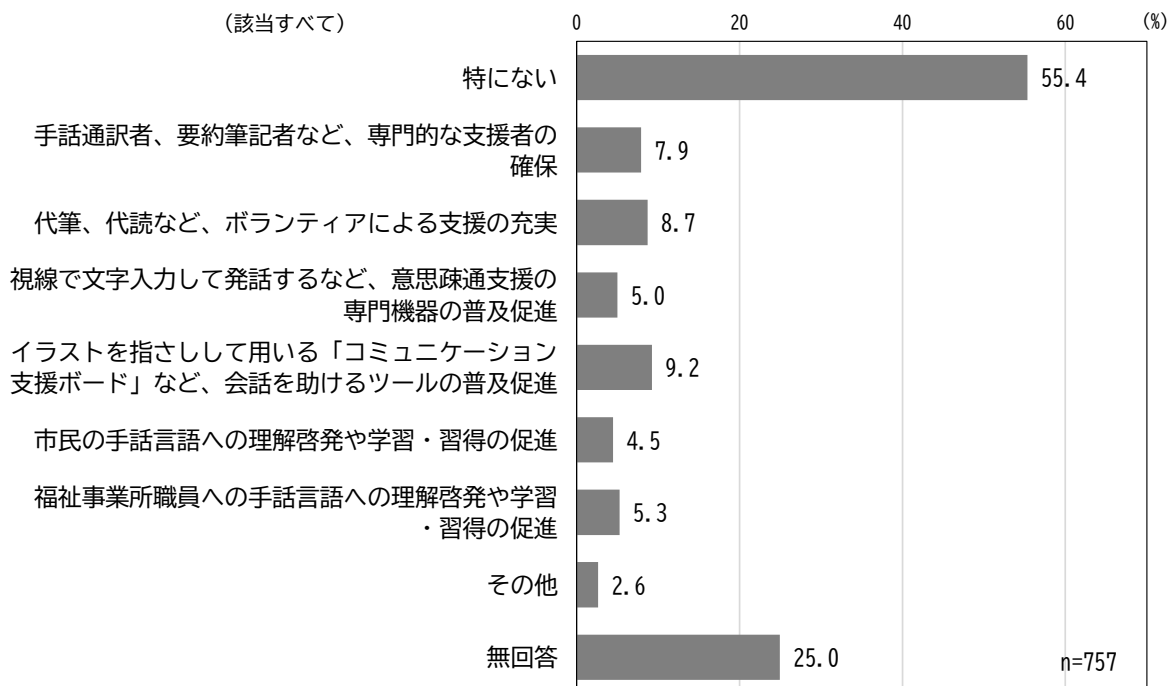


	合計	問26 普段、意思疎通で困っていること											
		特にな い	手話を理 解する人 が少ない	音声によ る情報量 が少ない	声や言葉 がでにく いため、 思いが伝 わりづら い	相手の話 が聞き取 りづらい	面と向 かって人 と話すの が苦手	話をうま く組み立 てられな い	写真や図 表などの 視覚情報 の説明が されてい ない	難しい内 容やあい まいな表 現を理解 することが 難しい	その他	無回答	
全体	757 100.0	408 53.9	11 1.5	16 2.1	69 9.1	99 13.1	87 11.5	93 12.3	11 1.5	103 13.6	20 2.6	117 15.5	
障害 種類	身体障害	506 100.0	323 63.8	9 1.8	10 2.0	31 6.1	57 11.3	22 4.3	24 4.7	6 1.2	33 6.5	9 1.8	76 15.0
	知的障害	88 100.0	24 27.3	0 0.0	3 3.4	20 22.7	19 21.6	28 31.8	37 42.0	2 2.3	38 43.2	1 1.1	11 12.5
	精神障害	73 100.0	26 35.6	0 0.0	2 2.7	7 9.6	13 17.8	24 32.9	21 28.8	2 2.7	19 26.0	4 5.5	7 9.6
	重複障害	46 100.0	17 37.0	1 2.2	0 0.0	6 13.0	7 15.2	9 19.6	9 19.6	0 0.0	7 15.2	6 13.0	10 21.7
	青年層	86 100.0	19 22.1	1 1.2	3 3.5	19 22.1	18 20.9	29 33.7	36 41.9	3 3.5	35 40.7	1 1.2	10 11.6
年齢 3区 分	壮年層	290 100.0	158 54.5	7 2.4	7 2.4	25 8.6	44 15.2	44 15.2	42 14.5	4 1.4	45 15.5	11 3.8	31 10.7
	高齢層	356 100.0	220 61.8	3 0.8	5 1.4	22 6.2	34 9.6	12 3.4	13 3.7	3 0.8	22 6.2	7 2.0	69 19.4

## ② 意思疎通への支援で特に充実すべきこと

問27 意思疎通(コミュニケーション)への支援で、特に充実すべきと思うことはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「特にない」が55.4%で最も高く、無回答と合わせて除くと19.6%が充実すべきことを選択しています。その中には、「イラストを指さして用いる「コミュニケーション支援ボード」など、会話を助けるツールの普及促進」が9.2%、「代筆、代読など、ボランティアによる支援の充実」が8.7%、「手話通訳者、要約筆記者など、専門的な支援者の確保」が7.9%と続きます。



- どの障害種類も年齢層も「特にない」が最も高くなっています。
- これ以外では、“身体障害”及び“知的障害”は「イラストを指さして用いる「コミュニケーション支援ボード」など、会話を助けるツールの普及促進」が、“精神障害”は「代筆、代読など、ボランティアによる支援の充実」と「その他」が、“重複障害”は「手話通訳者、要約筆者など、専門的な支援者の確保」が、それぞれ高くなっています。
- “青年層”及び“壮年層”は「イラストを指さして用いる「コミュニケーション支援ボード」など、会話を助けるツールの普及促進」が、“高齢層”は「代筆、代読など、ボランティアによる支援の充実」が、それぞれ高くなっています。

	合計	問27 意思疎通への支援で特に充実すべきこと									
		特にない	手話通訳者、要約筆者など、専門的な支援者の確保	代筆、代読など、ボランティアによる支援の充実	視線で文字入力して発話するなど、意思疎通支援の専門機器の普及促進	イラストを指さして用いる「コミュニケーション支援ボード」など、会話を助けるツールの普及促進	市民の手話言語への理解啓発や学習・習得の促進	福祉事業所職員への手話言語への理解啓発や学習・習得の促進	その他	無回答	
全体	757 100.0	419 55.4	60 7.9	66 8.7	38 5.0	70 9.2	34 4.5	40 5.3	20 2.6	189 25.0	
障害種類	身体障害	506 100.0	291 57.5	46 9.1	45 8.9	31 6.1	50 9.9	28 5.5	34 6.7	11 2.2	117 23.1
	知的障害	88 100.0	43 48.9	5 5.7	8 9.1	2 2.3	11 12.5	2 2.3	2 2.3	1 1.1	26 29.5
	精神障害	73 100.0	41 56.2	4 5.5	6 8.2	1 1.4	5 6.8	3 4.1	1 1.4	6 8.2	14 19.2
	重複障害	46 100.0	24 52.2	4 8.7	3 6.5	2 4.3	1 2.2	0 0.0	1 2.2	1 2.2	15 32.6
年齢3区分	青年層	86 100.0	38 44.2	11 12.8	12 14.0	9 10.5	16 18.6	5 5.8	6 7.0	2 2.3	19 22.1
	壮年層	290 100.0	162 55.9	26 9.0	29 10.0	17 5.9	35 12.1	19 6.6	19 6.6	12 4.1	58 20.0
	高齢層	356 100.0	209 58.7	20 5.6	23 6.5	10 2.8	17 4.8	10 2.8	14 3.9	6 1.7	103 28.9

## 8 行政に対する意見や提案について

- 157人から169件の記述がありました。分野別件数は次表の通りですが、「制度・サービス等生活支援に関すること」が最も多くなっています。

分 野	件数(件)
制度・サービス等生活支援に関すること	38
相談・情報提供に関すること	23
年金制度や経済的負担・支援に関すること	18
不安なこと	17
地域の環境に関すること	15
近況について	15
アンケート調査に関すること	12
就労・職場に関すること	6
申請や手続きに関すること	6
その他	19
計	169

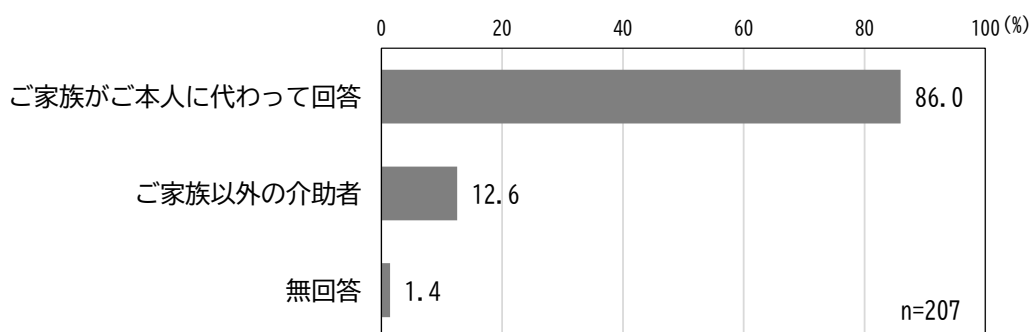
## 第4章 重度障害者の福祉に関するアンケート調査の結果

### 1 回答者や家族のことについて

#### ① 回答者

問1 このアンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(1つだけ○)

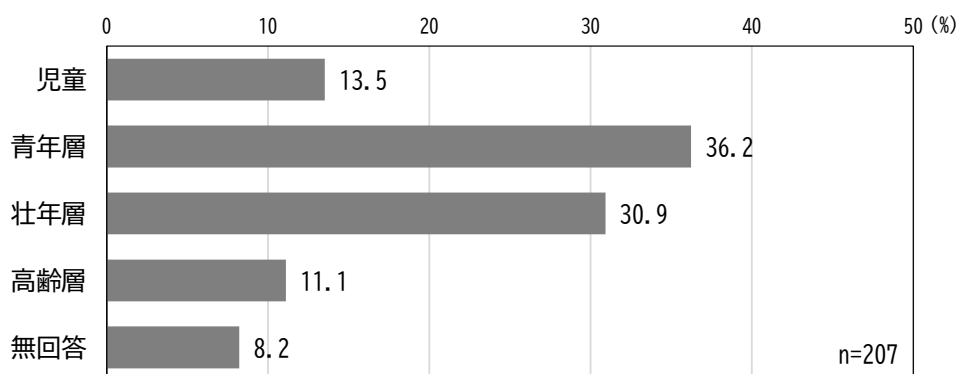
- 「ご家族がご本人に代わって回答」が86.0%、「ご家族以外の介助者」が12.6%となっています。



#### ② 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年8月1日現在)

- 18～39歳の「青年層」が36.2%で最も高く、40～64歳の「壮年層」が30.9%、18歳未満の「児童」が13.5%、65歳以上の「高齢層」が11.1%となっています。

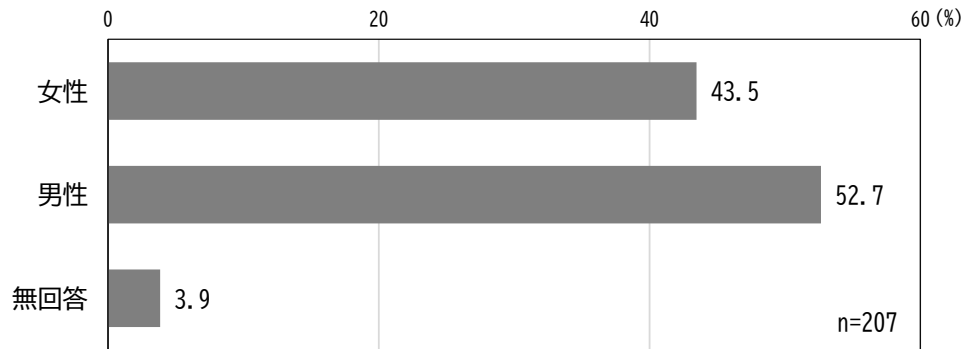


※回答年齢を区分しています。「児童」の最年少は4歳となっています。

### ③ 性別

問3 性別をお答えください。(1つだけ○)

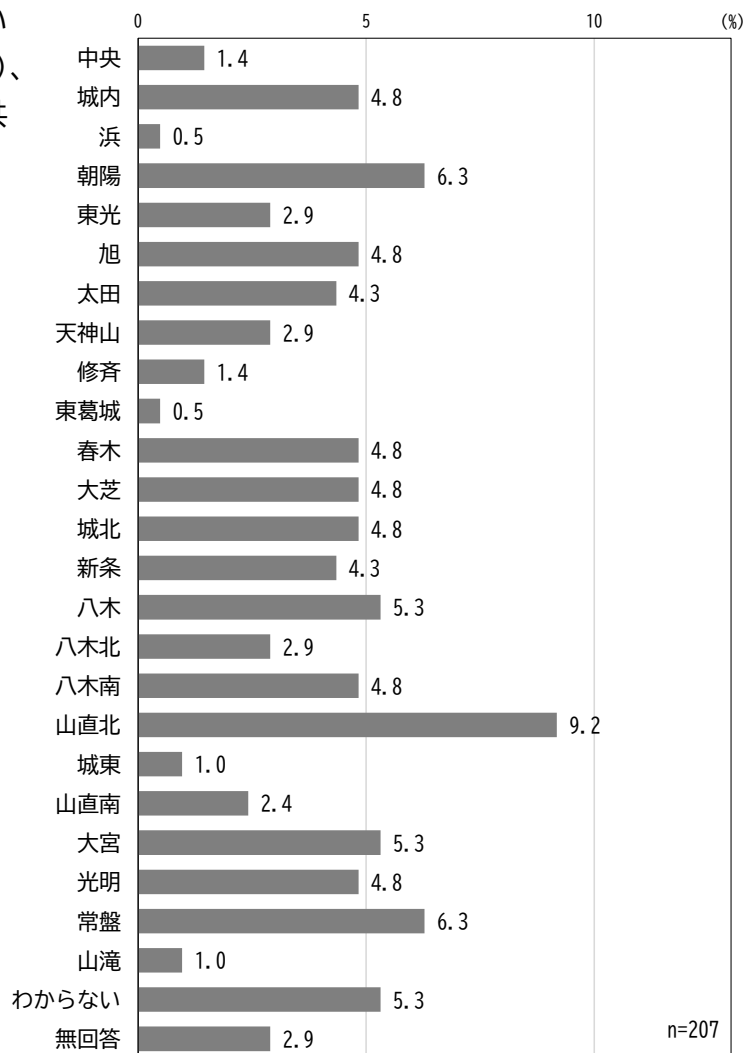
- 「男性」が52.7%、「女性」が43.5%となっています。



### ④ 居住小学校区

問4 お住まいの小学校区はどこですか。(1つだけ○)

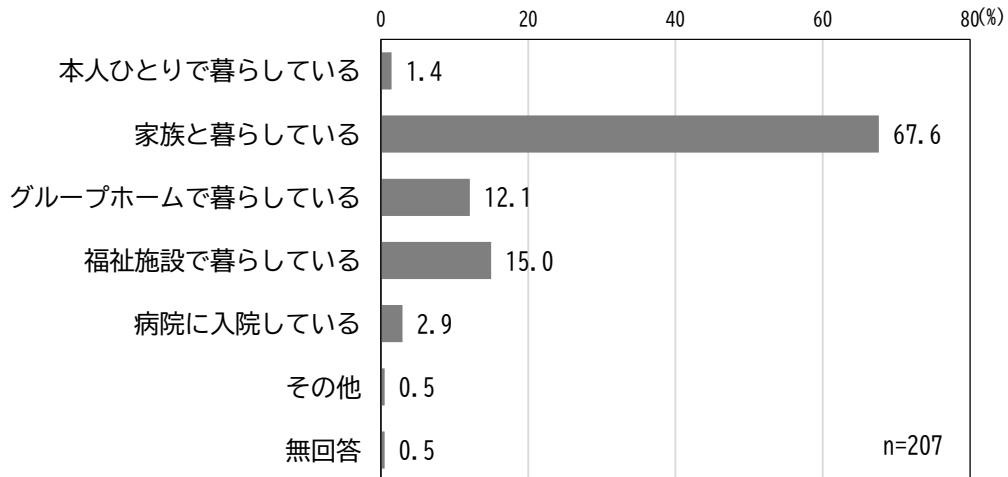
- 「山直北」が9.2%で最も高く、次いで「朝陽」及び「常盤」(共に6.3%)、「八木」や「大宮」、「わからない」(共に5.3%)と続きます。



## ⑤ 現在の暮らし方

問5 現在、どのように暮らしていますか。(1つだけ○)

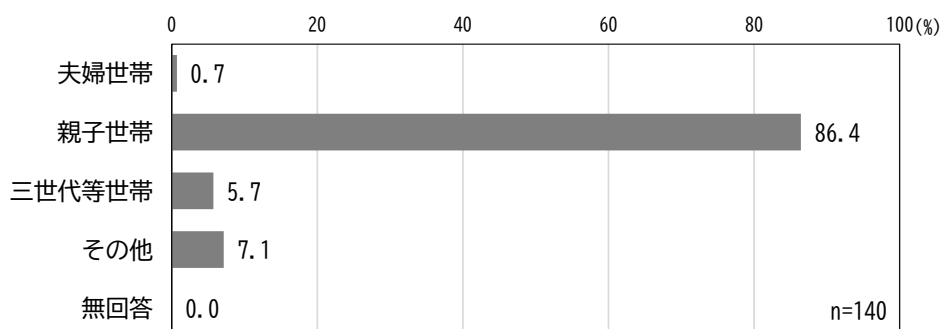
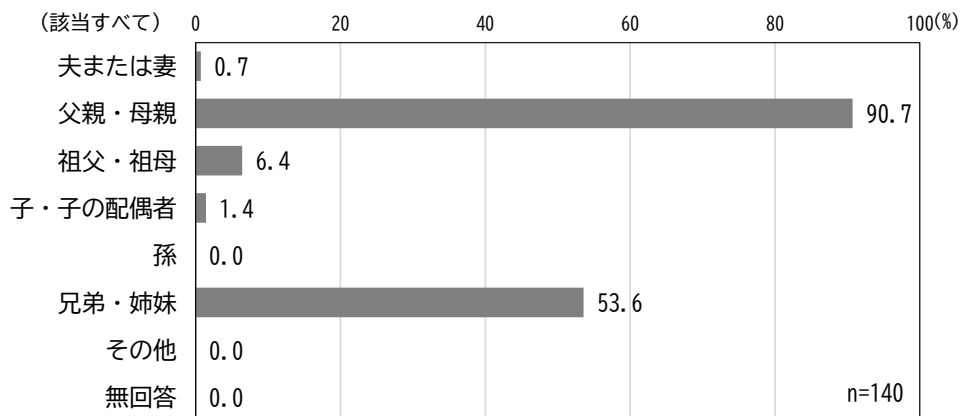
- 「家族と暮らしている」が67.6%、「福祉施設」や「グループホーム」が合わせて27.1%となっています。



## ⑥ 同居家族

問5-① 「2. 家族と暮らしている」とお答えの方におたずねします。一緒に暮らしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 同居家族から世帯類型に分類してみると、「親子世帯」が86.4%となっています。

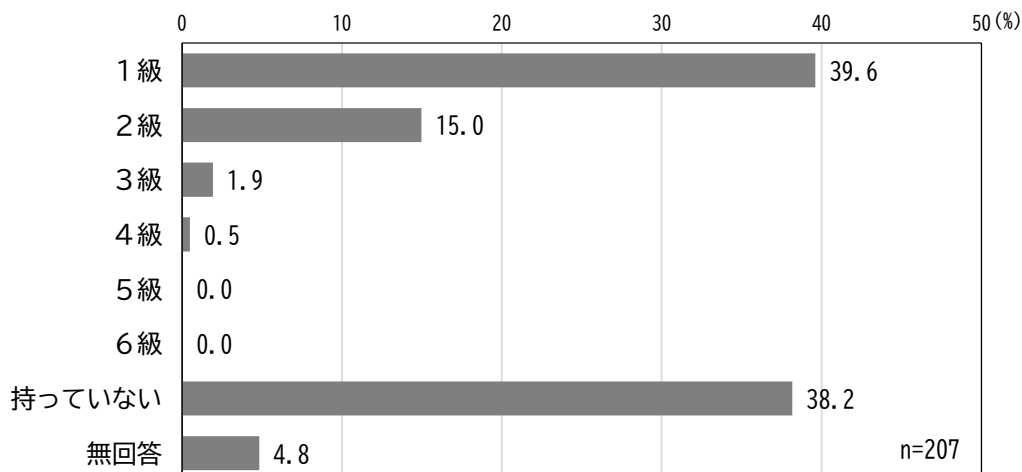


## 2 障害の状況について

### ① 身体障害者手帳の所持状況

問6 身体障害者手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

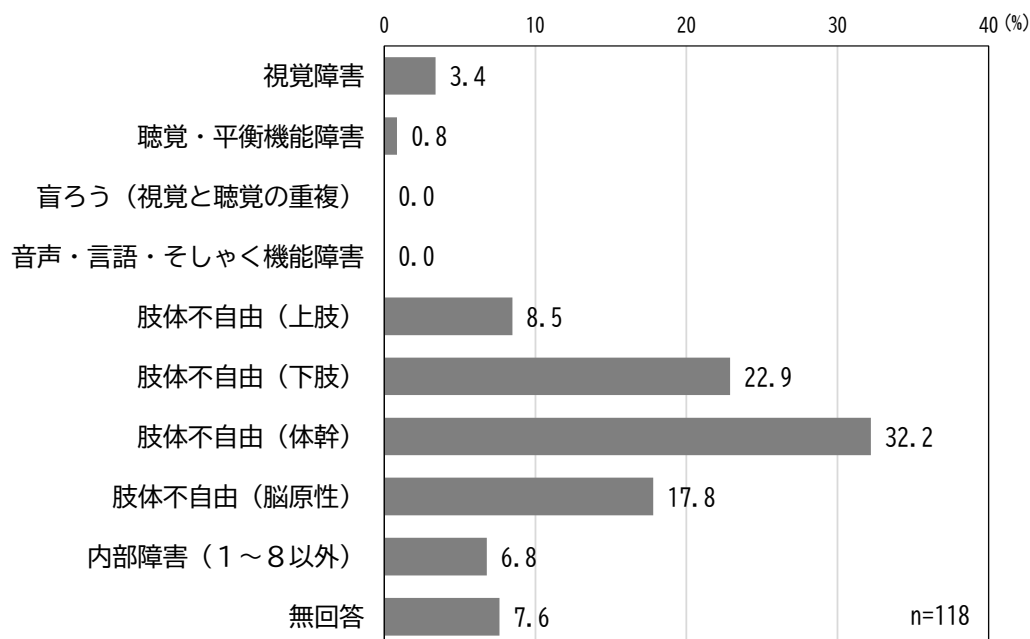
- 身体障害者手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと57.0%となっています。
- 所持者の中では、「1級」が39.6%で最も高く、次いで「2級」が15.0%となっています。



### ② 主な身体障害

問7 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。主な障害をお答えください。複数の障害認定を受けている場合は、手帳の等級が最も高い(障害の程度が重い)ものに1つだけ○をつけてください

- 「肢体不自由(体幹)」が32.2%で最も高く、その他の肢体不自由と合わせた『肢体不自由』は81.4%となっています。

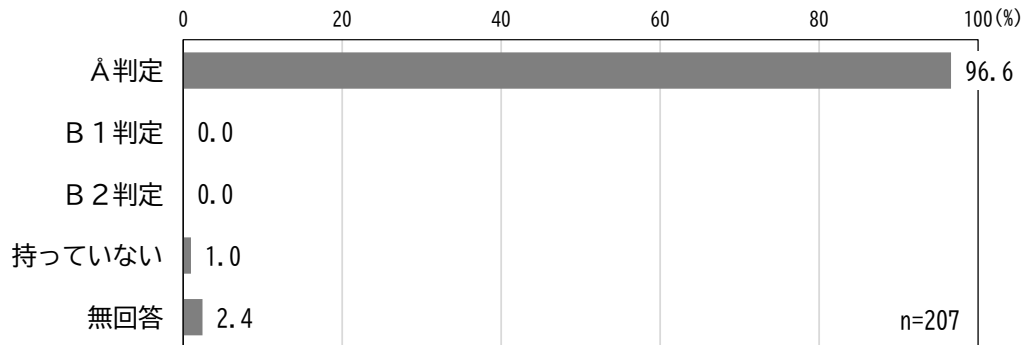




### ③ 療育手帳の所持状況

問8 療育手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

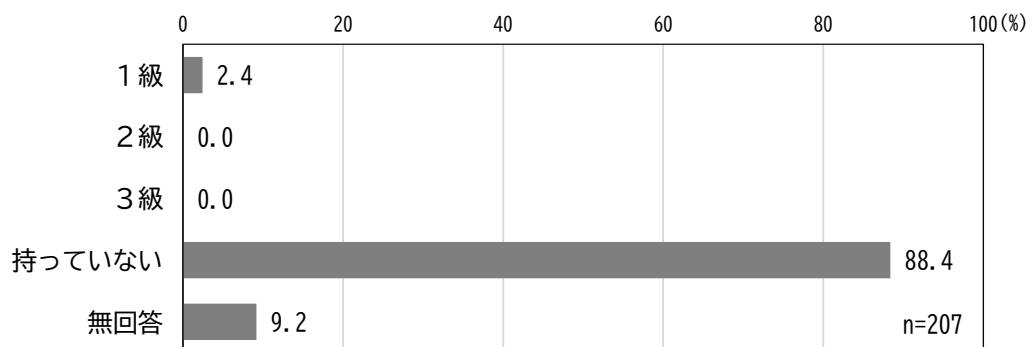
- 療育手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと96.6%となっています。
- 所持者は、すべて「A判定」となっています。



### ④ 精神障害者保健福祉手帳の所持状況

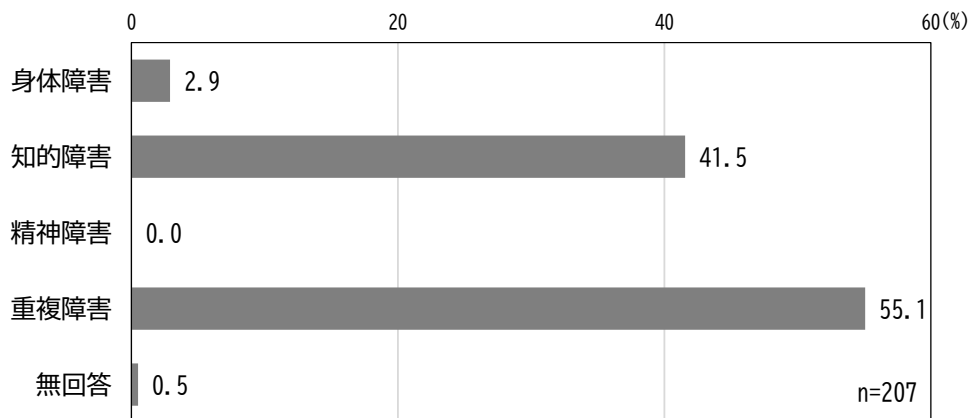
問9 精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(1つだけ○)

- 精神障害者保健福祉手帳の所持率は、「持っていない」及び無回答を除くと2.4%となっています。
- 所持者は、すべて「1級」となっています。



## ⑤ 障害の種類

- 各障害者手帳の所持状況から、身体障害者手帳のみの所持者を「身体障害」、療育手帳のみの所持者を「知的障害」、精神障害者保健福祉手帳のみの所持者を「精神障害」、複数の手帳所持者を「重複障害」として集計し直したのが次のグラフです。
- 「重複障害」が55.1%で最も高く、「知的障害」が41.5%、「身体障害」が2.9%で、「精神障害」のみは該当なしとなっています。
- 年齢4区分別では、“児童”及び“青年層”は「重複障害」(各85.7%、56.0%)が、“壮年層”及び“高齢層”は「知的障害」(各53.1%、47.8%)が、それぞれ最も高くなっています。



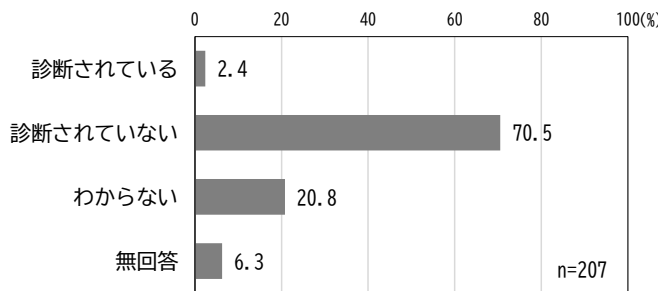
	合計	障害種類					
		身体障害	知的障害	精神障害	重複障害	無回答	
全体	207 100.0	6 2.9	86 41.5	0 0.0	114 55.1	1 0.5	
年齢4区分	児童	28 100.0	0 0.0	4 14.3	0 0.0	24 85.7	0 0.0
	青年層	75 100.0	0 0.0	33 44.0	0 0.0	42 56.0	0 0.0
	壮年層	64 100.0	2 3.1	34 53.1	0 0.0	28 43.8	0 0.0
	高齢層	23 100.0	2 8.7	11 47.8	0 0.0	10 43.5	0 0.0

※本調査では、「精神障害」のみの該当がありませんので、以降の障害種類別クロス集計表には、「精神障害」の欄は省略しています。

## ⑥ 高次脳機能障害の診断状況

問10 高次脳機能障害と診断されていますか。(1つだけ○)

- 「診断されている」が2.4%となっています。
- 「診断されている」は、障害種類別では“身体障害”(16.7%)が最も高く、年齢4区分別では“壮年層”(3.1%)と“青年層”(2.7%)となっています。

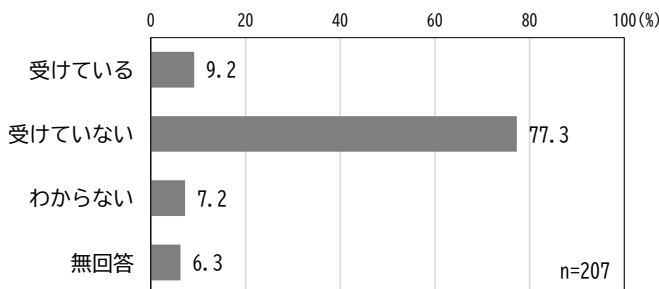


	合計	問10 高次脳機能障害の診断状況				
		診断されている	診断されていない	わからない	無回答	
全体	207 100.0	5 2.4	146 70.5	43 20.8	13 6.3	
障害種類	身体障害	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7
	知的障害	86 100.0	0 0.0	67 77.9	13 15.1	6 7.0
	重複障害	114 100.0	4 3.5	77 67.5	28 24.6	5 4.4
年齢4区分	児童	28 100.0	0 0.0	19 67.9	9 32.1	0 0.0
	青年層	75 100.0	2 2.7	53 70.7	16 21.3	4 5.3
	壮年層	64 100.0	2 3.1	50 78.1	7 10.9	5 7.8
	高齢層	23 100.0	0 0.0	14 60.9	7 30.4	2 8.7

## ⑦ 難病の認定状況

問11 難病の認定を受けていますか。(1つだけ○)

- 「受けている」が9.2%となっています。
- 「受けている」は、障害種類別では“身体障害”(16.7%)や“重複障害”(14.9%)が高く、年齢4区分別では“児童”(35.7%)が、およそ3人に1人と最も高くなっています。

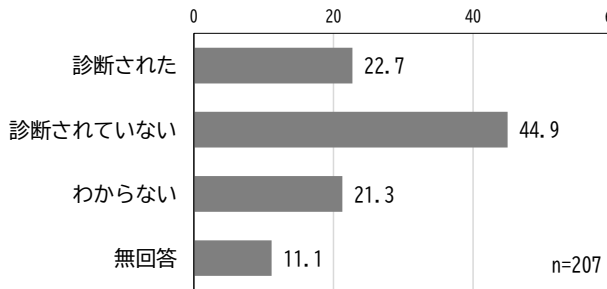


	合計	問11 難病の認定状況				
		受けている	受けていない	わからない	無回答	
全体	207 100.0	19 9.2	160 77.3	15 7.2	13 6.3	
障害種類	身体障害	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7
	知的障害	86 100.0	1 1.2	75 87.2	3 3.5	7 8.1
	重複障害	114 100.0	17 14.9	83 72.8	10 8.8	4 3.5
年齢4区分	児童	28 100.0	10 35.7	15 53.6	3 10.7	0 0.0
	青年層	75 100.0	5 6.7	63 84.0	3 4.0	4 5.3
	壮年層	64 100.0	2 3.1	54 84.4	4 6.3	4 6.3
	高齢層	23 100.0	1 4.3	18 78.3	2 8.7	2 8.7

### ⑧ 発達障害の診断状況

問12 発達障害と診断されていますか。(1つだけ○)

- 「診断された」が22.7%となっています。
- 「診断された」は、障害種類別では“知的障害”(37.2%)が最も高く、年齢4区分別では“青年層”(33.3%)や“児童”(28.6%)が高くなっています。

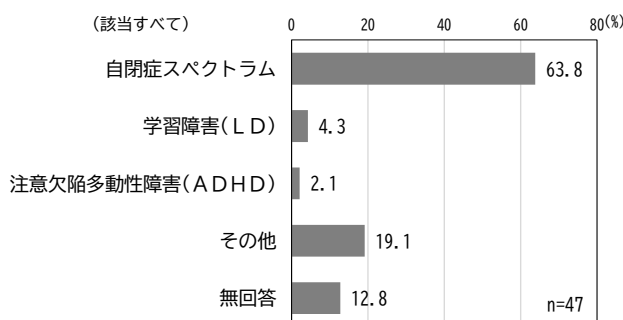


		合計	問12 発達障害の診断状況			
			診断され た	診断され ていない	わからな い	無回答
全体		207 100.0	47 22.7	93 44.9	44 21.3	23 11.1
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	3 50.0
	知的障害	86 100.0	32 37.2	28 32.6	14 16.3	12 14.0
	重複障害	114 100.0	15 13.2	61 53.5	30 26.3	8 7.0
年齢 4区 分	児童	28 100.0	8 28.6	12 42.9	8 28.6	0 0.0
	青年層	75 100.0	25 33.3	33 44.0	11 14.7	6 8.0
	壮年層	64 100.0	8 12.5	29 45.3	15 23.4	12 18.8
	高齢層	23 100.0	2 8.7	13 56.5	7 30.4	1 4.3

### ⑨ 発達障害の内容

問12-① 差しつかえなければ、障害の内容をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 「自閉症スペクトラム」が63.8%で最も高くなっています。
- 障害種類別でも年齢4区分別でも、おおむね「自閉症スペクトラム」が最も高くなっていますが、“重複障害”は「その他」が最も高くなっています。

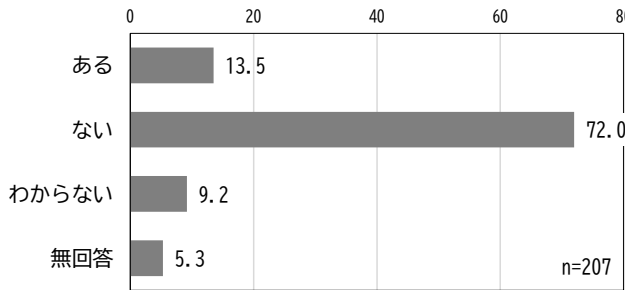


		合計	1. 診断された場合の障害の内容				無回答
			自閉症ス ペクトラ ム	学習障害 (LD)	注意欠陥 多動性障 害(AD HD)	その他	
全体		47 100.0	30 63.8	2 4.3	1 2.1	9 19.1	6 12.8
障害 種類	身体障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	32 100.0	26 81.3	1 3.1	1 3.1	3 9.4	2 6.3
	重複障害	15 100.0	4 26.7	1 6.7	0 0.0	6 40.0	4 26.7
年齢 4区 分	児童	8 100.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0
	青年層	25 100.0	16 64.0	0 0.0	0 0.0	6 24.0	3 12.0
	壮年層	8 100.0	7 87.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	高齢層	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

### ⑩ 強度行動障害があると専門家に言われたこと

問13 強度行動障害(自傷・他害行為など)があると専門家(医師・臨床心理士など)に言われたことがありますか。(1つだけ○)

- 「ある」が13.5%となっています。
- 「ある」は、障害種類別では“知的障害”(23.3%)が最も高く、年齢4区分別では“青年層”(17.3%)と“壮年層”(17.2%)が高くなっています。

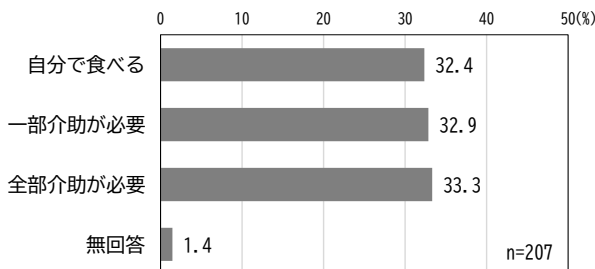


	合計	問13 強度行動障害があると専門家に言われたこと			
		ある	ない	わからない	無回答
全体	207	28	149	19	11
	100.0	13.5	72.0	9.2	5.3
障害種類	身体障害	6	5	1	0
		100.0	0.0	83.3	16.7
	知的障害	86	20	57	4
	100.0	23.3	66.3	4.7	
重複障害	114	8	86	14	6
	100.0	7.0	75.4	12.3	5.3
年齢4区分	児童	28	1	24	3
		100.0	3.6	85.7	10.7
	青年層	75	13	54	5
		100.0	17.3	72.0	6.7
壮年層	64	11	42	7	4
	100.0	17.2	65.6	10.9	6.3
高齢層	23	2	17	2	2
	100.0	8.7	73.9	8.7	8.7

### ⑪ 食事の介助の必要度

問14 食事の介助は、必要ですか。(1つだけ○)

- 『介助が必要』(「一部介助が必要」+「全部介助が必要」)が66.2%となっています。
- 『介助が必要』は、障害種類別では“重複障害”(84.2%)が、年齢4区分別では“児童”(89.3%)が、それぞれ最も高くなっています。

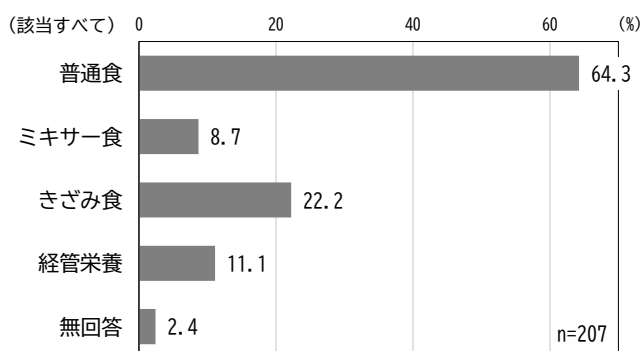


	合計	問14 食事の介助の必要度				統合 介助が必要
		自分で食 べる	一部介 助が 必要	全部介 助が 必要	無回答	
全体	207	67	68	69	3	66.2
	100.0	32.4	32.9	33.3	1.4	
障害種類	身体障害	6	2	3	0	66.7
		100.0	33.3	16.7	50.0	0.0
	知的障害	86	49	31	5	41.9
	100.0	57.0	36.0	5.8	1.2	
重複障害	114	16	36	60	2	84.2
	100.0	14.0	31.6	52.6	1.8	
年齢4区分	児童	28	3	10	15	89.3
		100.0	10.7	35.7	53.6	0.0
	青年層	75	19	29	27	74.7
		100.0	25.3	38.7	36.0	0.0
壮年層	64	30	20	13	1	51.6
	100.0	46.9	31.3	20.3	1.6	
高齢層	23	11	3	8	1	47.8
	100.0	47.8	13.0	34.8	4.3	

## ⑫ 食事の摂り方

問15 食事の摂り方は、どのようにしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「普通食」が64.3%で最も高く、「きざみ食」が22.2%、「経管栄養」が11.1%、「ミキサー食」が8.7%となっています。
- 障害種類別では、“身体障害”は「きざみ食」が66.7%で最も高く、“知的障害”及び“重複障害”は「普通食」が最も高くなっています。また、「経管栄養」は“重複障害”(19.3%)と“身体障害”(16.7%)でおよそ2割となっています。
- 年齢4区分別では、どの年齢層も「普通食」が最も高くなっています。また、「経管栄養」は“児童”(25.0%)が最も高くなっています。

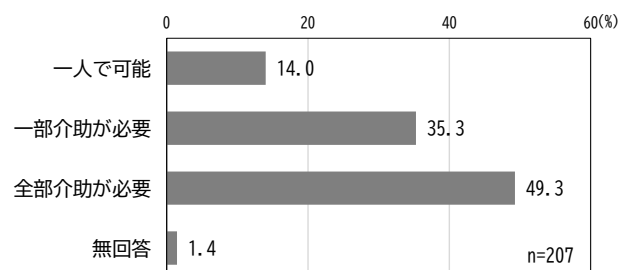


	合計	問15 食事の摂り方					
		普通食	ミキサー食	きざみ食	経管栄養	無回答	
全体	207 100.0	133 64.3	18 8.7	46 22.2	23 11.1	5 2.4	
障害種類	身体障害	6 100.0	2 33.3	0 0.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0
	知的障害	86 100.0	78 90.7	4 4.7	7 8.1	0 0.0	2 2.3
	重複障害	114 100.0	53 46.5	14 12.3	34 29.8	22 19.3	3 2.6
年齢4区分	児童	28 100.0	11 39.3	5 17.9	7 25.0	7 25.0	0 0.0
	青年層	75 100.0	54 72.0	5 6.7	15 20.0	9 12.0	1 1.3
	壮年層	64 100.0	46 71.9	5 7.8	13 20.3	3 4.7	1 1.6
	高齢層	23 100.0	14 60.9	2 8.7	4 17.4	1 4.3	2 8.7

## ⑬ 入浴の介助の必要度

問16 入浴の介助は、必要ですか。(1つだけ○)

- 『介助が必要』が合わせて84.5%となっています。
- 『介助が必要』は、障害種類別では“重複障害”(94.7%)が最も高く、最も低い“知的障害”で70.9%となっています。
- 年齢4区分別では“児童”(96.4%)が最も高く、最も低い“高齢層”で69.6%となっています。

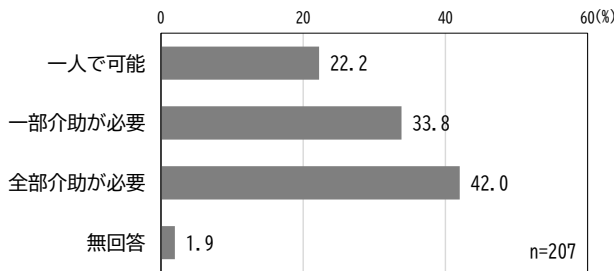


	合計	問16 入浴の介助の必要度				統合 介助が必要	
		一人で可能	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答		
全体	207 100.0	29 14.0	73 35.3	102 49.3	3 1.4	84.5	
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	83.3
	知的障害	86 100.0	24 27.9	46 53.5	15 17.4	1 1.2	70.9
	重複障害	114 100.0	5 4.4	26 22.8	82 71.9	1 0.9	94.7
年齢4区分	児童	28 100.0	1 3.6	6 21.4	21 75.0	0 0.0	96.4
	青年層	75 100.0	13 17.3	25 33.3	37 49.3	0 0.0	82.7
	壮年層	64 100.0	8 12.5	31 48.4	25 39.1	0 0.0	87.5
	高齢層	23 100.0	6 26.1	6 26.1	10 43.5	1 4.3	69.6

#### ⑭ 衣服の着脱時の介助の必要度

問17 衣服の着脱時の介助は、必要ですか。(1つだけ○)

- 『介助が必要』が合わせて75.8%となっています。
- 『介助が必要』は、障害種類別では“重複障害”(91.2%)が最も高く、最も低い“知的障害”で54.7%となっています。
- 年齢4区分別では“児童”(92.9%)が最も高く、最も低い“高齢層”で60.9%となっています。

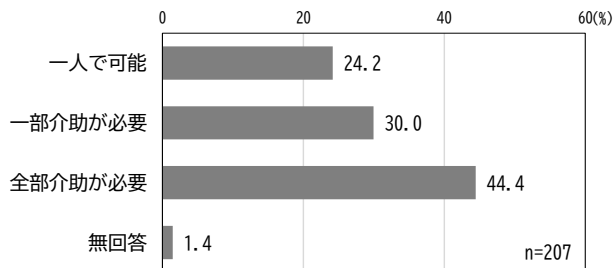


	合計	問17 衣服の着脱時の介助の必要度				統合 介助が 必要	
		一人で可 能	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答		
全体	207 100.0	46 22.2	70 33.8	87 42.0	4 1.9	75.8	
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	83.3
	知的障害	86 100.0	38 44.2	37 43.0	10 11.6	1 1.2	54.7
	重複障害	114 100.0	8 7.0	32 28.1	72 63.2	2 1.8	91.2
年齢4区分	児童	28 100.0	2 7.1	8 28.6	18 64.3	0 0.0	92.9
	青年層	75 100.0	16 21.3	25 33.3	34 45.3	0 0.0	78.7
	壮年層	64 100.0	19 29.7	26 40.6	18 28.1	1 1.6	68.8
	高齢層	23 100.0	8 34.8	4 17.4	10 43.5	1 4.3	60.9

#### ⑮ 排泄の介助の必要度

問18 排泄の介助は、必要ですか。(1つだけ○)

- 『介助が必要』が合わせて74.4%となっています。
- 『介助が必要』は、障害種類別では“重複障害”(88.6%)が最も高く、最も低い“知的障害”で55.8%となっています。年齢4区分別では“児童”(96.4%)が最も高く、最も低い“高齢層”で56.5%となっています。

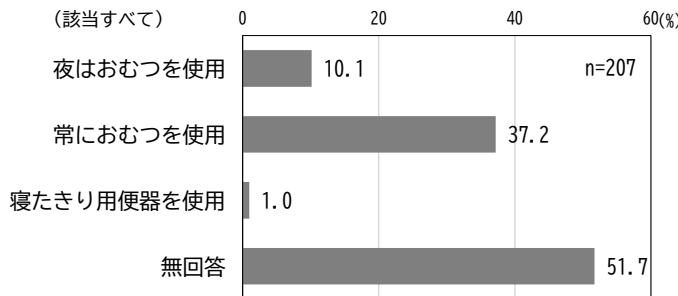


	合計	問18 排泄の介助の必要度				統合 介助が 必要	
		一人で可 能	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答		
全体	207 100.0	50 24.2	62 30.0	92 44.4	3 1.4	74.4	
障害種類	身体障害	6 100.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	1 16.7	66.7
	知的障害	86 100.0	37 43.0	38 44.2	10 11.6	1 1.2	55.8
	重複障害	114 100.0	12 10.5	24 21.1	77 67.5	1 0.9	88.6
年齢4区分	児童	28 100.0	1 3.6	7 25.0	20 71.4	0 0.0	96.4
	青年層	75 100.0	18 24.0	23 30.7	34 45.3	0 0.0	76.0
	壮年層	64 100.0	20 31.3	25 39.1	19 29.7	0 0.0	68.8
	高齢層	23 100.0	9 39.1	3 13.0	10 43.5	1 4.3	56.5

## ⑩ おむつの使用状況

問19 おむつなどをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「常におむつを使用」が37.2%となっています。なお、無回答が51.7%と高くなっています。
- 障害種別、年齢4区分別にみても無回答を除くと「常におむつを使用」が最も高くなっています。特に障害種別では“重複障害”(57.9%)が、年齢4区分別では“児童”(71.4%)が、それぞれ最も高くなっています。

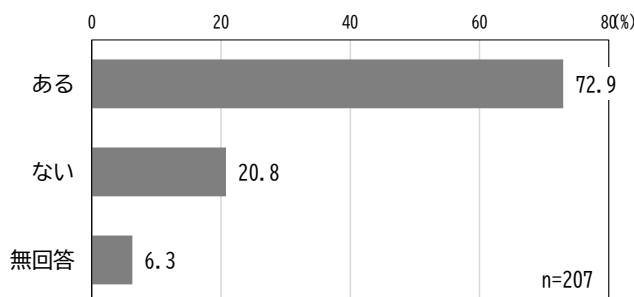


	合計	問19 おむつの使用状況				
		夜はおむつを使用	常におむつを使用	寝たきり用便器を使用	無回答	
全体	207 100.0	21 10.1	77 37.2	2 1.0	107 51.7	
障害種別	身体障害	6 100.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	3 50.0
	知的障害	86 100.0	4 4.7	8 9.3	0 0.0	74 86.0
	重複障害	114 100.0	16 14.0	66 57.9	2 1.8	30 26.3
年齢4区分	児童	28 100.0	3 10.7	20 71.4	0 0.0	5 17.9
	青年層	75 100.0	9 12.0	24 32.0	1 1.3	41 54.7
	壮年層	64 100.0	6 9.4	18 28.1	0 0.0	40 62.5
	高齢層	23 100.0	3 13.0	8 34.8	1 4.3	11 47.8

## ⑪ 尿意の有無

問20 尿意はありますか。(1つだけ○)

- 「ある」が72.9%、「ない」が20.8%となっています。
- 「ない」は、障害種別では“重複障害”(31.6%)が、年齢4区分別では“児童”(39.3%)が、それぞれ最も高くなっています。



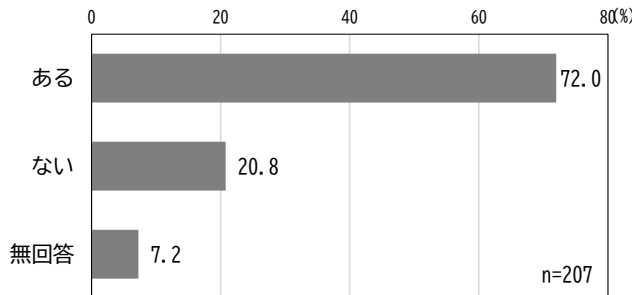
	合計	問20 尿意の有無			
		ある	ない	無回答	
全体	207 100.0	151 72.9	43 20.8	13 6.3	
障害種別	身体障害	6 100.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7
	知的障害	86 100.0	75 87.2	7 8.1	4 4.7
	重複障害	114 100.0	70 61.4	36 31.6	8 7.0
年齢4区分	児童	28 100.0	16 57.1	11 39.3	1 3.6
	青年層	75 100.0	56 74.7	17 22.7	2 2.7
	壮年層	64 100.0	50 78.1	10 15.6	4 6.3
	高齢層	23 100.0	16 69.6	4 17.4	3 13.0



## ⑱ 便意の有無

問21 便意はありますか。(1つだけ○)

- 「ある」が72.0%、「ない」が20.8%となっています。
- 「ない」は、障害種類別では“重複障害”(31.6%)が、年齢4区分別では“児童”(46.4%)が、それぞれ最も高くなっています。

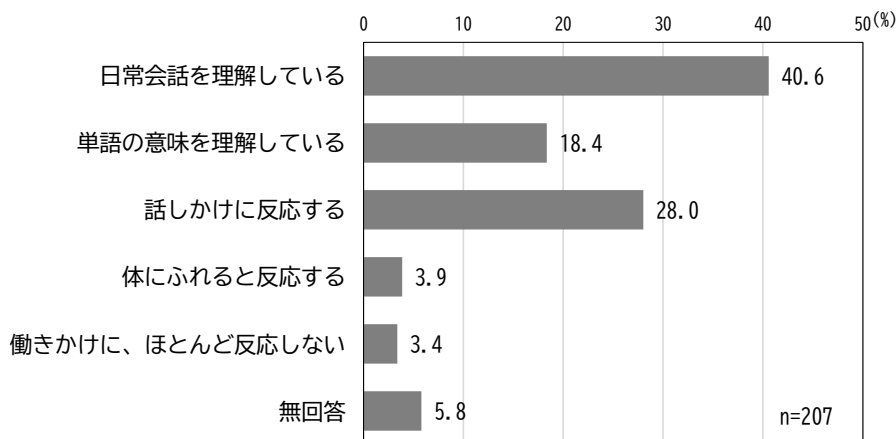


		問21 便意の有無			
		合計	ある	ない	無回答
障害種類	全体	207	149	43	15
		100.0	72.0	20.8	7.2
	身体障害	6	4	1	1
		100.0	66.7	16.7	16.7
知的障害	86	75	6	5	
	100.0	87.2	7.0	5.8	
	重複障害	114	69	36	9
	100.0	60.5	31.6	7.9	
年齢4区分	児童	28	14	13	1
		100.0	50.0	46.4	3.6
	青年層	75	56	16	3
		100.0	74.7	21.3	4.0
壮年層	64	51	8	5	
	100.0	79.7	12.5	7.8	
高齢層	23	16	4	3	
	100.0	69.6	17.4	13.0	

## ⑲ 介助者からの話しかけの理解度

問22 介助者からの話しかけを理解できますか。(1つだけ○)

- 「日常会話を理解している」が40.6%で最も高く、次いで「話しかけに反応する」(28.0%)、「単語の意味を理解している」(18.4%)と続きます。一方、「働きかけに、ほとんど反応しない」が3.4%となっています。
- どの障害種類も年齢層も「日常会話を理解している」が最も高くなっていますが、“重複障害”では35.1%、“青年層”では34.7%と、それぞれ最も低くなっています。また、「働きかけに、ほとんど反応しない」は、“重複障害”(5.3%)、“高齢層”(8.7%)が相対的に高くなっています。

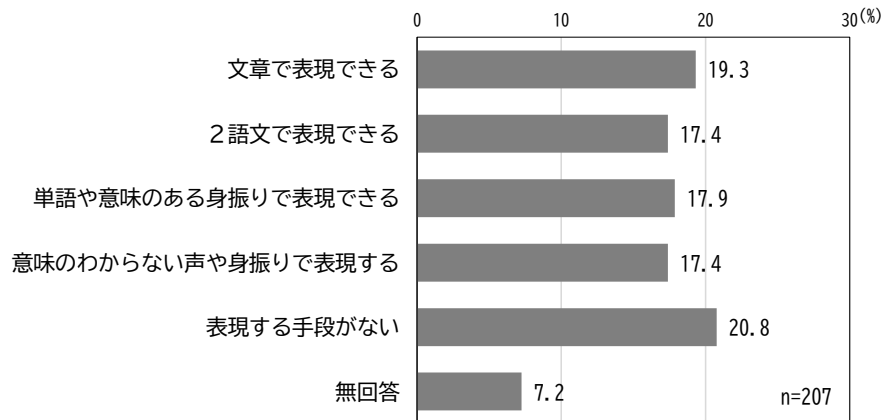


	合計	問22 介助者からの話しかけの理解度						
		日常会話 を理解し ている	単語の意 味を理解 している	話しかけ に反応す る	体にふれ ると反応 する	働きかけ に、ほと んど反応 しない	無回答	
全体	207 100.0	84 40.6	38 18.4	58 28.0	8 3.9	7 3.4	12 5.8	
障害 種類	身体障害	6 100.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	知的障害	86 100.0	38 44.2	23 26.7	20 23.3	1 1.2	1 1.2	3 3.5
	重複障害	114 100.0	40 35.1	15 13.2	38 33.3	7 6.1	6 5.3	8 7.0
年齢 4区 分	児童	28 100.0	11 39.3	6 21.4	8 28.6	2 7.1	0 0.0	1 3.6
	青年層	75 100.0	26 34.7	14 18.7	24 32.0	4 5.3	3 4.0	4 5.3
	壮年層	64 100.0	30 46.9	13 20.3	14 21.9	2 3.1	2 3.1	3 4.7
	高齢層	23 100.0	11 47.8	2 8.7	7 30.4	0 0.0	2 8.7	1 4.3

## ⑩ 意思表現の方法

問23 会話などで、意思を表現できますか。(1つだけ○)

- 「表現する手段がない」が20.8%で最も高く、次いで「文章で表現できる」(19.3%)、「単語や意味のある身振りで表現できる」(17.9%)、「2語文で表現できる」及び「意味のわからない声や身振りで表現する」(共に17.4%)が大差なく続きます。
- 「表現する手段がない」は、障害種類別では“重複障害”(25.4%)が、年齢4区分別では“青年層”(28.0%)が、それぞれ最も高くなっています。



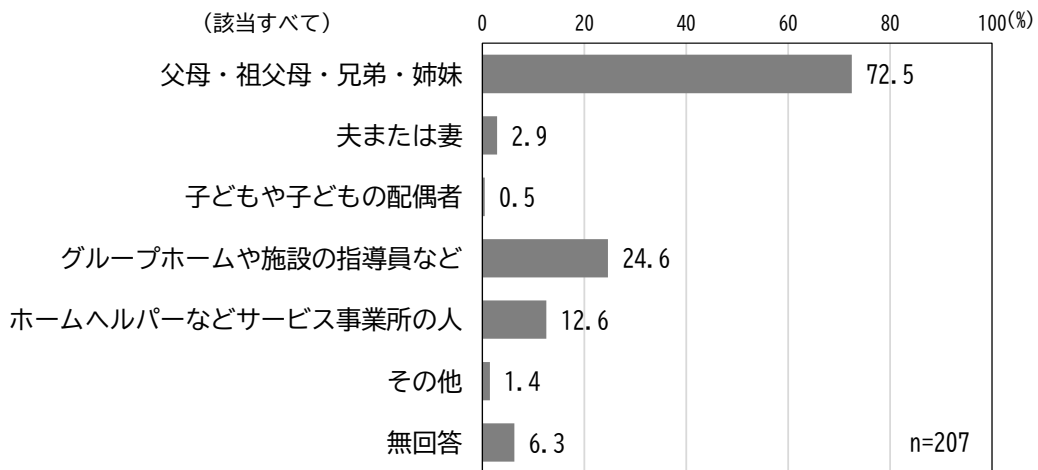
	合計	問23 会話などでの意思表現の状況					無回答	
		文章で表 現できる	2語文で 表現でき る	単語や意 味のある 身振りで 表現でき る	意味のわ からない 声や身振 りで表現 する	表現する 手段がな い		
全体	207 100.0	40 19.3	36 17.4	37 17.9	36 17.4	43 20.8	15 7.2	
障害 種類	身体障害	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7
	知的障害	86 100.0	19 22.1	24 27.9	16 18.6	9 10.5	13 15.1	5 5.8
	重複障害	114 100.0	20 17.5	11 9.6	18 15.8	27 23.7	29 25.4	9 7.9
年齢 4区 分	児童	28 100.0	5 17.9	3 10.7	6 21.4	7 25.0	5 17.9	2 7.1
	青年層	75 100.0	15 20.0	17 22.7	4 5.3	14 18.7	21 28.0	4 5.3
	壮年層	64 100.0	14 21.9	13 20.3	13 20.3	12 18.8	9 14.1	3 4.7
	高齢層	23 100.0	4 17.4	3 13.0	9 39.1	1 4.3	3 13.0	3 13.0

### 3 在宅時の介助について

#### ① 主な介助者

問24 主な介助者はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が72.5%で最も高く、「グループホームや施設の指導員など」が24.6%と続きます。
- 「グループホームや施設の指導員など」は、障害種類別では“知的障害”(31.4%)が、年齢4区分別では“壮年層”(40.6%)や“高齢層”(39.1%)が、それぞれ高くなっています。



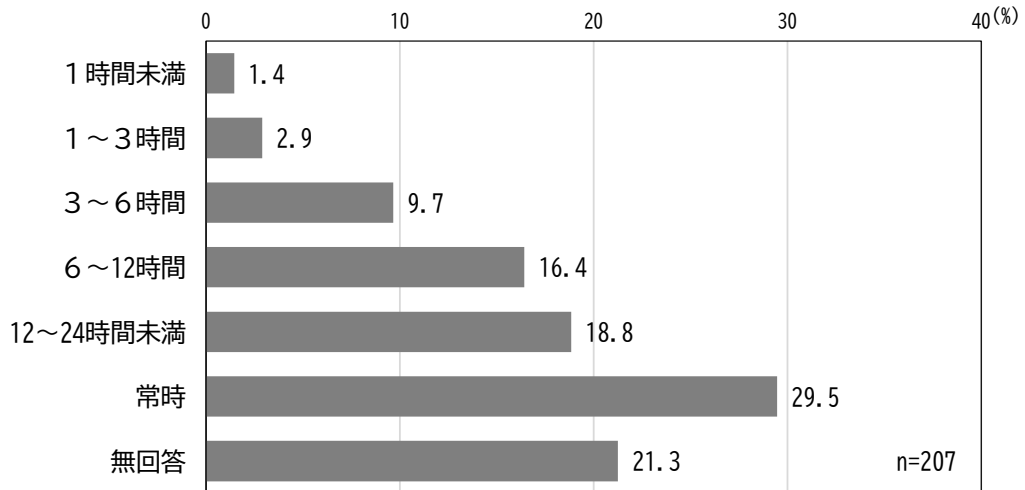
	合計	問24 主な介助者							
		父母・祖父母・兄弟・姉妹	夫または妻	子どもや子どもの配偶者	グループホームや施設の指導員など	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	その他	無回答	
全体	207 100.0	150 72.5	6 2.9	1 0.5	51 24.6	26 12.6	3 1.4	13 6.3	
障害種類	身体障害	6 100.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7
	知的障害	86 100.0	62 72.1	2 2.3	0 0.0	27 31.4	9 10.5	0 0.0	4 4.7
	重複障害	114 100.0	83 72.8	4 3.5	1 0.9	22 19.3	15 13.2	3 2.6	8 7.0
年齢4区分	児童	28 100.0	27 96.4	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4 14.3	1 3.6	0 0.0
	青年層	75 100.0	61 81.3	4 5.3	1 1.3	14 18.7	8 10.7	1 1.3	3 4.0
	壮年層	64 100.0	39 60.9	1 1.6	0 0.0	26 40.6	11 17.2	1 1.6	4 6.3
	高齢層	23 100.0	8 34.8	0 0.0	0 0.0	9 39.1	2 8.7	0 0.0	5 21.7
現在の暮らし方	本人ひとりで暮らしている	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	家族と暮らしている	140 100.0	132 94.3	5 3.6	1 0.7	10 7.1	19 13.6	1 0.7	1 0.7
	グループホームで暮らしている	25 100.0	7 28.0	0 0.0	0 0.0	20 80.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0
	福祉施設で暮らしている	31 100.0	7 22.6	1 3.2	0 0.0	19 61.3	2 6.5	1 3.2	5 16.1
	病院に入院している	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

※「グループホームで暮らしている」方は、週末自宅に帰るケースがあり、家族の選択もあります。

## ② 家族が行っている介助や見守りの1日の平均時間

問25 家族の方は、あわせて、1日平均何時間ぐらい介助や見守りを行っていますか。(1つだけ〇)

- 「常時」が29.5%で最も高く、「12～24時間未満」(18.8%)、「6～12時間」(16.4%)と続きます。
- どの障害種類も年齢層も、おおむね「常時」が最も高くなっています。

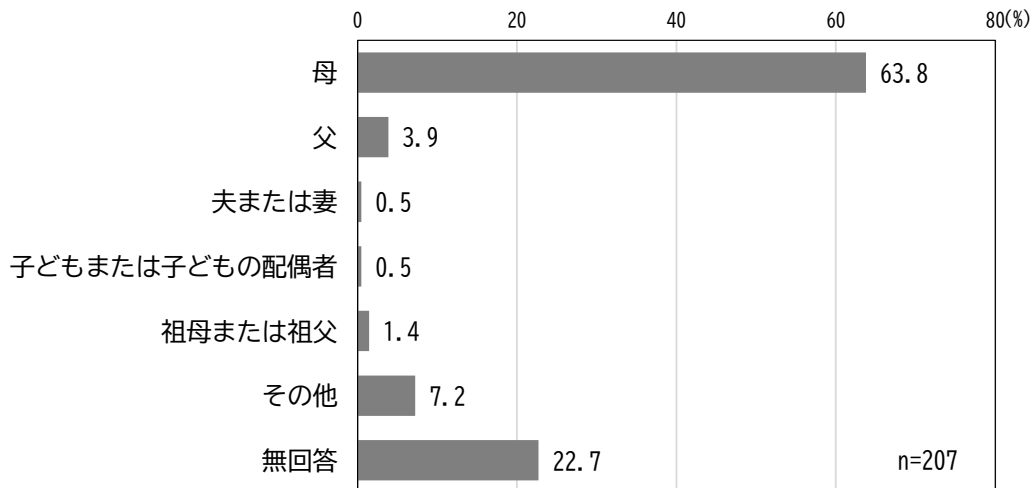


		合計	問25 家族の1日平均の介助時間						
			1時間未満	1～3時間	3～6時間	6～12時間	12～24時間未満	常時	無回答
全体		207	3	6	20	34	39	61	44
		100.0	1.4	2.9	9.7	16.4	18.8	29.5	21.3
障害種類	身体障害	6	0	0	0	0	0	4	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	知的障害	86	2	5	10	19	12	19	19
	100.0	2.3	5.8	11.6	22.1	14.0	22.1	22.1	
	重複障害	114	1	1	10	15	27	37	23
	100.0	0.9	0.9	8.8	13.2	23.7	32.5	20.2	
年齢4区分	児童	28	0	0	2	9	8	9	0
		100.0	0.0	0.0	7.1	32.1	28.6	32.1	0.0
	青年層	75	1	3	10	13	16	26	6
		100.0	1.3	4.0	13.3	17.3	21.3	34.7	8.0
	壮年層	64	2	2	6	9	10	12	23
	100.0	3.1	3.1	9.4	14.1	15.6	18.8	35.9	
	高齢層	23	0	0	2	1	3	4	13
	100.0	0.0	0.0	8.7	4.3	13.0	17.4	56.5	
主な介助者	父母・祖父母・兄弟・姉妹	150	3	6	19	31	38	52	1
		100.0	2.0	4.0	12.7	20.7	25.3	34.7	0.7
	夫または妻	6	0	0	0	2	1	3	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	50.0	0.0
	子どもや子どもの配偶者	1	0	0	0	0	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	グループホームや施設の指導員など	51	1	2	2	3	4	11	28
	100.0	2.0	3.9	3.9	5.9	7.8	21.6	54.9	
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	26	0	2	2	9	6	5	2	
	100.0	0.0	7.7	7.7	34.6	23.1	19.2	7.7	
その他	3	0	0	0	0	1	0	2	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	

### ③ 最も長時間、介助や見守りを行っている家族

問26 家族のうち、最も長時間、介助や見守りを行っているのは、どなたですか。(1つだけ○)

- 「母」が63.8%で最も高くなっています。
- どの障害種類も年齢層も、おおむね「母」が最も高くなっていますが、“高齢層”は「その他」（兄弟・姉妹等）が最も高くなっています。

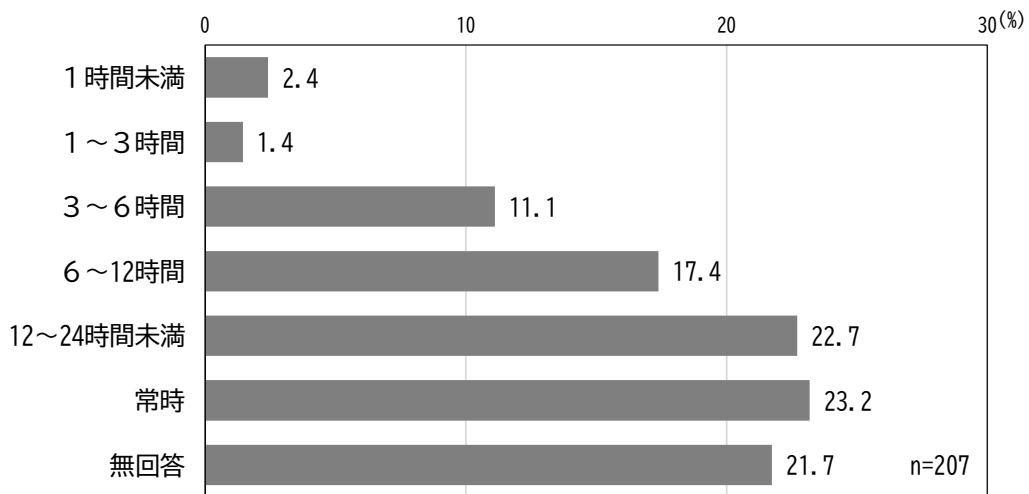


	合計	問26 最も長時間、介助や見守りを行っている方							
		母	父	夫または妻	子どもまたは子どもの配偶者	祖母または祖父	その他	無回答	
全体	207 100.0	132 63.8	8 3.9	1 0.5	1 0.5	3 1.4	15 7.2	47 22.7	
障害種類	身体障害	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3
	知的障害	86 100.0	53 61.6	3 3.5	1 1.2	0 0.0	1 1.2	8 9.3	20 23.3
	重複障害	114 100.0	75 65.8	5 4.4	0 0.0	1 0.9	2 1.8	6 5.3	25 21.9
年齢区分	児童	28 100.0	26 92.9	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	青年層	75 100.0	63 84.0	2 2.7	1 1.3	0 0.0	1 1.3	2 2.7	6 8.0
	壮年層	64 100.0	28 43.8	3 4.7	0 0.0	1 1.6	1 1.6	6 9.4	25 39.1
	高齢層	23 100.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 30.4	14 60.9
主な介助者	父母・祖父母・兄弟・姉妹	150 100.0	123 82.0	8 5.3	0 0.0	1 0.7	2 1.3	13 8.7	3 2.0
	夫または妻	6 100.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	子どもや子どもの配偶者	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	グループホームや施設の指導員など	51 100.0	15 29.4	2 3.9	0 0.0	0 0.0	1 2.0	3 5.9	30 58.8
	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	26 100.0	20 76.9	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	3 11.5
	その他	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7

④ 家族のうち、最も長時間介助等を行っている方の介助や見守りの1日の平均時間

問27 家族のうち、最も長時間、介助や見守りをしている方は、1日平均何時間ぐらい介助や見守りを行っていますか。(1つだけ○)

- 「常時」が23.2%で最も高く、「12～24時間未満」(22.7%)、「6～12時間」(17.4%)と続きます。
- 「常時」は、障害種類別では“身体障害”(66.7%)が、年齢4区分別では“児童”(32.1%)が、それぞれ最も高くなっています。
- 最も長時間介護を行っている方別では、「母」以外は回答数が少なく、「母」は「12～24時間未満」が31.8%、「常時」が30.3%となっています。

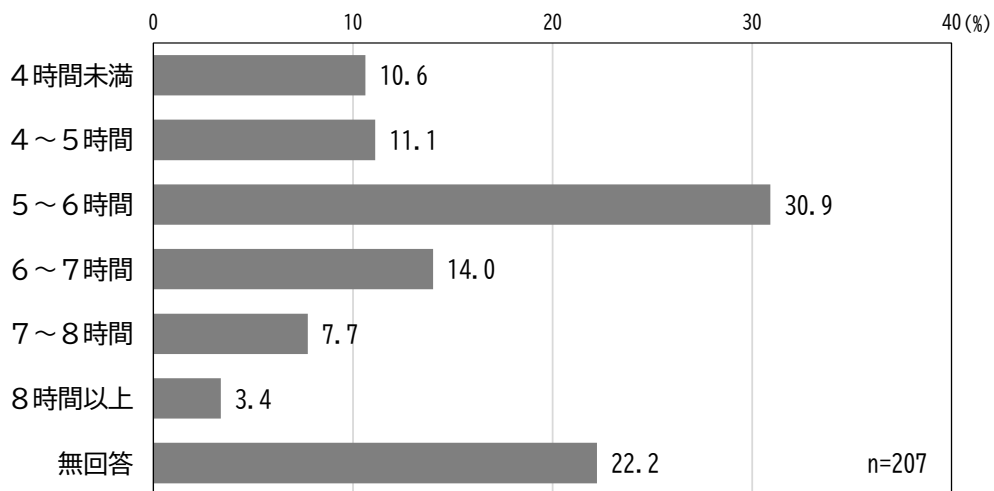


		合計	問27 最も長時間介助等の方の1日平均の介助時間						
			1時間未満	1～3時間	3～6時間	6～12時間	12～24時間未満	常時	無回答
全体		207	5	3	23	36	47	48	45
		100.0	2.4	1.4	11.1	17.4	22.7	23.2	21.7
障害種類	身体障害	6	0	0	0	0	0	4	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	知的障害	86	4	3	12	18	18	12	19
	100.0	4.7	3.5	14.0	20.9	20.9	14.0	22.1	
	重複障害	114	1	0	11	18	28	32	24
	100.0	0.9	0.0	9.6	15.8	24.6	28.1	21.1	
年齢4区分	児童	28	0	0	3	7	9	9	0
		100.0	0.0	0.0	10.7	25.0	32.1	32.1	0.0
	青年層	75	2	2	11	12	22	20	6
		100.0	2.7	2.7	14.7	16.0	29.3	26.7	8.0
	壮年層	64	3	1	6	12	10	9	23
	100.0	4.7	1.6	9.4	18.8	15.6	14.1	35.9	
	高齢層	23	0	0	2	2	2	2	15
	100.0	0.0	0.0	8.7	8.7	8.7	8.7	65.2	
最も長時間、介助や見守りを行っている方	母	132	2	2	15	31	42	40	0
		100.0	1.5	1.5	11.4	23.5	31.8	30.3	0.0
	父	8	1	0	3	1	1	2	0
		100.0	12.5	0.0	37.5	12.5	12.5	25.0	0.0
	夫または妻	1	0	0	0	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	子どもまたは子どもの配偶者	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
祖母または祖父	3	0	0	0	0	1	2	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	
その他	15	1	0	4	3	3	3	1	
	100.0	6.7	0.0	26.7	20.0	20.0	20.0	6.7	

⑤ 家族のうち、最も長時間介助等を行っている方の1日の平均睡眠時間

問28 家族のうち、最も長時間、介助や見守りをしている方は、1日平均何時間ぐらい眠れていますか。(1つだけ○)

- 「5～6時間」が30.9%で最も高く、最も少ない「4時間未満」が10.6%となっています。
- おおむね、どの障害種類も年齢層も、また、最も長時間の介助者も「5～6時間」が最も高くなっています。
- 「4時間未満」は、障害種類別では“知的障害”(11.6%)や“重複障害”(10.5%)が、年齢4区分別では“青年層”(16.0%)が、最も長時間の介助者別では回答数の少ない“祖祖または祖父”を除くと“その他”(26.7%)が、それぞれ高くなっています。

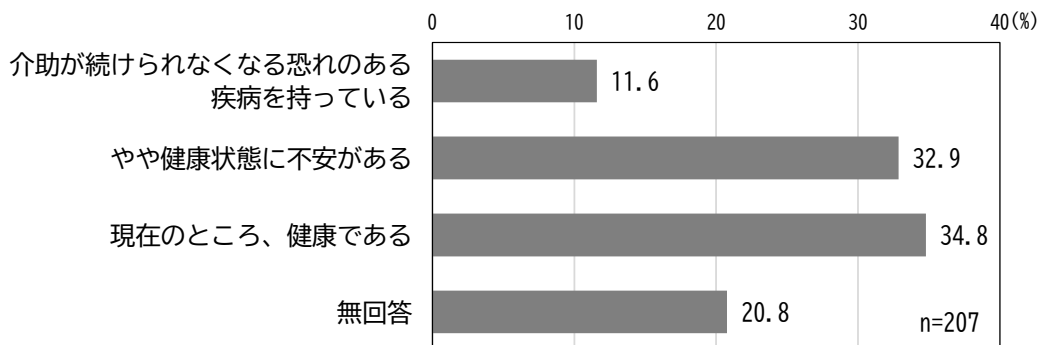


		合計	問28 最も長時間介助等の方の1日平均睡眠時間						
			4時間未満	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	8時間以上	無回答
全体		207 100.0	22 10.6	23 11.1	64 30.9	29 14.0	16 7.7	7 3.4	46 22.2
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	2 33.3
	知的障害	86 100.0	10 11.6	9 10.5	22 25.6	13 15.1	10 11.6	3 3.5	19 22.1
	重複障害	114 100.0	12 10.5	13 11.4	41 36.0	14 12.3	6 5.3	3 2.6	25 21.9
年齢4区分	児童	28 100.0	3 10.7	3 10.7	12 42.9	8 28.6	2 7.1	0 0.0	0 0.0
	青年層	75 100.0	12 16.0	12 16.0	32 42.7	6 8.0	4 5.3	4 5.3	5 6.7
	壮年層	64 100.0	5 7.8	3 4.7	12 18.8	11 17.2	9 14.1	1 1.6	23 35.9
	高齢層	23 100.0	1 4.3	2 8.7	2 8.7	1 4.3	1 4.3	0 0.0	16 69.6
最も長時間、介助や見守りを行っている方	母	132 100.0	15 11.4	21 15.9	54 40.9	23 17.4	12 9.1	6 4.5	1 0.8
	父	8 100.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5
	夫または妻	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	子どもまたは子どもの配偶者	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	祖母または祖父	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	4 26.7	1 6.7	4 26.7	2 13.3	3 20.0	0 0.0	1 6.7

## ⑥ 家族のうち、最も長時間介助等を行っている方の健康状態

問29 家族のうち、最も長時間、介助や見守りをしている方は、現在、健康状態に不安がありますか。(1つだけ○)

- 「現在のところ、健康である」が34.8%、「やや健康状態に不安がある」が32.9%、「介助が続けられなくなる恐れのある疾病を持っている」が11.6%となっています。
- 「介助が続けられなくなる恐れのある疾病を持っている」は、障害種類別では“知的障害”(12.8%)や“重複障害”(10.5%)が、年齢4区分別では“壮年層”(15.6%)や“青年層”(13.3%)が、それぞれ高くなっています。



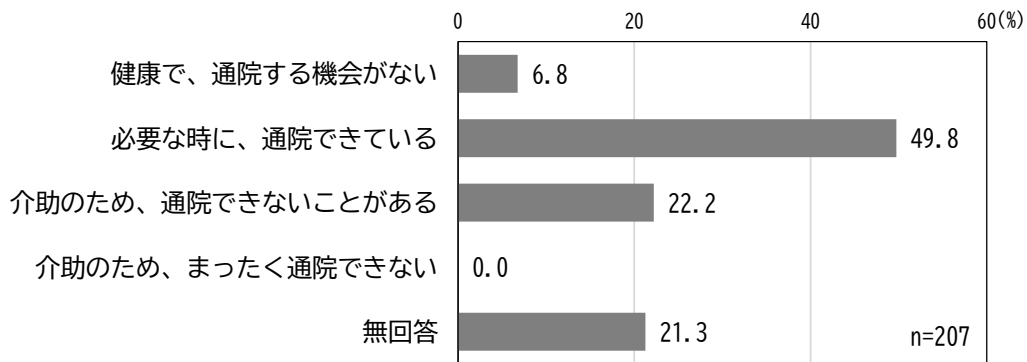
		合計	問29 最も長時間介助等の方の健康状態			
			介助が続けられなくなる恐れのある疾病を持っている	やや健康状態に不安がある	現在のところ、健康である	無回答
全体		207 100.0	24 11.6	68 32.9	72 34.8	43 20.8
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3
	知的障害	86 100.0	11 12.8	26 30.2	31 36.0	18 20.9
	重複障害	114 100.0	12 10.5	39 34.2	40 35.1	23 20.2
年齢4区分	児童	28 100.0	0 0.0	11 39.3	17 60.7	0 0.0
	青年層	75 100.0	10 13.3	25 33.3	36 48.0	4 5.3
	壮年層	64 100.0	10 15.6	16 25.0	15 23.4	23 35.9
	高齢層	23 100.0	2 8.7	5 21.7	1 4.3	15 65.2
最も長時間、介助や見守りを行っている方	母	132 100.0	19 14.4	56 42.4	57 43.2	0 0.0
	父	8 100.0	2 25.0	2 25.0	4 50.0	0 0.0
	夫または妻	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	子どもまたは子どもの配偶者	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	祖母または祖父	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
	その他	15 100.0	2 13.3	6 40.0	6 40.0	1 6.7



⑦ 家族のうち、最も長時間介助等を行っている方の通院状況

問30 家族のうち、最も長時間、介助や見守りをしている方は、必要な時に、通院できていますか。(1つだけ○)

- 「必要な時に、通院できている」が49.8%で最も高くなっています。一方、「介助のため、まったく通院できない」は該当がなく、「介助のため、通院できないことがある」が22.2%となっています。
- どの障害種類も年齢層も、また、最も長時間の介助者別も「必要な時に、通院できている」が最も高くなっています。一方、「介助のため、通院できないことがある」は、障害種類別では“重複障害”(27.2%)が、年齢4区分別では“児童”(39.3%)が、最も長時間の介助者別では“母”(30.3%)が、それぞれ最も高くなっています。

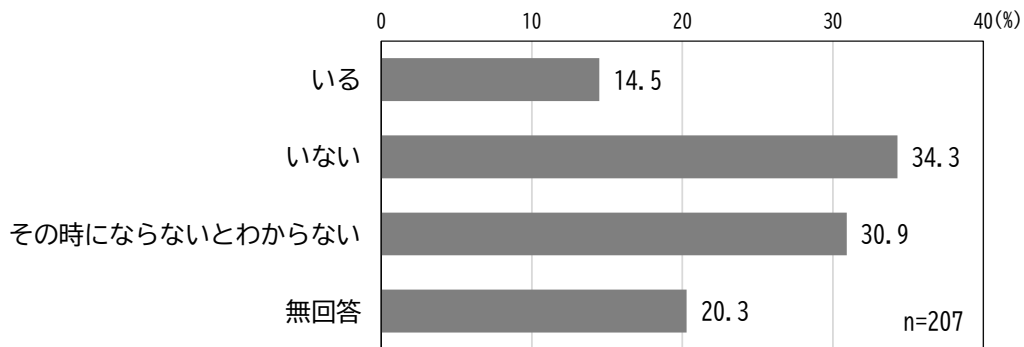


		合計	問30 最も長時間介助等の方の通院状況				無回答
			健康で、通院する機会がない	必要な時に、通院できている	介助のため、通院できないことがある	介助のため、まったく通院できない	
全体		207 100.0	14 6.8	103 49.8	46 22.2	0 0.0	44 21.3
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0
	知的障害	86 100.0	5 5.8	49 57.0	14 16.3	0 0.0	18 20.9
	重複障害	114 100.0	9 7.9	51 44.7	31 27.2	0 0.0	23 20.2
年齢4区分	児童	28 100.0	2 7.1	15 53.6	11 39.3	0 0.0	0 0.0
	青年層	75 100.0	9 12.0	42 56.0	20 26.7	0 0.0	4 5.3
	壮年層	64 100.0	3 4.7	32 50.0	6 9.4	0 0.0	23 35.9
	高齢層	23 100.0	0 0.0	7 30.4	1 4.3	0 0.0	15 65.2
最も長時間、介助や見守りを行っている方	母	132 100.0	9 6.8	82 62.1	40 30.3	0 0.0	1 0.8
	父	8 100.0	1 12.5	7 87.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	夫または妻	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	子どもまたは子どもの配偶者	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	祖母または祖父	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	4 26.7	7 46.7	3 20.0	0 0.0	1 6.7

⑧ 家族のうち、最も長時間介助等を行っている方の代わりの介助者の有無

問31 家族のうち、最も長時間、介助や見守りをしている方が、病気などで介助ができなくなった時に、家族の中で、代わりに介助ができる人がいますか。(1つだけ○)

- 「いない」が34.3%、「その時にならないとわからない」が30.9%、「いる」が14.5%となっています。
- 「いない」は、障害種類別では“知的障害”(37.2%)が、年齢4区分別では“青年層”(38.7%)が、主な介護者別では“ホームヘルパーなどサービス事業所の人”(53.8%)が、それぞれ最も高くなっています。

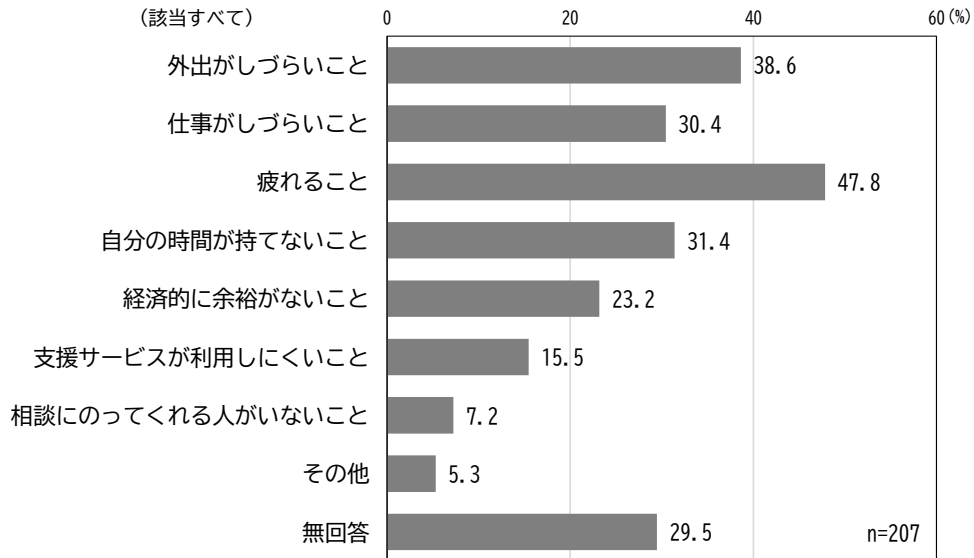


	合計	問31 最も長時間介助等の方の代わりの介助者の有無				
		いる	いない	その時に ならない とわから ない	無回答	
全体	207 100.0	30 14.5	71 34.3	64 30.9	42 20.3	
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3
	知的障害	86 100.0	12 14.0	32 37.2	24 27.9	18 20.9
	重複障害	114 100.0	18 15.8	36 31.6	38 33.3	22 19.3
年齢4区分	児童	28 100.0	8 28.6	10 35.7	10 35.7	0 0.0
	青年層	75 100.0	14 18.7	29 38.7	29 38.7	3 4.0
	壮年層	64 100.0	6 9.4	19 29.7	16 25.0	23 35.9
	高齢層	23 100.0	0 0.0	5 21.7	3 13.0	15 65.2
主な介護者	父母・祖父母・兄弟・姉妹	150 100.0	26 17.3	64 42.7	59 39.3	1 0.7
	夫または妻	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
	子どもや子どもの配偶者	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	グループホームや施設の指導員など	51 100.0	5 9.8	12 23.5	6 11.8	28 54.9
	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	26 100.0	4 15.4	14 53.8	6 23.1	2 7.7
	その他	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7

### ⑨ 介助者が困っていること

問32 介助者の方が、日頃、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「疲れること」が47.8%で最も高く、次いで「外出がしづらいこと」(38.6%)、「自分の時間が持てないこと」(31.4%)、「仕事がしづらいこと」(30.4%)と続きます。
- おおむね、どの障害種類も年齢層も長時間介護者も「疲れること」が高くなっていますが、“児童”は「外出がしづらいこと」が60.7%と高くなっています。

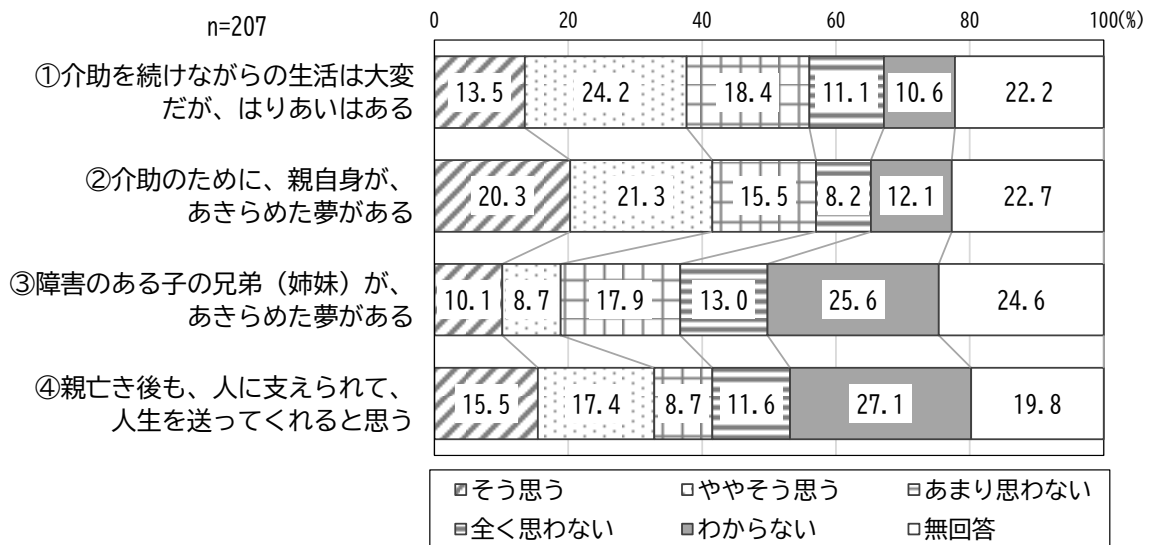


	合計	問32 介助者が日頃、困っていること									
		外出がしづらいこと	仕事しづらいこと	疲れること	自分の時間が持てないこと	経済的に余裕がないこと	支援サービスが利用しにくいこと	相談にのってくれる人がいないこと	その他	無回答	
全体	207 100.0	80 38.6	63 30.4	99 47.8	65 31.4	48 23.2	32 15.5	15 7.2	11 5.3	61 29.5	
障害種類	身体障害	6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	3 50.0
	知的障害	86 100.0	30 34.9	20 23.3	36 41.9	22 25.6	19 22.1	12 14.0	6 7.0	5 5.8	29 33.7
	重複障害	114 100.0	47 41.2	42 36.8	61 53.5	43 37.7	28 24.6	18 15.8	8 7.0	5 4.4	29 25.4
年齢区分	児童	28 100.0	17 60.7	16 57.1	16 57.1	10 35.7	11 39.3	2 7.1	1 3.6	1 3.6	1 3.6
	青年層	75 100.0	37 49.3	34 45.3	40 53.3	33 44.0	23 30.7	21 28.0	9 12.0	4 5.3	12 16.0
	壮年層	64 100.0	16 25.0	8 12.5	27 42.2	12 18.8	11 17.2	6 9.4	3 4.7	2 3.1	30 46.9
	高齢層	23 100.0	3 13.0	1 4.3	6 26.1	3 13.0	1 4.3	0 0.0	1 4.3	0 0.0	16 69.6
最も長時間、介助を行っている方	母	132 100.0	68 51.5	55 41.7	80 60.6	53 40.2	40 30.3	30 22.7	12 9.1	8 6.1	15 11.4
	父	8 100.0	3 37.5	2 25.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	夫または妻	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	子どもまたは子どもの配偶者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	祖母または祖父	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	15 100.0	5 33.3	2 13.3	10 66.7	3 20.0	3 20.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	3 20.0

### ⑩ 介助者ご自身や家族の過去や将来について感じていること

問33 介助者の方は、ご自身や家族の過去や将来のことについて、どのように感じていますか。  
①～④のそれぞれについて、お答えください。

- 『思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)が『思わない』(「あまり思わない」+全く思わない))に比べ高いのは、【②介助のために、親自身があきらめた夢がある】(41.6%)や【①介助を続けながらの生活は大変だが、はりあいはある】(37.7%)、【④親亡き後も、人に支えられて、人生を送ってくれると思う】(32.9%)で、【③障害のある子の兄弟(姉妹)が、あきらめた夢がある】は『思わない』(30.9%)が『思う』に比べ高くなっています。
- 【①介助を続けながらの生活は大変だが、はりあいはある】について『思う』は、障害種類別では“重複障害”(40.4%)が、年齢4区分別では“児童”(67.9%)が、それぞれ最も高くなっています。
- 【②介助のために、親自身があきらめた夢がある】及び【④親亡き後も、人に支えられて、人生を送ってくれると思う】について『思う』は、障害種類別では“知的障害”(各44.2%、38.4%)が、年齢4区分別では“青年層”(各56.0%、44.0%)が、それぞれ最も高くなっています。
- 【③障害のある子の兄弟(姉妹)が、あきらめた夢がある】について『思わない』は、障害種類別では“知的障害”(31.4%)や“重複障害”(30.7%)が高く、年齢4区分別では“青年層”(45.3%)が最も高くなっています。



	合計	問33-①介助を続けながらの生活は大変だが、やはりいいはある							統合	
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答	思う	思わない	
全体	207 100.0	28 13.5	50 24.2	38 18.4	23 11.1	22 10.6	46 22.2	37.7	29.5	
障害種類	身体障害	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	33.3	0.0
	知的障害	86 100.0	10 11.6	20 23.3	15 17.4	13 15.1	11 12.8	17 19.8	34.9	32.6
	重複障害	114 100.0	17 14.9	29 25.4	22 19.3	10 8.8	11 9.6	25 21.9	40.4	28.1
年齢4区分	児童	28 100.0	7 25.0	12 42.9	4 14.3	3 10.7	1 3.6	1 3.6	67.9	25.0
	青年層	75 100.0	13 17.3	23 30.7	18 24.0	11 14.7	8 10.7	2 2.7	48.0	38.7
	壮年層	64 100.0	6 9.4	10 15.6	9 14.1	5 7.8	10 15.6	24 37.5	25.0	21.9
	高齢層	23 100.0	0 0.0	3 13.0	0 0.0	2 8.7	2 8.7	16 69.6	13.0	8.7

	合計	問33-②介助のために、親自身が、あきらめた夢がある							統合	
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答	思う	思わない	
全体	207 100.0	42 20.3	44 21.3	32 15.5	17 8.2	25 12.1	47 22.7	41.6	23.7	
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	0.0	16.7
	知的障害	86 100.0	16 18.6	22 25.6	13 15.1	8 9.3	8 9.3	19 22.1	44.2	24.4
	重複障害	114 100.0	26 22.8	22 19.3	18 15.8	8 7.0	16 14.0	24 21.1	42.1	22.8
年齢4区分	児童	28 100.0	9 32.1	5 17.9	5 17.9	6 21.4	2 7.1	1 3.6	50.0	39.3
	青年層	75 100.0	21 28.0	21 28.0	14 18.7	6 8.0	11 14.7	2 2.7	56.0	26.7
	壮年層	64 100.0	7 10.9	13 20.3	10 15.6	4 6.3	6 9.4	24 37.5	31.3	21.9
	高齢層	23 100.0	0 0.0	2 8.7	1 4.3	0 0.0	3 13.0	17 73.9	8.7	4.3

	合計	問33-③障害のある子の兄弟（姉妹）が、あきらめた夢がある							統合	
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答	思う	思わない	
全体	207 100.0	21 10.1	18 8.7	37 17.9	27 13.0	53 25.6	51 24.6	18.8	30.9	
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0.0	16.7
	知的障害	86 100.0	14 16.3	8 9.3	17 19.8	10 11.6	18 20.9	19 22.1	25.6	31.4
	重複障害	114 100.0	7 6.1	10 8.8	19 16.7	16 14.0	34 29.8	28 24.6	14.9	30.7
年齢4区分	児童	28 100.0	4 14.3	2 7.1	4 14.3	6 21.4	12 42.9	0 0.0	21.4	35.7
	青年層	75 100.0	7 9.3	10 13.3	19 25.3	15 20.0	20 26.7	4 5.3	22.7	45.3
	壮年層	64 100.0	9 14.1	3 4.7	10 15.6	5 7.8	11 17.2	26 40.6	18.8	23.4
	高齢層	23 100.0	0 0.0	2 8.7	2 8.7	0 0.0	2 8.7	17 73.9	8.7	8.7

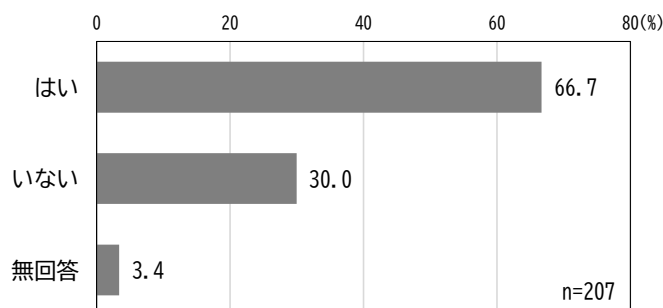
	合計	問33-④親亡き後も、人に支えられて、人生を送ってくれと思う							統合	
		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答	思う	思わない	
全体	207 100.0	32 15.5	36 17.4	18 8.7	24 11.6	56 27.1	41 19.8	32.9	20.3	
障害種類	身体障害	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 66.7	4 66.7	33.3	0.0
	知的障害	86 100.0	16 18.6	17 19.8	6 7.0	7 8.1	23 26.7	17 19.8	38.4	15.1
	重複障害	114 100.0	14 12.3	19 16.7	12 10.5	16 14.0	33 28.9	20 17.5	28.9	24.6
年齢4区分	児童	28 100.0	0 0.0	5 17.9	1 3.6	10 35.7	12 42.9	0 0.0	17.9	39.3
	青年層	75 100.0	12 16.0	21 28.0	8 10.7	7 9.3	25 33.3	2 2.7	44.0	20.0
	壮年層	64 100.0	14 21.9	7 10.9	6 9.4	4 6.3	13 20.3	20 31.3	32.8	15.6
	高齢層	23 100.0	2 8.7	2 8.7	0 0.0	2 8.7	1 4.3	16 69.6	17.4	8.7

## 4 医療について

### ① 障害に関係することでの医療機関への通院状況

問34 現在、障害に関係することでの医療機関に通院していますか。(1つだけ○)

- 「はい」が66.7%となっています。
- 「はい」は、障害種類別では“重複障害”(78.1%)や“知的障害”(53.5%)が高くなっています。
- 年齢4区分別では“児童”(96.4%)や“青年層”(81.3%)が特に高くなっています。

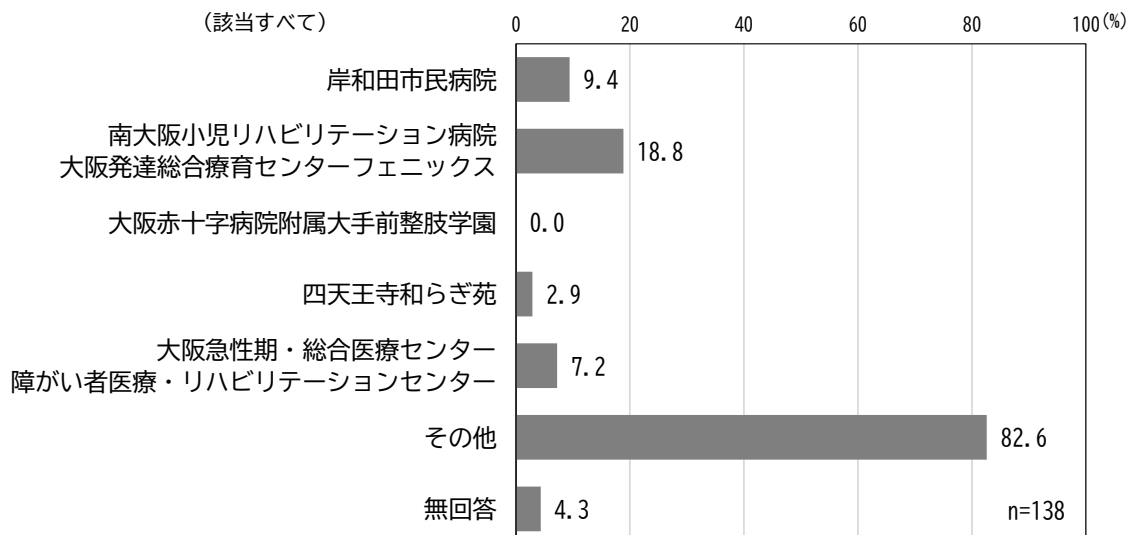


		問34 障害の関係で、医療機関へ通院しているかどうか			
		合計	はい	いない	無回答
全体		207 100.0	138 66.7	62 30.0	7 3.4
障害種類	身体障害	6 100.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0
	知的障害	86 100.0	46 53.5	36 41.9	4 4.7
	重複障害	114 100.0	89 78.1	22 19.3	3 2.6
年齢4区分	児童	28 100.0	27 96.4	1 3.6	0 0.0
	青年層	75 100.0	61 81.3	14 18.7	0 0.0
	壮年層	64 100.0	32 50.0	27 42.2	5 7.8
	高齢層	23 100.0	6 26.1	15 65.2	2 8.7

### ② 通院先

問35 問34で「1」とお答えの方におたずねします。どこへ通院していますか。(あてはまるものすべてに○)

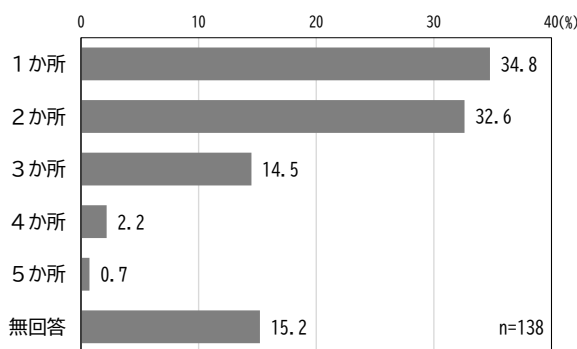
- 「その他」が82.6%で最も高く、内容は[大阪母子医療センター]が最も多く、[ボバース記念病院]などとなっています。



### ③ 通院医療機関数と1か月あたりの通院回数

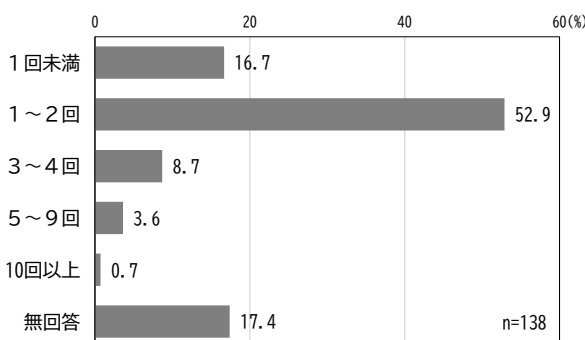
問36 問34で「1」とお答えの方におたずねします。現在、何か所の医療機関に、ひと月に何回くらい通院していますか。

- 医療機関数は「1か所」が34.8%、「2か所」が32.6%で、『3か所以上』は合わせて17.4%となっています。
- 障害種類別では、“重複障害”は「2か所」(37.1%)や『3か所以上』(20.2%)が、“身体障害”及び“知的障害”に比べ高くなっています。
- 年齢4区分別では、“児童”は「2か所」(48.1%)が最も高く、他の年齢層は「1か所」が最も高くなっています。



	合計	医療機関数						
		1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	無回答	
全体	138	48	45	20	3	1	21	
	100.0	34.8	32.6	14.5	2.2	0.7	15.2	
障害種類	身体障害	2	1	0	0	0	1	
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	知的障害	46	20	11	5	1	9	
	100.0	43.5	23.9	10.9	2.2	0.0	19.6	
重複障害	89	27	33	15	2	1	11	
	100.0	30.3	37.1	16.9	2.2	1.1	12.4	
年齢4区分	児童	27	8	13	3	1	2	
		100.0	29.6	48.1	11.1	3.7	0.0	7.4
	青年層	61	21	20	9	1	1	9
		100.0	34.4	32.8	14.8	1.6	1.6	14.8
壮年層	32	13	6	6	0	0	7	
	100.0	40.6	18.8	18.8	0.0	0.0	21.9	
高齢層	6	3	1	0	0	0	2	
	100.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	

- 1か月あたりの通院回数は「1～2回」が52.9%で最も高く、『3回以上』が合わせて13.0%となっています。
- 無回答の“身体障害”を除く障害種類別でも、年齢4区分別でも「1～2回」が最も高くなっています。また、『3回以上』は、障害種類別では“重複障害”(15.7%)が、年齢4区分別では“児童”(29.6%)が、それぞれ最も高くなっています。

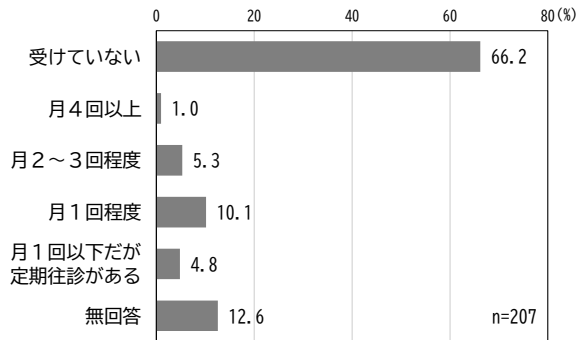


	合計	1か月あたりの通院回数						
		1回未満	1～2回	3～4回	5～9回	10回以上	無回答	
全体	138	23	73	12	5	1	24	
	100.0	16.7	52.9	8.7	3.6	0.7	17.4	
障害種類	身体障害	2	0	0	0	0	2	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	知的障害	46	8	25	2	1	10	
	100.0	17.4	54.3	4.3	2.2	0.0	21.7	
重複障害	89	15	48	9	4	1	12	
	100.0	16.9	53.9	10.1	4.5	1.1	13.5	
年齢4区分	児童	27	6	12	4	4	1	
		100.0	22.2	44.4	14.8	14.8	0.0	3.7
	青年層	61	10	39	1	1	0	10
		100.0	16.4	63.9	1.6	1.6	0.0	16.4
壮年層	32	6	12	4	0	1	9	
	100.0	18.8	37.5	12.5	0.0	3.1	28.1	
高齢層	6	1	4	0	0	0	1	
	100.0	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	

#### ④ 1か月あたりの医師の往診回数

問37 現在、医師の往診は、ひと月に何回くらい受けていますか。(1つだけ○)

- 『受けている』は合わせて21.2%(実数から算出。以下同様)で、「月1回程度」(10.1%)が最も高くなっています。
- 『受けている』は、障害種類別では“身体障害”(66.7%)が、年齢4区分別では“高齢層”(47.8%)が、それぞれ最も高くなっています。

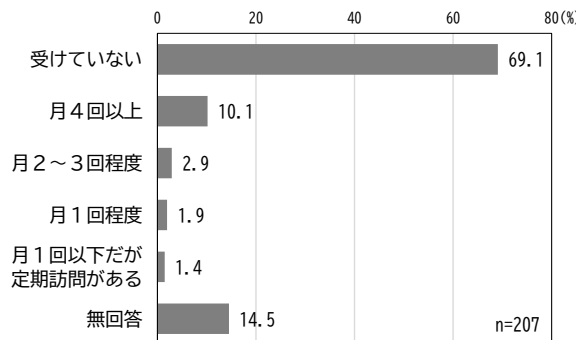


	合計	問37 1か月あたりの医師の往診回数					
		受けていない	月4回以上	月2～3回程度	月1回程度	月1回以下だが定期往診がある	無回答
全体	207 100.0	137 66.2	2 1.0	11 5.3	21 10.1	10 4.8	26 12.6
障害種類	身体障害	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 0.0
	知的障害	86 100.0	65 75.6	0 0.0	2 2.3	8 9.3	1 1.2
	重複障害	114 100.0	69 60.5	2 1.8	9 7.9	11 9.6	7 6.1
年齢4区分	児童	28 100.0	21 75.0	0 0.0	1 3.6	4 14.3	1 3.6
	青年層	75 100.0	56 74.7	1 1.3	1 1.3	6 8.0	4 5.3
	壮年層	64 100.0	43 67.2	0 0.0	4 6.3	3 4.7	2 3.1
	高齢層	23 100.0	7 30.4	1 4.3	4 17.4	4 17.4	2 8.7

#### ⑤ 1か月あたりの訪問看護の回数

問38 現在、訪問看護(看護師)は、ひと月に何回くらい受けていますか。(1つだけ○)

- 『受けている』は合わせて16.4%で、「月4回以上」が10.1%で最も高くなっています。
- 『受けている』は、障害種類別では“重複障害”(20.2%)が、年齢4区分別では“児童”(39.3%)が、それぞれ最も高くなっています。



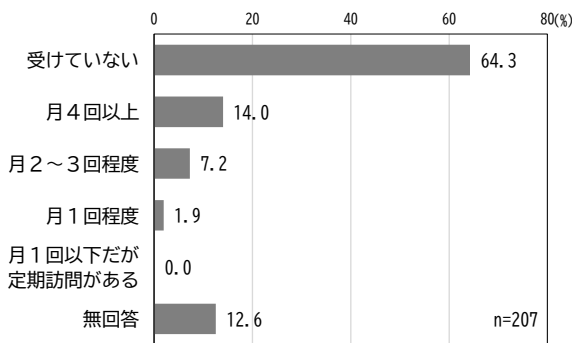
	合計	問38 1か月あたりの訪問看護の回数					
		受けていない	月4回以上	月2～3回程度	月1回程度	月1回以下だが定期訪問がある	無回答
全体	207 100.0	143 69.1	21 10.1	6 2.9	4 1.9	3 1.4	30 14.5
障害種類	身体障害	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	86 100.0	64 74.4	6 7.0	3 3.5	1 1.2	0 0.0
	重複障害	114 100.0	76 66.7	14 12.3	3 2.6	3 2.6	3 2.6
年齢4区分	児童	28 100.0	17 60.7	3 10.7	2 7.1	4 14.3	2 7.1
	青年層	75 100.0	58 77.3	10 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	壮年層	64 100.0	45 70.3	2 3.1	2 3.1	0 0.0	1 1.6
	高齢層	23 100.0	11 47.8	3 13.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0



### ⑥ 1か月あたりの訪問リハビリの回数

問39 現在、訪問リハビリ(理学療法士や作業療法士、言語聴覚士など)は、ひと月に何回くらい受けていますか。(1つだけ○)

- 『受けている』は合わせて23.2%で、「月4回以上」が14.0%で最も高くなっています。
- 『受けている』は、障害種類別では“重複障害”(35.1%)が、年齢4区分別では“児童”(57.1%)が、それぞれ最も高くなっています。

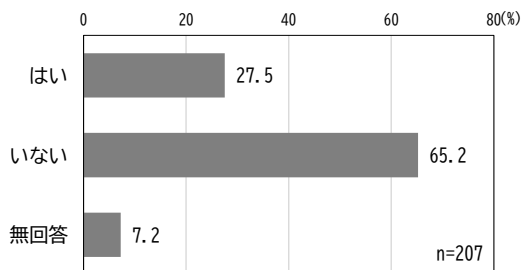


	合計	問39 1か月あたりの訪問リハビリの回数					無回答	
		受けていない	月4回以上	月2~3回程度	月1回程度	月1回以下だが定期訪問がある		
全体	207 100.0	133 64.3	29 14.0	15 7.2	4 1.9	0 0.0	26 12.6	
障害種類	身体障害	6 100.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3
	知的障害	86 100.0	69 80.2	3 3.5	3 3.5	0 0.0	0 0.0	11 12.8
	重複障害	114 100.0	61 53.5	25 21.9	11 9.6	4 3.5	0 0.0	13 11.4
年齢4区分	児童	28 100.0	12 42.9	10 35.7	4 14.3	2 7.1	0 0.0	0 0.0
	青年層	75 100.0	55 73.3	9 12.0	4 5.3	1 1.3	0 0.0	6 8.0
	壮年層	64 100.0	41 64.1	7 10.9	3 4.7	0 0.0	0 0.0	13 20.3
	高齢層	23 100.0	14 60.9	1 4.3	1 4.3	1 4.3	0 0.0	6 26.1

### ⑦ 日常生活において、医師以外の方の医療的処置の有無

問40 日常生活で、医師以外の方が、医療的処置を行っていますか。(1つだけ○)

- 「はい」が27.5%となっています。
- 「はい」は、障害種類別では「重複障害」(43.9%)が、年齢4区分別では「児童」(57.1%)が、それぞれ最も高くなっています。

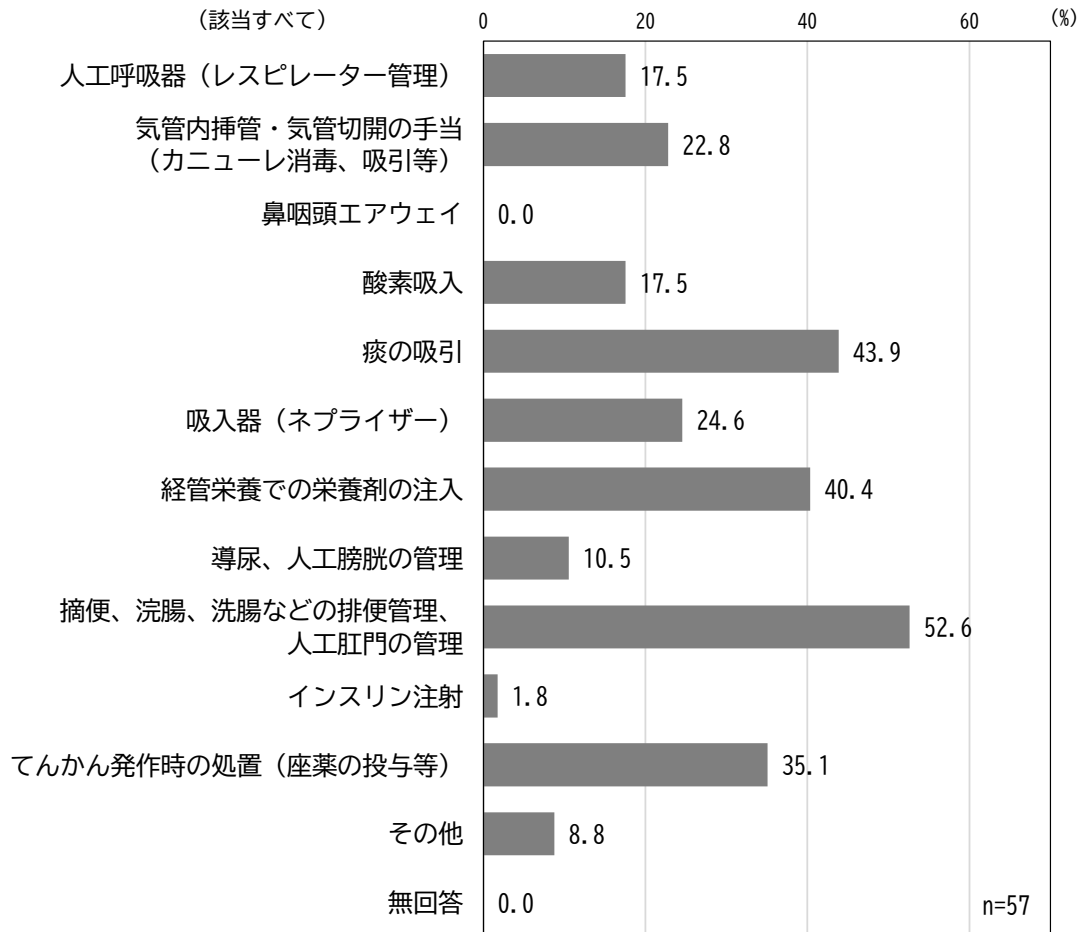


	合計	問40 医師以外の方が医療的処置を行っているかどうか			
		はい	いない	無回答	
全体	207 100.0	57 27.5	135 65.2	15 7.2	
障害種類	身体障害	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3
	知的障害	86 100.0	5 5.8	73 84.9	8 9.3
	重複障害	114 100.0	50 43.9	59 51.8	5 4.4
年齢4区分	児童	28 100.0	16 57.1	12 42.9	0 0.0
	青年層	75 100.0	20 26.7	53 70.7	2 2.7
	壮年層	64 100.0	10 15.6	46 71.9	8 12.5
	高齢層	23 100.0	5 21.7	14 60.9	4 17.4

⑧ 行っている医療的処置の内容

問41 問40で「1」とお答えの方におたずねします。どのような医療的処置を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「排便、浣腸、洗腸などの排便管理、人工肛門の管理」が52.6%で最も高く、次いで「痰の吸引」(43.9%)、「経管栄養での栄養剤の注入」(40.4%)、「てんかん発作時の処置(座薬の投与等)」(35.1%)と続きます。

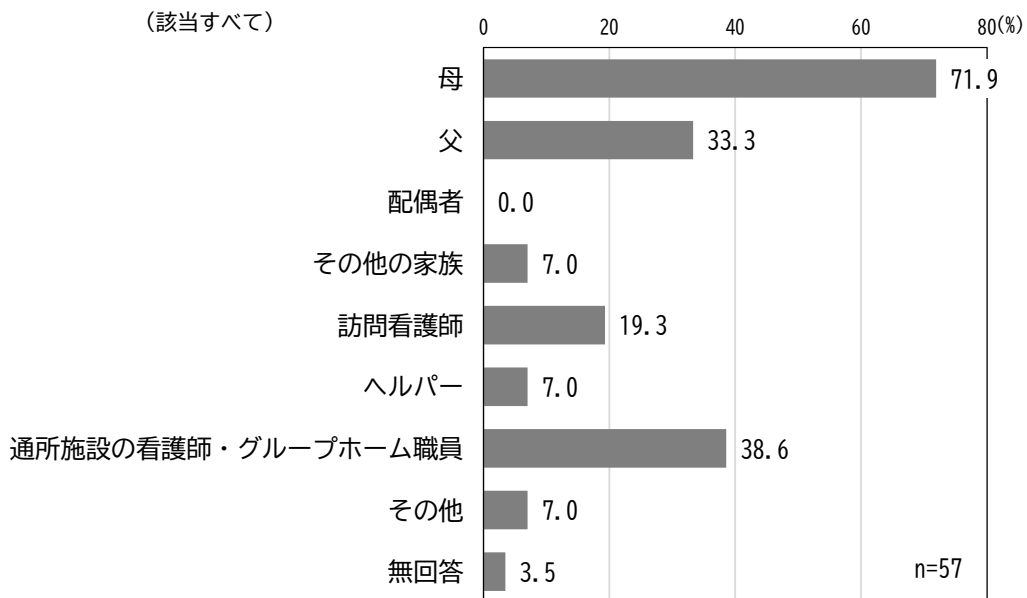


	合計	問41 行っている医療的処置											無回答		
		人工呼吸器 (レスピレーター管理)	気管内挿管・気管切開の手当 (カニューレ消毒、吸引等)	鼻咽頭エアウェイ	酸素吸入	痰の吸引	吸入器 (ネブライザー)	経管栄養での栄養剤の注入	導尿、人工膀胱の管理	排便、浣腸、洗腸などの排便管理、人工肛門の管理	インスリン注射	てんかん発作時の処置 (座薬の投与等)		その他	
全体	57 100.0	10 17.5	13 22.8	0 0.0	10 17.5	25 43.9	14 24.6	23 40.4	6 10.5	30 52.6	1 1.8	20 35.1	5 8.8	0 0.0	
障害種類	身体障害	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	知的障害	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	
	重複障害	50 100.0	10 20.0	13 26.0	0 0.0	10 20.0	24 48.0	14 28.0	22 44.0	6 12.0	28 56.0	1 2.0	19 38.0	3 6.0	0 0.0
年齢区分	児童	16 100.0	4 25.0	5 31.3	0 0.0	2 12.5	9 56.3	3 18.8	10 62.5	1 6.3	10 62.5	0 0.0	8 50.0	1 6.3	0 0.0
	青年層	20 100.0	2 10.0	4 20.0	0 0.0	5 25.0	9 45.0	6 30.0	7 35.0	1 5.0	11 55.0	0 0.0	11 55.0	2 10.0	0 0.0
	壮年層	10 100.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	高齢層	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0

⑨ 医療的処置を行っている方

問42 問40で「1」とお答えの方におたずねします。どなたが医療的処置を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「母」が71.9%で最も高く、次いで「通所施設の看護師・グループホーム職員」(38.6%)、「父」(33.3%)、「訪問看護師」(19.3%)と続きます。

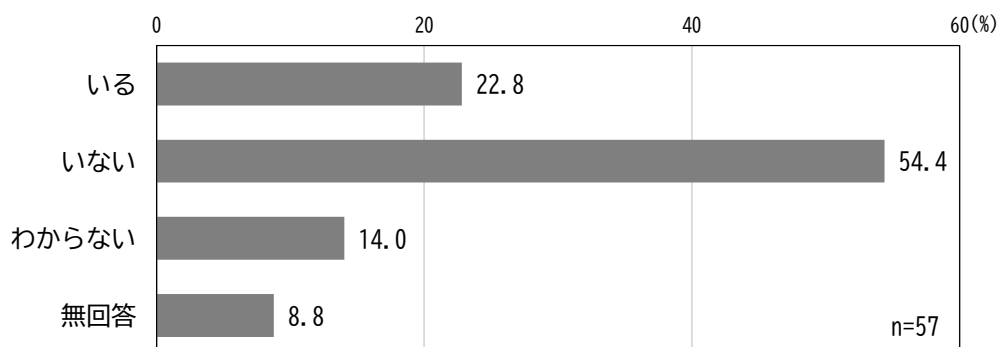


	合計	問42 医療的処置を行っている方									
		母	父	配偶者	その他の家族	訪問看護師	ヘルパー	通所施設の看護師・グループホーム職員	その他	無回答	
全体	57 100.0	41 71.9	19 33.3	0 0.0	4 7.0	11 19.3	4 7.0	22 38.6	4 7.0	2 3.5	
障害種類	身体障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	知的障害	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	
	重複障害	50 100.0	39 78.0	19 38.0	0 0.0	4 8.0	10 20.0	4 8.0	18 36.0	4 8.0	2 4.0
年齢区分	児童	16 100.0	16 100.0	9 56.3	0 0.0	1 6.3	3 18.8	1 6.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0
	青年層	20 100.0	17 85.0	7 35.0	0 0.0	1 5.0	3 15.0	2 10.0	11 55.0	0 0.0	0 0.0
	壮年層	10 100.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0
	高齢層	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0

### ⑩ 医療的処置を行っている方の代わりにの方の有無

問43 問40で「1」とお答えの方におたずねします。主に医療的処置を行っている人が、病気などでそれが行えなくなった場合に、家族内に、同程度の処置を行える人はいますか。(1つだけ〇)

- 「いる」が22.8%、「いない」が54.4%となっています。
- 障害種類別の“身体障害”以外とどの年齢層も、「いない」が最も高くなっています。



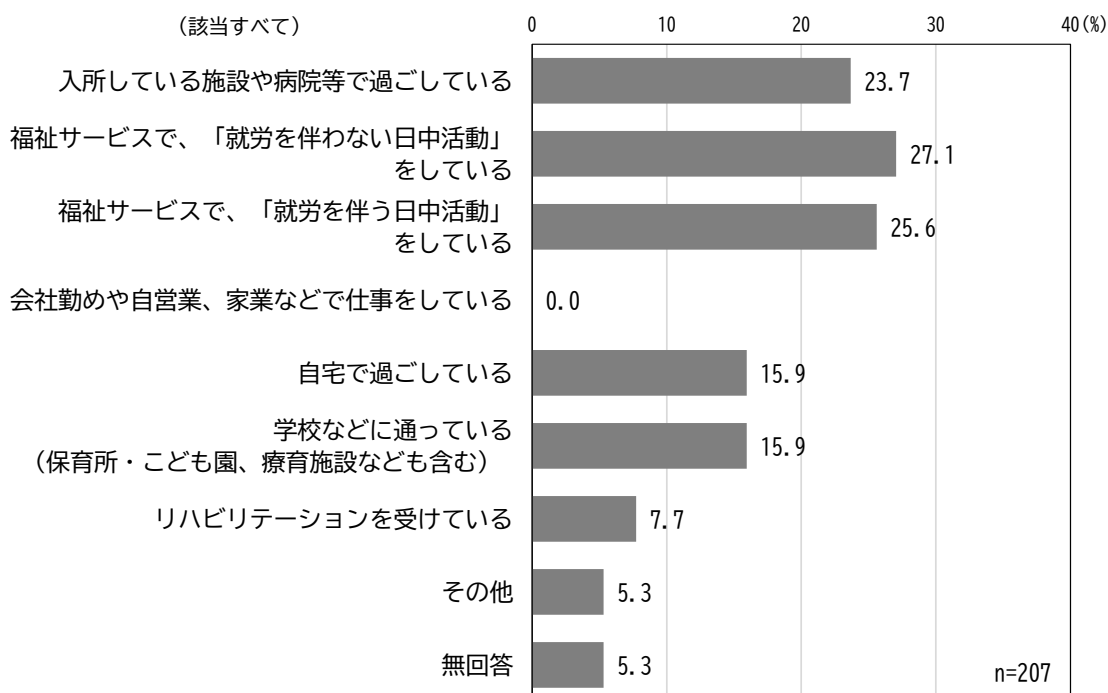
		合計	問43 医療的処置を代わりに行える方の有無			
			いる	いない	わからない	無回答
全体		57 100.0	13 22.8	31 54.4	8 14.0	5 8.8
障害種類	身体障害	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	知的障害	5 100.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0
	重複障害	50 100.0	13 26.0	28 56.0	5 10.0	4 8.0
年齢4区分	児童	16 100.0	5 31.3	10 62.5	1 6.3	0 0.0
	青年層	20 100.0	4 20.0	14 70.0	2 10.0	0 0.0
	壮年層	10 100.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	3 30.0
	高齢層	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0

## 5 日中の活動について

### ① 平日の日中の過ごし方

問44 あなたは、平日の日中をどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「福祉サービスで、「就労を伴わない日中活動」をしている」が27.1%で最も高く、次いで「福祉サービスで、「就労を伴う日中活動」をしている」(25.6%)、「入所している施設や病院等で過ごしている」(23.7%)が大差なく続きます。
- 「福祉サービスで、「就労を伴わない日中活動」をしている」は、障害種類別では“重複障害”が、年齢4区分別では“青年層”が、それぞれ最も高くなっています。

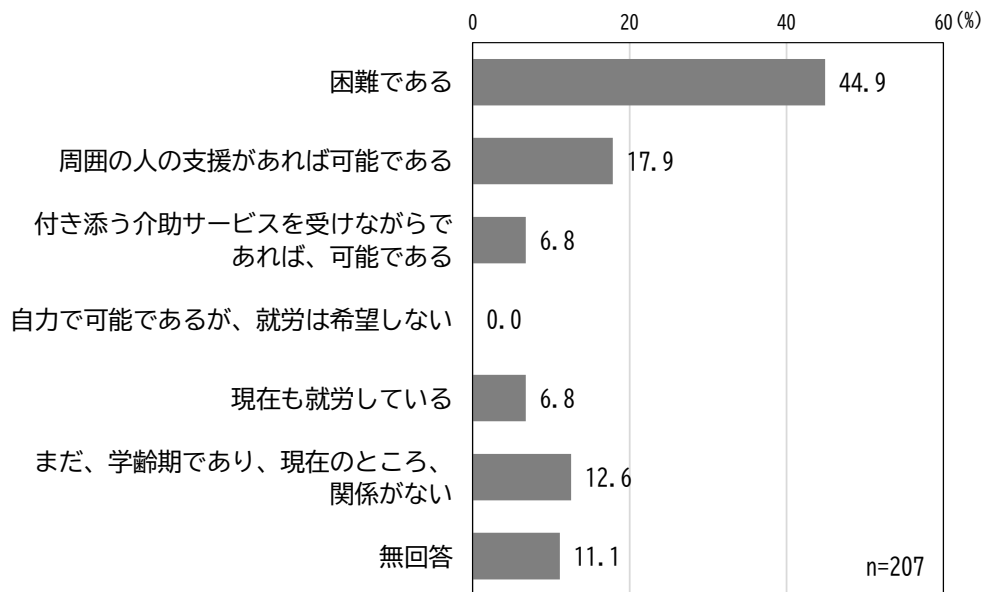


	合計	問44 平日の日中の過ごし方								
		入所している施設や病院等で過ごしている	福祉サービスで、「就労を伴わない日中活動」をしている	福祉サービスで、「就労を伴う日中活動」をしている	会社勤めや自営業、家業などで仕事をしている	自宅で過ごしている	学校などに通っている (保育所・こども園、療育施設なども含む)	リハビリテーションを受けている	その他	無回答
全体	207 100.0	49 23.7	56 27.1	53 25.6	0 0.0	33 15.9	33 15.9	16 7.7	11 5.3	11 5.3
障害種類	身体障害	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	知的障害	86 100.0	17 19.8	21 24.4	33 38.4	0 0.0	10 11.6	6 7.0	0 0.0	5 5.8
	重複障害	114 100.0	29 25.4	34 29.8	20 17.5	0 0.0	20 17.5	27 23.7	15 13.2	5 4.4
年齢4区分	児童	28 100.0	1 3.6	4 14.3	0 0.0	0 0.0	5 17.9	26 92.9	6 21.4	3 10.7
	青年層	75 100.0	10 13.3	31 41.3	27 36.0	0 0.0	10 13.3	2 2.7	4 5.3	2 2.7
	壮年層	64 100.0	24 37.5	12 18.8	19 29.7	0 0.0	10 15.6	2 3.1	2 3.1	5 7.8
	高齢層	23 100.0	11 47.8	4 17.4	4 17.4	0 0.0	4 17.4	0 0.0	1 4.3	0 0.0

## ② 仕事や「就労を伴う日中活動」を行うことについて

問45 仕事や「就労を伴う日中活動」を行うことは難しいですか。(1つだけ○)

- 「困難である」が44.9%で最も高く、「周囲の人の支援があれば可能である」(17.9%)と「付き添う介助サービスを受けながらであれば、可能である」(6.8%)を合わせた『可能である』が24.7%となっています。また、「現在も就労している」が6.8%となっています。
- “児童”以外は「困難である」が最も高くなっています。また、『可能である』は、障害種類別では“知的障害”(39.6%)が、年齢4区分別では“青年層”(32.0%)や“壮年層”(31.3%)が、それぞれ高くなっています。
- 「現在も就労している」は、障害種類別では“知的障害”(10.5%)が、年齢4区分別では“青年層”(9.3%)が、それぞれ高くなっています。



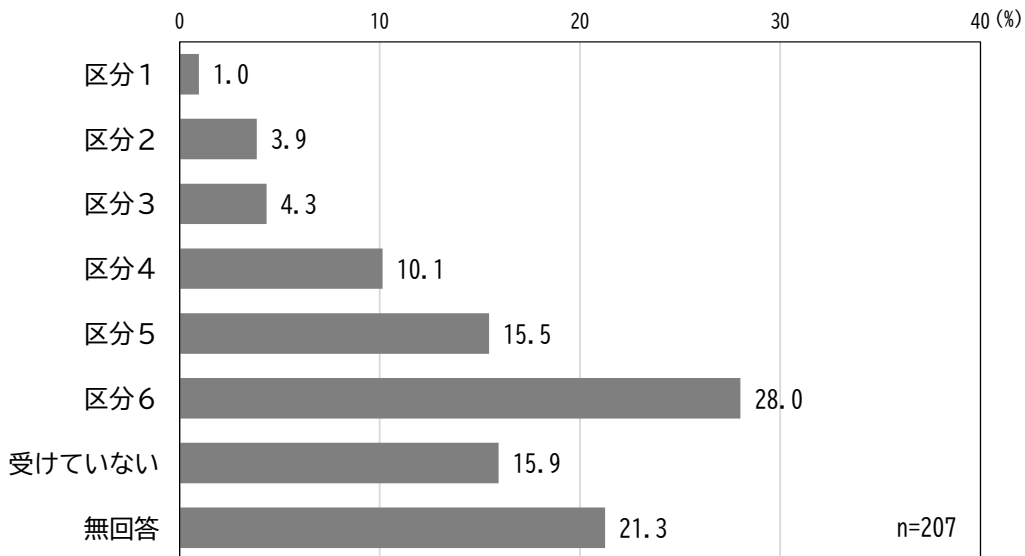
	合計	問45 仕事や「就労を伴う日中活動」を行うことについて						
		困難である	周囲の人の支援があれば可能である	付き添う介助サービスを受けながらであれば、可能である	自力で可能であるが、就労は希望しない	現在も就労している	まだ、学齢期であり、現在のところ、関係がない	無回答
全体	207 100.0	93 44.9	37 17.9	14 6.8	0 0.0	14 6.8	26 12.6	23 11.1
障害種類	身体障害	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 50.0
	知的障害	86 100.0	30 34.9	28 32.6	6 7.0	0 0.0	9 10.5	5 5.8
	重複障害	114 100.0	60 52.6	9 7.9	7 6.1	0 0.0	5 4.4	21 18.4
年齢4区分	児童	28 100.0	5 17.9	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 71.4
	青年層	75 100.0	37 49.3	17 22.7	7 9.3	0 0.0	7 9.3	2 2.7
	壮年層	64 100.0	32 50.0	14 21.9	6 9.4	0 0.0	4 6.3	1 1.6
	高齢層	23 100.0	14 60.9	3 13.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0

## 6 障害福祉サービスの利用について

### ① 障害支援区分の認定状況

問46 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(1つだけ○)

- 認定を受けている率は62.8%で、支援の必要度が最も高い「区分6」が28.0%で最も高く、次いで「区分5」が15.5%と続き、「区分1」が1.0%で最も低くなっています。
- 認定を受けている率は、障害種類別では“知的障害”(67.4%)や“重複障害”(62.3%)が高く、年齢4区分別では“青年層”(82.7%)が最も高くなっています。また、「区分6」は、障害種類別では“重複障害”(40.4%)が、年齢4区分別では“青年層”(38.7%)が、それぞれ最も高くなっています。

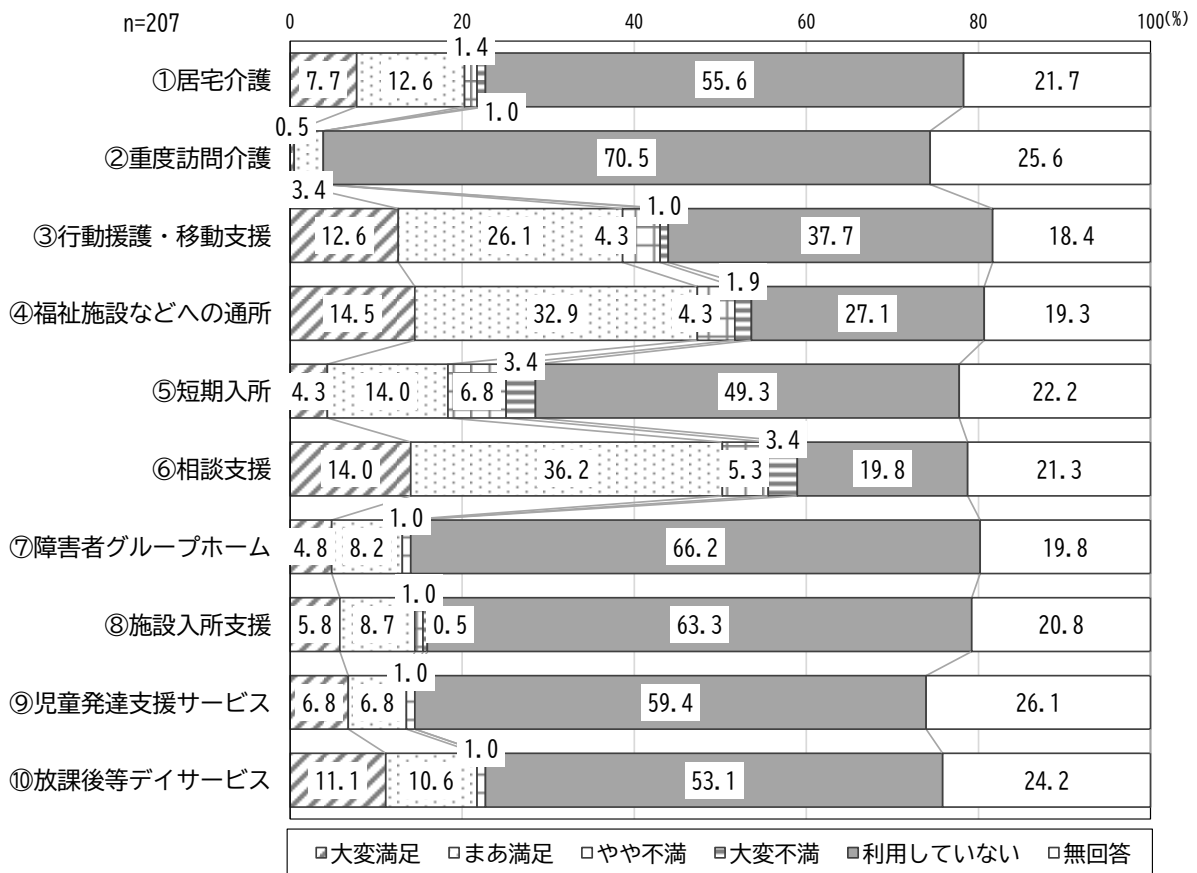


		合計	問46 障害支援区分の認定状況							統合	
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	無回答	認定率
全体		207 100.0	2 1.0	8 3.9	9 4.3	21 10.1	32 15.5	58 28.0	33 15.9	44 21.3	62.8
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	16.7
	知的障害	86 100.0	0 0.0	6 7.0	7 8.1	14 16.3	20 23.3	11 12.8	11 12.8	17 19.8	67.4
	重複障害	114 100.0	2 1.8	2 1.8	2 1.8	7 6.1	12 10.5	46 40.4	20 17.5	23 20.2	62.3
年齢4区分	児童	28 100.0	0 0.0	1 3.6	1 3.6	0 0.0	0 0.0	1 3.6	18 64.3	7 25.0	10.7
	青年層	75 100.0	2 2.7	1 1.3	5 6.7	11 14.7	14 18.7	29 38.7	5 6.7	8 10.7	82.7
	壮年層	64 100.0	0 0.0	4 6.3	2 3.1	7 10.9	13 20.3	19 29.7	5 7.8	14 21.9	70.3
	高齢層	23 100.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	2 8.7	3 13.0	4 17.4	1 4.3	11 47.8	47.8

## ② 福祉サービスの利用状況、利用した際の満足度

問47 次の障害福祉サービス・障害児福祉サービスを利用したことがありますか。利用した際は、サービスに満足できましたか。①～⑩のそれぞれについてお答えください。

- 「利用していない」及び無回答を除いた利用率は、【⑥相談支援】が58.9%で最も高く、次いで【④福祉施設などへの通所】(53.6%)、【③行動援護・移動支援】(44.0%)、【⑤短期入所】(28.5%)と続きます。
- すべてのサービスで『満足』(「大変満足」+「まあ満足」)が『不満』(「やや不満」+「大変不満」)に比べ高くなっていますが、『不満』が比較的高いのは【⑤短期入所】(10.1%)や【⑥相談支援】(8.7%)となっています。



サービス名	利用状況・満足度						統合		
	大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用していない	無回答	利用率	満足	不満
① 居宅介護	7.7	12.6	1.4	1.0	55.6	21.7	22.7	20.3	2.4
② 重度訪問介護	0.5	3.4	0.0	0.0	70.5	25.6	3.9	3.9	0.0
③ 行動援護・移動支援	12.6	26.1	4.3	1.0	37.7	18.4	44.0	38.6	5.3
④ 福祉施設などへの通所	14.5	32.9	4.3	1.9	27.1	19.3	53.6	47.3	6.3
⑤ 短期入所	4.3	14.0	6.8	3.4	49.3	22.2	28.5	18.4	10.1
⑥ 相談支援	14.0	36.2	5.3	3.4	19.8	21.3	58.9	50.2	8.7
⑦ 障害者グループホーム	4.8	8.2	1.0	0.0	66.2	19.8	14.0	13.0	1.0
⑧ 施設入所支援	5.8	8.7	1.0	0.5	63.3	20.8	15.9	14.5	1.4
⑨ 児童発達支援サービス	6.8	6.8	1.0	0.0	59.4	26.1	14.5	13.5	1.0
⑩ 放課後等デイサービス	11.1	10.6	1.0	0.0	53.1	24.2	22.7	21.7	1.0



- 障害種類別の最も利用率が高いサービスは、“身体障害”が【①居宅介護】及び【⑧施設入所支援】で共に33.3%(ただし、回答者数が少ない)、“知的障害”及び“重複障害”が【⑥相談支援】でそれぞれ65.1%、57.0%となっています。
- 年齢4区分別の最も利用率が高いサービスは、“児童”が【⑩放課後等デイサービス】で85.7%、“青年層”及び“壮年層”が【④福祉施設などへの通所】でそれぞれ82.7%、53.1%、“高齢層”が【③行動援護・移動支援】で34.8%となっています。
- 障害種類別も年齢4区分別も、満足度ではおおむね『満足』が『不満』に比べ高くなっています。また、回答者数の少ない“身体障害”以外で『不満』が10%以上は、【⑤施設入所支援】の“重複障害”(10.5%)、“青年層”(20.0%)と、【⑥相談支援】の“青年層”(10.7%)となっています。

	合計	問47-①居宅介護の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	16 7.7	26 12.6	3 1.4	2 1.0	115 55.6	45 21.7	22.7	20.3	2.4	
障害種類	身体障害	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	33.3	33.3	0.0
	知的障害	86 100.0	4 4.7	8 9.3	1 1.2	0 0.0	53 61.6	20 23.3	15.1	14.0	1.2
	重複障害	114 100.0	11 9.6	16 14.0	2 1.8	2 1.8	60 52.6	23 20.2	27.2	23.7	3.5
	児童	28 100.0	5 17.9	4 14.3	0 0.0	0 0.0	18 64.3	1 3.6	32.1	32.1	0.0
年齢4区分	青年層	75 100.0	6 8.0	11 14.7	2 2.7	1 1.3	45 60.0	10 13.3	26.7	22.7	4.0
	壮年層	64 100.0	3 4.7	6 9.4	1 1.6	1 1.6	35 54.7	18 28.1	17.2	14.1	3.1
	高齢層	23 100.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	9 39.1	12 52.2	8.7	8.7	0.0

	合計	問47-②重度訪問介護の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	1 0.5	7 3.4	0 0.0	0 0.0	146 70.5	53 25.6	3.9	3.9	0.0	
障害種類	身体障害	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 33.3	2 50.0	3 16.7	16.7	16.7	0.0
	知的障害	86 100.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	67 77.9	18 20.9	1.2	1.2	0.0
	重複障害	114 100.0	0 0.0	6 5.3	0 0.0	0 0.0	76 66.7	32 28.1	5.3	5.3	0.0
	児童	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 85.7	4 14.3	0.0	0.0	0.0
年齢4区分	青年層	75 100.0	0 0.0	4 5.3	0 0.0	0 0.0	57 76.0	14 18.7	5.3	5.3	0.0
	壮年層	64 100.0	0 0.0	2 3.1	0 0.0	0 0.0	44 68.8	18 28.1	3.1	3.1	0.0
	高齢層	23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 47.8	12 52.2	0.0	0.0	0.0

	合計	問47-③行動援護・移動支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	26 12.6	54 26.1	9 4.3	2 1.0	78 37.7	38 18.4	44.0	38.6	5.3	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	3 50.0	16.7	0.0	16.7
	知的障害	86 100.0	15 17.4	22 25.6	5 5.8	1 1.2	30 34.9	13 15.1	50.0	43.0	7.0
	重複障害	114 100.0	11 9.6	31 27.2	3 2.6	1 0.9	46 40.4	22 19.3	40.4	36.8	3.5
年齢 4区 分	児童	28 100.0	4 14.3	3 10.7	0 0.0	0 0.0	17 60.7	4 14.3	25.0	25.0	0.0
	青年層	75 100.0	11 14.7	24 32.0	5 6.7	2 2.7	24 32.0	9 12.0	56.0	46.7	9.3
	壮年層	64 100.0	6 9.4	19 29.7	3 4.7	0 0.0	24 37.5	12 18.8	43.8	39.1	4.7
	高齢層	23 100.0	1 4.3	6 26.1	1 4.3	0 0.0	6 26.1	9 39.1	34.8	30.4	4.3

	合計	問47-④福祉施設などへの通所の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	30 14.5	68 32.9	9 4.3	4 1.9	56 27.1	40 19.3	53.6	47.3	6.3	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	3 50.0	16.7	16.7	0.0
	知的障害	86 100.0	20 23.3	28 32.6	7 8.1	0 0.0	18 20.9	13 15.1	64.0	55.8	8.1
	重複障害	114 100.0	10 8.8	38 33.3	2 1.8	4 3.5	36 31.6	24 21.1	47.4	42.1	5.3
年齢 4区 分	児童	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 85.7	4 14.3	0.0	0.0	0.0
	青年層	75 100.0	17 22.7	38 50.7	6 8.0	1 1.3	6 8.0	7 9.3	82.7	73.3	9.3
	壮年層	64 100.0	11 17.2	19 29.7	2 3.1	2 3.1	15 23.4	15 23.4	53.1	46.9	6.3
	高齢層	23 100.0	1 4.3	5 21.7	1 4.3	0 0.0	6 26.1	10 43.5	30.4	26.1	4.3

	合計	問47-⑤短期入所の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	9 4.3	29 14.0	14 6.8	7 3.4	102 49.3	46 22.2	28.5	18.4	10.1	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	16.7	0.0	16.7
	知的障害	86 100.0	3 3.5	10 11.6	7 8.1	1 1.2	45 52.3	20 23.3	24.4	15.1	9.3
	重複障害	114 100.0	6 5.3	19 16.7	7 6.1	5 4.4	54 47.4	23 20.2	32.5	21.9	10.5
年齢 4区 分	児童	28 100.0	1 3.6	3 10.7	0 0.0	0 0.0	20 71.4	4 14.3	14.3	14.3	0.0
	青年層	75 100.0	3 4.0	13 17.3	10 13.3	5 6.7	34 45.3	10 13.3	41.3	21.3	20.0
	壮年層	64 100.0	3 4.7	11 17.2	2 3.1	0 0.0	31 48.4	17 26.6	25.0	21.9	3.1
	高齢層	23 100.0	0 0.0	1 4.3	1 4.3	0 0.0	10 43.5	11 47.8	8.7	4.3	4.3

	合計	問47-⑥相談支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	29 14.0	75 36.2	11 5.3	7 3.4	41 19.8	44 21.3	58.9	50.2	8.7	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	3 50.0	0.0	0.0	0.0
	知的障害	86 100.0	19 22.1	29 33.7	5 5.8	3 3.5	15 17.4	15 17.4	65.1	55.8	9.3
	重複障害	114 100.0	10 8.8	45 39.5	6 5.3	4 3.5	23 20.2	26 22.8	57.0	48.2	8.8
年齢 4区 分	児童	28 100.0	5 17.9	7 25.0	1 3.6	1 3.6	11 39.3	3 10.7	50.0	42.9	7.1
	青年層	75 100.0	11 14.7	41 54.7	5 6.7	3 4.0	7 9.3	8 10.7	80.0	69.3	10.7
	壮年層	64 100.0	9 14.1	19 29.7	3 4.7	2 3.1	15 23.4	16 25.0	51.6	43.8	7.8
	高齢層	23 100.0	2 8.7	3 13.0	0 0.0	1 4.3	5 21.7	12 52.2	26.1	21.7	4.3

	合計	問47-⑦障害者グループホームの利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	10 4.8	17 8.2	2 1.0	0 0.0	137 66.2	41 19.8	14.0	13.0	1.0	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0.0	0.0	0.0
	知的障害	86 100.0	6 7.0	14 16.3	2 2.3	0 0.0	55 64.0	9 10.5	25.6	23.3	2.3
	重複障害	114 100.0	4 3.5	3 2.6	0 0.0	0 0.0	79 69.3	28 24.6	6.1	6.1	0.0
年齢 区分	児童	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 85.7	4 14.3	0.0	0.0	0.0
	青年層	75 100.0	2 2.7	6 8.0	0 0.0	0 0.0	58 77.3	9 12.0	10.7	10.7	0.0
	壮年層	64 100.0	7 10.9	5 7.8	1 1.6	0 0.0	38 59.4	13 20.3	20.3	18.8	1.6
	高齢層	23 100.0	0 0.0	5 21.7	1 4.3	0 0.0	8 34.8	9 39.1	26.1	21.7	4.3

	合計	問47-⑧施設入所支援の利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	12 5.8	18 8.7	2 1.0	1 0.5	131 63.3	43 20.8	15.9	14.5	1.4	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0	33.3	33.3	0.0
	知的障害	86 100.0	5 5.8	3 3.5	1 1.2	0 0.0	61 70.9	16 18.6	10.5	9.3	1.2
	重複障害	114 100.0	7 6.1	12 10.5	1 0.9	1 0.9	69 60.5	24 21.1	18.4	16.7	1.8
年齢 区分	児童	28 100.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 85.7	3 10.7	3.6	3.6	0.0
	青年層	75 100.0	2 2.7	3 4.0	1 1.3	0 0.0	56 74.7	13 17.3	8.0	6.7	1.3
	壮年層	64 100.0	4 6.3	11 17.2	1 1.6	1 1.6	36 56.3	11 17.2	26.6	23.4	3.1
	高齢層	23 100.0	3 13.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	7 30.4	11 47.8	21.7	21.7	0.0

	合計	問47-⑨児童発達支援サービスの利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	14 6.8	14 6.8	2 1.0	0 0.0	123 59.4	54 26.1	14.5	13.5	1.0	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0.0	0.0	0.0
	知的障害	86 100.0	4 4.7	2 2.3	1 1.2	0 0.0	60 69.8	19 22.1	8.1	7.0	1.2
	重複障害	114 100.0	9 7.9	12 10.5	1 0.9	0 0.0	61 53.5	31 27.2	19.3	18.4	0.9
年齢 区分	児童	28 100.0	7 25.0	5 17.9	0 0.0	0 0.0	13 46.4	3 10.7	42.9	42.9	0.0
	青年層	75 100.0	2 2.7	6 8.0	2 2.7	0 0.0	52 69.3	13 17.3	13.3	10.7	2.7
	壮年層	64 100.0	2 3.1	2 3.1	0 0.0	0 0.0	41 64.1	19 29.7	6.3	6.3	0.0
	高齢層	23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 43.5	13 56.5	0.0	0.0	0.0

	合計	問47-⑩放課後等デイサービスの利用・満足状況						統合			
		大変満足	まあ満足	やや不満	大変不満	利用して いない	無回答	利用率	満足	不満	
全体	207 100.0	23 11.1	22 10.6	2 1.0	0 0.0	110 53.1	50 24.2	22.7	21.7	1.0	
障害 種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0.0	0.0	0.0
	知的障害	86 100.0	4 4.7	4 4.7	1 1.2	0 0.0	59 68.6	18 20.9	10.5	9.3	1.2
	重複障害	114 100.0	18 15.8	18 15.8	1 0.9	0 0.0	49 43.0	28 24.6	32.5	31.6	0.9
年齢 区分	児童	28 100.0	15 53.6	8 28.6	1 3.6	0 0.0	3 10.7	1 3.6	85.7	82.1	3.6
	青年層	75 100.0	5 6.7	9 12.0	0 0.0	0 0.0	50 66.7	11 14.7	18.7	18.7	0.0
	壮年層	64 100.0	1 1.6	1 1.6	1 1.6	0 0.0	41 64.1	20 31.3	4.7	3.1	1.6
	高齢層	23 100.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	9 39.1	13 56.5	4.3	4.3	0.0

### ③ 障害福祉サービス・障害児福祉サービスを利用して不満に思うこと

問48 問47のサービスを利用して不満に思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 前の2調査と同様に、問47で「大変満足」、「まあ満足」、「やや不満」、「大変不満」の合計回答者(利用者)を母数にして率を算出しています。
- 【⑤短期入所】以外のサービスは「特にない」が最も高くなっています。
- 【⑤短期入所】は「地域に事業所が少なく利用しづらい」が最も高く、これ以外で最も高い不満な点を見ると、「職員の知識や経験が不足している」は【②重度訪問介護】や【④福祉施設などへの通所】、【⑥相談支援】、【⑦障害者グループホーム】、【⑨児童発達支援】の5サービスとなっています。
- 「利用回数や時間などに制限がある」が最も高いのは【①居宅介護】や【③行動援護・移動支援】、【⑩放課後等デイサービス】の3サービスとなっています。また、【⑤短期入所】(30.5%)も他のサービスに比べ高くなっています。

サービス名	サービス名				
	①居宅介護	②重度訪問介護	③行動援護・移動支援	④福祉施設などへの通所	⑤短期入所
不満に思うこと					
回答者数	n=47	n=8	n=91	n=111	n=59
特にない	48.9	50.0	36.3	55.0	27.1
本人や家族の意向を尊重してもらえない	2.1	0.0	1.1	0.9	3.4
利用回数や時間などに制限がある	21.3	12.5	25.3	8.1	30.5
急な変更に応じてもらえない	10.6	0.0	11.0	5.4	18.6
職員の対応がよくない	2.1	0.0	3.3	0.9	3.4
職員の知識や経験が不足している	0.0	25.0	8.8	9.9	11.9
プライバシーの配慮に欠ける	0.0	0.0	0.0	0.9	1.7
地域に事業所が少なく利用しづらい	4.3	0.0	11.0	2.7	32.2
引き受けてくれる事業所が見つからない	6.4	12.5	9.9	2.7	10.2
その他	6.4	0.0	5.5	5.4	8.5

サービス名	サービス名				
	⑥相談支援	⑦障害者グループホーム	⑧施設入所支援	⑨児童発達支援サービス	⑩放課後等デイサービス
不満に思うこと					
回答者数	n=122	n=29	n=33	n=30	n=47
特にない	68.9	55.2	51.5	50.0	55.3
本人や家族の意向を尊重してもらえない	1.6	3.4	3.0	3.3	2.1
利用回数や時間などに制限がある	0.8	3.4	0.0	3.3	25.5
急な変更に応じてもらえない	0.8	6.9	0.0	3.3	8.5
職員の対応がよくない	6.6	3.4	0.0	0.0	0.0
職員の知識や経験が不足している	6.6	13.8	9.1	6.7	8.5
プライバシーの配慮に欠ける	1.6	6.9	0.0	0.0	0.0
地域に事業所が少なく利用しづらい	2.5	0.0	3.0	3.3	0.0
引き受けてくれる事業所が見つからない	1.6	0.0	9.1	3.3	0.0
その他	4.1	3.4	15.2	6.7	10.6

- 障害種別、年齢3区分別は利用者数が少ないサービスがあり、一概には言えないこともあり、参考にとどめます。

	合計	問48-①居宅介護の不満な点											
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答	
全体	47 100.0	23 48.9	1 2.1	10 21.3	5 10.6	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.3	3 6.4	3 6.4	7 14.9
障害種類	身体障害	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	知的障害	13 100.0	7 53.8	0 0.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	重複障害	31 100.0	15 48.4	1 3.2	7 22.6	4 12.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	2 6.5	3 9.7	4 12.9
年齢4区分	児童	9 100.0	4 44.4	1 11.1	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	2 22.2
	青年層	20 100.0	10 50.0	0 0.0	2 10.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0
	壮年層	11 100.0	5 45.5	0 0.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3
	高齢層	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	合計	問48-②重度訪問介護の不満な点											
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答	
全体	8 100.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5
障害種類	身体障害	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重複障害	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7
年齢4区分	児童	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	青年層	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	壮年層	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	高齢層	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	合計	問48-③行動援護・移動支援の不満な点											
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答	
全体	91 100.0	33 36.3	1 1.1	23 25.3	10 11.0	3 3.3	8 8.8	0 0.0	10 11.0	9 9.9	5 5.5	15 16.5	
障害種類	身体障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	知的障害	43 100.0	17 39.5	1 2.3	11 25.6	4 9.3	1 2.3	2 4.7	5 11.6	3 7.0	1 2.3	7 16.3	
	重複障害	46 100.0	16 34.8	0 0.0	11 23.9	5 10.9	2 4.3	6 13.0	4 8.7	5 10.9	4 8.7	8 17.4	
年齢4区分	児童	7 100.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	
	青年層	42 100.0	15 35.7	1 2.4	15 35.7	8 19.0	2 4.8	4 9.5	4 9.5	7 16.7	3 7.1	3 7.1	
	壮年層	28 100.0	11 39.3	0 0.0	5 17.9	1 3.6	1 3.6	3 10.7	0 0.0	6 21.4	1 3.6	0 0.0	4 14.3
	高齢層	8 100.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	

	合計	問48-④福祉施設などへの通所の不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	111 100.0	61 55.0	1 0.9	9 8.1	6 5.4	1 0.9	11 9.9	1 0.9	3 2.7	3 2.7	6 5.4	23 20.7
障害種類	身体障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	知的障害	55 100.0	32 58.2	0 0.0	5 9.1	2 3.6	0 0.0	5 9.1	1 1.8	1 1.8	2 3.6	10 18.2
	重複障害	54 100.0	29 53.7	1 1.9	3 5.6	3 5.6	1 1.9	6 11.1	0 0.0	2 3.7	0 0.0	12 22.2
年齢4区分	児童	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	青年層	62 100.0	32 51.6	0 0.0	8 12.9	4 6.5	0 0.0	6 9.7	0 0.0	3 4.8	1 1.6	13 21.0
	壮年層	34 100.0	22 64.7	1 2.9	0 0.0	1 2.9	1 2.9	4 11.8	0 0.0	0 0.0	1 2.9	6 17.6
	高齢層	7 100.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3

	合計	問48-⑤短期入所の不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	59 100.0	16 27.1	2 3.4	18 30.5	11 18.6	2 3.4	7 11.9	1 1.7	19 32.2	6 10.2	5 8.5	6 10.2
障害種類	身体障害	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	知的障害	21 100.0	6 28.6	0 0.0	6 28.6	4 19.0	0 0.0	3 14.3	1 4.8	6 28.6	2 9.5	2 9.5
	重複障害	37 100.0	10 27.0	2 5.4	12 32.4	7 18.9	2 5.4	4 10.8	0 0.0	13 35.1	4 10.8	3 8.1
年齢4区分	児童	4 100.0	0 0.0	1 25.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	青年層	31 100.0	7 22.6	0 0.0	12 38.7	9 29.0	1 3.2	4 12.9	0 0.0	12 38.7	3 9.7	1 3.2
	壮年層	16 100.0	6 37.5	0 0.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	2 12.5	0 0.0	3 18.8	2 12.5	3 18.8
	高齢層	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	合計	問48-⑥相談支援の不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じてもらえない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けてくれる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	122 100.0	84 68.9	2 1.6	1 0.8	1 0.8	8 6.6	8 6.6	2 1.6	3 2.5	2 1.6	5 4.1	17 13.9
障害種類	身体障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	56 100.0	34 60.7	1 1.8	0 0.0	0 0.0	5 8.9	1 1.8	1 3.6	2 1.8	2 3.6	13 23.2
	重複障害	65 100.0	49 75.4	1 1.5	1 1.5	1 1.5	3 4.6	7 10.8	1 1.5	1 1.5	1 1.5	4 6.2
年齢4区分	児童	14 100.0	10 71.4	1 7.1	0 0.0	1 7.1	2 14.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1
	青年層	60 100.0	42 70.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0	3 5.0	4 6.7	2 3.3	3 5.0	0 0.0	9 15.0
	壮年層	33 100.0	24 72.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.1	1 3.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	3 9.1
	高齢層	6 100.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7

	合計	問48-⑦障害者グループホームの不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じられない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けられる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	29	16	1	1	2	1	4	2	0	0	1	5
	100.0	55.2	3.4	3.4	6.9	3.4	13.8	6.9	0.0	0.0	3.4	17.2
障害種類	身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害	22	11	1	1	1	3	2	0	0	1	5
	重複障害	7	5	0	0	1	0	1	0	0	0	0
年齢4区分	児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	青年層	8	3	0	0	1	2	1	0	0	0	1
	壮年層	13	9	1	1	1	1	1	0	0	1	1
	高齢層	6	4	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

	合計	問48-⑧施設入所支援の不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じられない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けられる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	33	17	1	0	0	0	3	0	1	3	5	4
	100.0	51.5	3.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	3.0	9.1	15.2	12.1
障害種類	身体障害	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	知的障害	9	5	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	重複障害	21	12	0	0	0	2	0	2	2	4	1
年齢4区分	児童	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	青年層	6	3	0	0	0	1	0	1	1	1	0
	壮年層	17	10	0	0	0	1	0	0	0	3	3
	高齢層	5	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	問48-⑨児童発達支援の不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じられない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けられる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	30	15	1	1	1	0	2	0	1	1	2	10
	100.0	50.0	3.3	3.3	3.3	0.0	6.7	0.0	3.3	3.3	6.7	33.3
障害種類	身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害	7	1	0	1	1	0	0	1	0	0	5
	重複障害	22	13	1	0	0	2	0	0	1	2	5
年齢4区分	児童	12	6	1	1	1	2	0	1	0	2	2
	青年層	10	4	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	壮年層	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高齢層	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	8.3	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	16.7	16.7

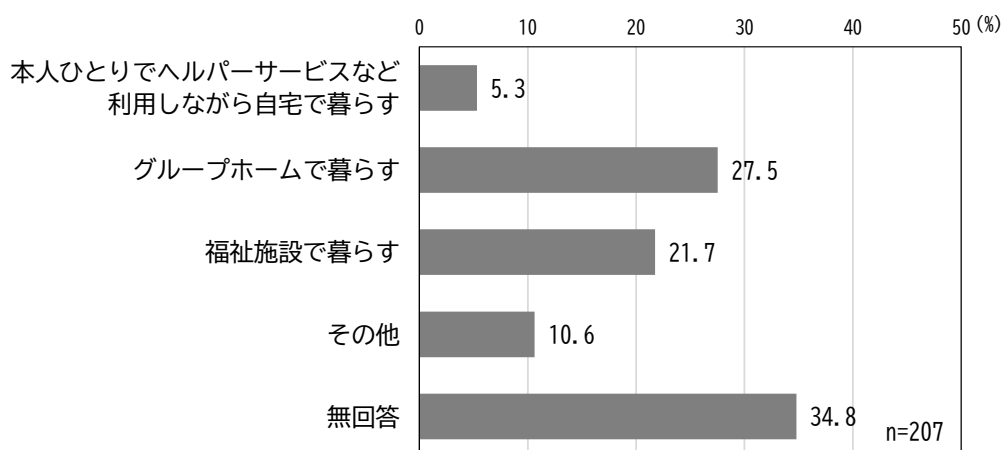
	合計	問48-⑩放課後等デイサービスの不満な点										
		特にない	本人や家族の意向を尊重してもらえない	利用回数や時間などに制限がある	急な変更に応じられない	職員の対応がよくない	職員の知識や経験が不足している	プライバシーの配慮に欠ける	地域に事業所が少なく利用しづらい	引き受けられる事業所が見つからない	その他	無回答
全体	47	26	1	12	4	0	4	0	0	0	5	8
	100.0	55.3	2.1	25.5	8.5	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	10.6	17.0
障害種類	身体障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害	9	4	0	3	1	0	1	0	0	1	2
	重複障害	37	21	1	9	3	0	3	0	0	4	6
年齢4区分	児童	24	12	1	7	2	2	0	0	0	3	4
	青年層	14	8	0	4	2	2	0	0	0	1	2
	壮年層	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高齢層	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

## 7 将来の暮らしについて

### ① 将来の暮らし方の希望

問49 現在、家族の介助を受け、自宅で生活している方におたずねします。将来、家族の介助が受けられなくなった時は、どのような生活を希望しますか。(1つだけ○)

- 「無回答」が34.8%と高く、これ以外では「グループホームで暮らす」が27.5%、「福祉施設で暮らす」が21.7%などとなっています。
- 現在の暮らし方別では、“家族と暮らしている”は「グループで暮らす」が37.9%、「福祉施設で暮らす」が29.3%となっています。



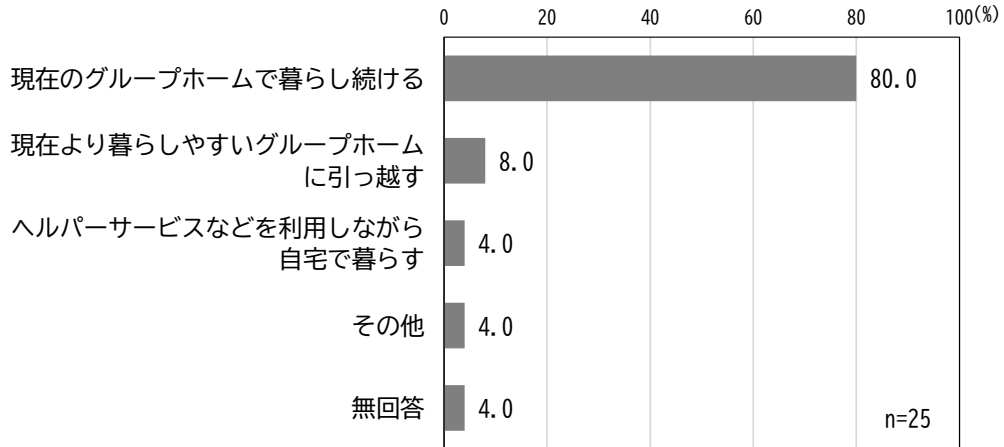
		合計	問49 自宅で生活している方の将来の暮らし方				
			本人ひとりでヘルパーサービスなど利用しながら自宅で暮らす	グループホームで暮らす	福祉施設で暮らす	その他	無回答
全体		207 100.0	11 5.3	57 27.5	45 21.7	22 10.6	72 34.8
障害種類	身体障害	6 100.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	4 66.7
	知的障害	86 100.0	3 3.5	32 37.2	10 11.6	7 8.1	34 39.5
	重複障害	114 100.0	7 6.1	24 21.1	34 29.8	15 13.2	34 29.8
年齢区分	児童	28 100.0	1 3.6	6 21.4	5 17.9	13 46.4	3 10.7
	青年層	75 100.0	3 4.0	27 36.0	22 29.3	6 8.0	17 22.7
	壮年層	64 100.0	4 6.3	19 29.7	7 10.9	2 3.1	32 50.0
	高齢層	23 100.0	2 8.7	1 4.3	7 30.4	0 0.0	13 56.5
現在の暮らし方	本人ひとりで暮らしている	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	家族と暮らしている	140 100.0	7 5.0	53 37.9	41 29.3	22 15.7	17 12.1
	グループホームで暮らしている	25 100.0	0 0.0	3 12.0	1 4.0	0 0.0	21 84.0
	福祉施設で暮らしている	31 100.0	1 3.2	0 0.0	1 3.2	0 0.0	29 93.5
	病院に入院している	6 100.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	4 66.7
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0



② 現在、グループホームで生活している方の将来の暮らし方の希望

問50 現在、グループホームで生活している方におたずねします。将来、どのような生活を希望しますか。(1つだけ○)

- 「現在のグループホームで暮らし続ける」が80.0%となっています。



		合計	問50 グループホームで生活している方の将来の暮らし方				
			現在のグループホームで暮らし続ける	現在より暮らしやすいグループホームに引っ越す	ヘルパーサービスなどを利用しながら自宅で暮らす	その他	無回答
全体		25 100.0	20 80.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0
障害種類	身体障害	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障害	18 100.0	14 77.8	1 5.6	1 5.6	1 5.6	1 5.6
	重複障害	7 100.0	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢4区分	児童	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	青年層	6 100.0	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	壮年層	12 100.0	10 83.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	高齢層	6 100.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0

## 8 行政に対する意見や提案

- 99人から122件の記述がありました。分野別件数は次表の通りですが、「制度・サービス等生活支援に関すること」が特に多くなっています。

分 野	件数(件)
制度・サービス等生活支援に関すること	56
不安なこと	15
人権・権利擁護に関すること	9
経済的負担・支援に関すること	9
相談・情報提供に関すること	7
アンケート調査に関すること	6
申請や手続きに関すること	5
近況について	5
その他	10
計	122